

建築と社会

社団法人　日本建築協会
昭和48年4月25日発行
毎月1回25日発行
昭和24年3月19日第3種郵便物認可

1973
第54輯第4号
4

特集：レジャーと施設

new!



デザイン・配線工法を一新、価格は据置き!!

――クマリフトならではの量産体制が、それを可能にしました――

■三方枠と膳板が、優美で錆や腐蝕のないアルミ形材製品に――――――

クマリフト(小型昇降機)の積下ろし口の枠及び膳板にアルミ成形材(枠見込100㎜：膳板巾160・180・210㎜の３種)を規格品として制定し、全機種に採用しました。扉はメラミン樹脂焼付仕上げのボンデ鋼板製です。

ご希望により、特殊寸法の鋼板・ステンレスのものも製作します。

■工場生産されるシンプルな配線工事

工場生産による独特の短時間に巧拙のない確実な配線工事を得られるプラグイン配線方式を採用しました。

■他に別価格でカゴ到着と同時に扉が開く自動戸開き装置も用意

カゴの到着がひと目でわかり、手数が省けるのできわめて能率的です。（用済み後は手で閉めてください。実用新案出願中）

■用途に応じた豊富な機種を用意しました

書類小物用、料理用、小荷物用、般舶用その他防水・防爆型など特殊工場用など。

■L－ 5…… 10kg積	■M－300……300kg積
■J－ 30…… 30kg積	■M－500……500kg積
■M－ 50…… 50kg積	■S－150……150kg積
■M－100……100kg積	■S－300……300kg積
■M－200……200kg積	■M－ H…… 80kg積 (高速型)

その他人荷用エレベーター、荷物用エレベーター病院用エレベーター、自動車用エレベーターもご注文に応じて製造いたします。

*

クマリフト株式会社

●本　　社　大阪市東淀川区東淡路町２丁目43番地
TEL：06（322）5125代表

●東京事務所　東京都台東区東上野6-1　イワツキビル
TEL：06（844）3030

札幌・仙台・新潟・長野・横浜・静岡・名古屋
京都・大阪・堺・神戸・岡山・広島・高松
出雲・福岡・長崎・鹿児島・那覇

クマリフト

■カタログご希望の方はハガキで大阪本社宛ご請求下さい

廃泥水処理工法
アースロックシステム

建設工事に伴う廃泥水処理について

川崎健次

1．廃泥水処理の必要性

建設工事に伴って発生する振動、騒音の公害が、とくに市街地の施工において大きな社会問題となるに及んで、従来永年にわたって行われてきたシートパイルの土留や、既製ぐいの打撃工法に代って、無振動、無騒音を特徴とする地中連続壁工法とか場所打ぐい工法が盛に採用され、脚光を浴びるようになってきた。

この両工法とも、掘削壁面の崩壊防止と湧水防止、ならびに掘削土砂を浮遊させて地上に排出する目的のために、ベントナイトを水に分散させた泥水が安定液として使用されることが多いが、ここで循環使用を繰返して掘削土砂の混入した用済後の安定液は、最も簡単には沈澱池に導き、混在した土砂を重力の作用で自然沈降させ、あるいは図－1の処理区分で「在来の方法」の部分に示したように、マツドスクリーンやサイクロンなどの簡単な機械操作によって、粗粒子の土砂分を分離した后、土砂分は掘削残土として土捨場に投棄することができた。しかし残る大部分の泥水は粘土分が多く含まれている関係上、そのまま放流したのでは水質を汚濁し、下水道を閉塞するなどの2次公害を起す恐れがあるので、バキュームカーやコンテナーカーによって運搬投棄が行われている現状である。しかし最近の急速な都市開発につれて、投棄場所が建設現場から次第に遠隔地化してゆき、ために運搬投棄費が全工事費中に占める割合も軽視できない状況となり、さらには人間性昂揚に伴う社会情勢のもとに産業廃棄物としての法的規制を受けるに至り、廃泥水は適切な処理をした後、廃棄しなければならない必要に迫られてきた。

2．泥水処理方法研究の現状

処理しようとする廃泥水は、掘削時の安定液として利用された関係上、土粒子の懸濁安定性のよいことが特徴であるが、この特性は廃棄処理する側からみると逆に厄介なものである。すなわちマッドスクリーンやサイクロンを通す程度の機械的操作を繰返すだけでは、懸濁している微細粒子をすべて除去して清水に戻すことができないので、まず化学薬品の助けを借りて土粒子相互間の凝集反応を行わせることにより、懸濁土粒子と水との分離を容易にし、ついで機械的操作によって脱水する処理方法が現在一般に研究されている。

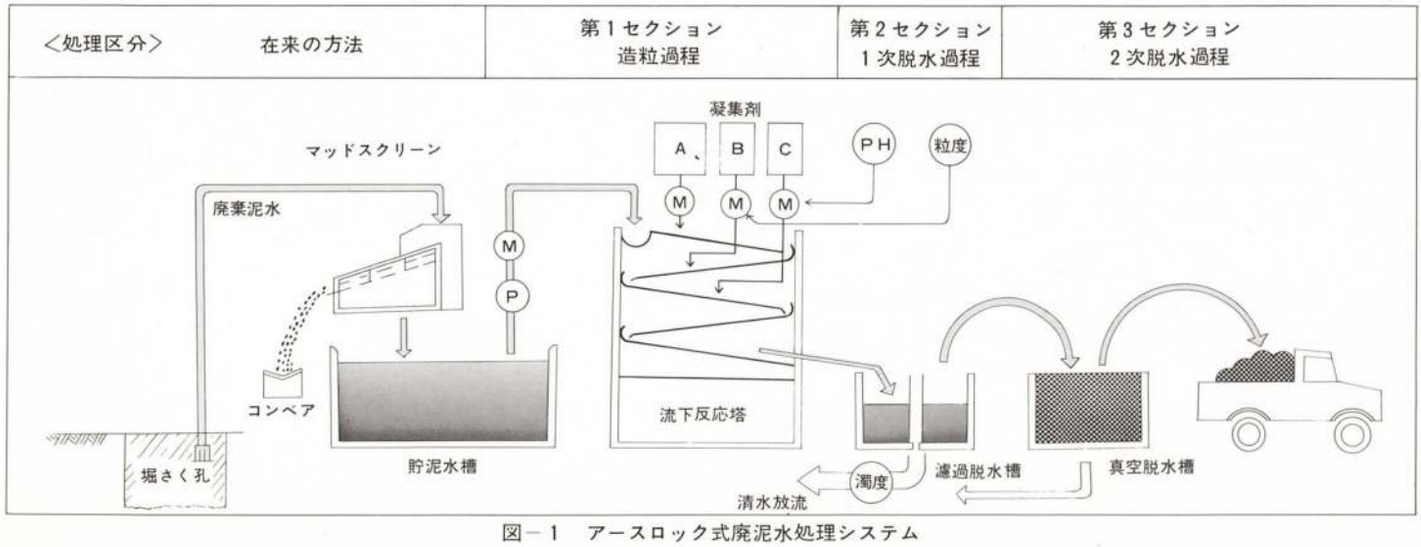
凝集剤として加える化学薬品には、無機物としては、硫酸バンド、塩化第2鉄、硫酸第1鉄、硫酸第2鉄、ポリ塩化アルミ、消石灰、セメントなどが主なもので、有機物としては、天然品および合成品の高分子凝集剤が主要なものであるが、ベントナイト廃泥水の場合には、ベントナイト粘土が水中でNaイオンを吸着して膨潤し、水和した安定なＮａ－ベントナイトを形成していることが多いので、まず消石灰あるいはセメントを加えて、脱水性のよいＣａ－ベントナイトに変えてから、高分子凝集剤を加える併用法が研究されている。

3．アースロック式泥水処理システムの特徴

図－1にはアースロック式泥水処理システムのイラスト図を示した。ここで処理区分の「在来の方法」部分にあるマッドスクリーンはサイクロンや沈澱池と同じく、従来からどの掘削施工現場においても採られている方法であり、本システムではこれらの装置によって粗粒土砂を予め取除いた后、機械的操作だけではどうしても分離することのできない微粒子を化学的に処理することに主眼を置いている。それは粗粒土砂を、予め機械的に除去しておく方が、粗粒土砂の混った泥水に直接化学薬品を添加する処理方法よりコスト的に安価なためである。

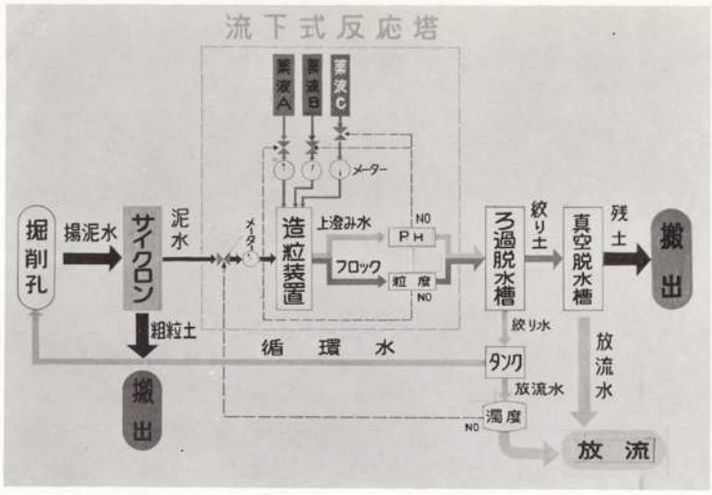
3－1．装置

図－1に示すように、本システムは大きく分けて3つのセクションに分れる。第1セクションは造粒過程で、流下反応塔の上部から処理する泥水が反応板の上を流れ下る途中で、凝集剤A、B、C液が順次撒布添加されて、最終段の反応板を流下する時点では、微細な土粒子が相互に集合して大きなフロック（凝集塊）を形成し、清水と分離した状態となって、次の第2セクションの1次脱水過程すなわち沪過脱水槽内に流入する。泥水およびA、B、C液の各流量は流量計Mを通して常に所定量が送り込まれて、連続的に造粒反応が進み、十分な大きさのフロック粒度が得られ分離清水のPHおよび濁度は一定基準値内に保たれる。

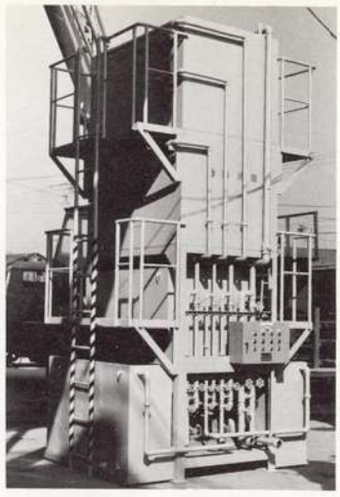


図－1　アースロック式廃泥水処理システム

このようにして造粒形成されたフロックは強くて大きく形成されているので、沪過脱水槽内に設けられた比較的網目の大きいスクリーンによって容易に清水と分離することができ、脱水槽内には、泥水の土質性状によって多少の変動はあるが、平均 200%程度の含水比をもつフロック化泥土が貯溜する。第3セクションは2次脱水過程であり、沪過脱水槽内に貯溜された1次脱水泥土は、次に真空脱水槽内に移され、強力な真空大気圧の作用によって脱水され、平均含水比 100%前後の固い泥土となる。これは直接ダンプトラックによって搬出が可能であり、セパレータータンクに溜った沪過水は河川または下水道に放流する。ここに使用する真空ポンプおよびタンクは建設現場のどこにでも見受けられるウェルポイント工法用のもので十分間にあい、真空加圧時間は勿論土質によって異るが30分～1時間でよい。このように脱水性が良好であるのは大きく造粒されたフロックを破壊しないで一次および二次の脱水を行うからである。



図－2　フロー図



図－3　装置の写真

3－2．薬剤

使用する薬剤には廃泥水中の懸濁微粒子を集合フロック化させて、清水と容易に分離させる性能を必要とすることは当然であるが、放流水を水質汚濁防止法によって規制された排水基準値の範囲内に保ち得るものでなければならない。又脱水されたフロック化泥土に対しても産業廃棄物として取扱われることを考慮する必要がある。すなわち2次公害の防止を主目的にして行った廃泥水処理の結果が、逆に3次公害を惹起するようなことは十分注意しなければならない。たとえば掘削孔中にコンクリートを打設したときに溢れ出る廃泥水中にはセメント成分が混入しているので、ただフロック化泥土を分離して清澄な水にしただけでは、排水基準を外れてアルカリ性の強い場合が多いので、そのままでは放流することはできない。この場合水については成程アルカリ性の強い水でも中和工程を経て基準値内におさめて放流することができるとしても、捨土として搬出する脱水固化させた泥土中に含まれているセメントアルカリ分についての配慮をなおざりにすることはできないのである。またベントナイト廃泥水の処理を容易にするために消石灰やセメントを添加する処理法の場合にも同様のことがいえる。

3－3．3セクション間の相互関係

アースロック式廃泥水処理システムが3つのセクションから成ることは前述したが、これらセクションの組み合せは施工現場の状況に応じ、経済性を勘案して適当に決めることができるように融通性をもたせてある。それらの関係を表－1に示す。すなわち施工場所が広く、掘削残土置場が設けられている現場では、1次脱水を終った泥土は逐次残土置場に推積しておき、掘削残土とともに搬出してもよく、また掘判残土置場のない狭隘な現場では2次脱水まで行い、

表－1　施工現場とセクションの組合せ（◎印 最適）

現　場　状　況	第2セクション（一次脱水）	第3セクション（二次脱水）
マッドスクリーン等によって取除くことの出来る粗粒土が相当量ある	◎	○
現場内で同一時期に発生するその他の掘さく残土が相当量ある	◎	○
作業現場が広く沪過土をさらに自然乾燥することが出来る	○	◎
海上や河川の工事で残土をバージ等で埋立地または遠海に投棄する	◎	○
市街地工事等で残土の仮置物がない		◎
土捨物が狭い		◎

直接ダンプトラックで搬出する方がよい。この場合脱水槽はトラックが到着するまでの脱水泥土の貯溜槽の役目を果すわけであり、1次、2次を問わず、いずれの脱水槽も脱水泥土の貯溜容器であり、しかもその貯溜槽が脱水機能を備えているとみなすことができ、このような容器を複数個用意することによりダンプトラックの到着待ち時間中に脱水を行い、また脱水処理のためのトラックの積込待時間をなくすることができる。このように3つのセクションを有機的に組み合わせることにより、施工現場によって全く様相を異にする建設工事に容易に導入することのできる廃泥水処理装置を開発することができた。また、このアースロックシステムによると僅かの設備費増加によって何倍もの処理容量の装置を設けることができるので大量の泥水を扱わなければならない現場には最適のシステムであるということができる。

図－2に本システムのフロー図を示し、図－3には1日8時間稼働で100～150m³/dayの廃泥水を処理することのできる実用的な標準機を示した。

（かわさき　けんじ　株式会社 鴻 池 組 技術研究所副所長・技術士）

アースロックシステムに関するお問合せ先
株式会社　鴻　池　組　技術研究所
〒540 大阪市東区北久宝寺町4－27　TEL.06－252－3100

◀通常総会議決報告

昭和48年2月21日開催の通常総会におきまして，下記のとおり議決されましたので，ご報告申し上げます。

1. 名誉正会員の推挙

下記9名の方々を，定款第11条による名誉正会員に推挙申し上げることに決定いたしました。

記

伊藤鉱一氏　小早川美武氏　島村佐次郎氏
永田鼎三氏　藤岡正一氏　藤阪捨治郎氏
本多正道氏　松田昌平氏　若林繁吉氏

2. 監事1名，本部所属評議員29名の選任

選挙の結果，下記の方々が夫々当選せられました。

◎ 監事　奥村俊夫氏

◎ 本部所属評議員

木村満治氏　桑田繁男氏　坂井茂信氏
村上定満氏　大西幹郎氏　平瀬栄氏
川前勉氏　野尻正博氏　吉田忠勝氏
井上司郎氏　大野勝三郎氏　片桐正人氏
志賀修一氏　島田勢喜氏　冨中三郎氏
松岡照夫氏　村田隆次氏　青柳不折氏
井上博建氏　前野慶太郎氏　岡本繁一氏
杉村正三郎氏　鳴尾源蔵氏　城口庸平氏
平城勤氏　山田光次氏　井上定雄氏
川岸繁夫氏　山崎晃一氏

昭和48年度第1回・第2回若い会員の集い

◀高層ビルを考える

生産技術と経済力の飛躍的な発展と都市の巨大化は，高層建築建設の条件を満たし，都市に新しい建築空間が出現し始めましたが，建設産業に携わる者としてきわめて興味あるテーマと思われます。

このたび竣工しました大阪大林ビルディングと大阪国際ビルディングにスポットをあて，2回にわたって各設計及び技術担当者に，高層ビル建設にあたっての基本的な考え方や姿勢を伺い今後の糧にしたいと思います。多数ご参加を期待いたします。

〈第1回・大阪大林ビルディング〉

日　時　4月28日（土）13.30→16.00

会　場　大阪大林ビル　4階，土木部会議室
（大阪市東区京橋3—37　TEL 06-943-1131）

講　師　㈱大林組本店ビル工事事務所　所長　新開信之氏
㈱大林組本店ビル工事事務所　設備主任　南部武氏
㈱大林組本店建築本部　設計部　藤縄正俊氏

〈第2回・大阪国際ビルディング〉

日　時　5月19日（土）13.30→16.00

会　場　㈱竹中工務店大阪本店　9階談話室
（大阪市東区本町4—27　御堂ビル内　TEL 06-252-1201）

講　師　㈱竹中工務店大阪本店
大阪国際ビル作業所建築主任　丹羽稔氏
㈱竹中工務店大阪本店設計部計画設計課長　平内祥央氏
㈱竹中工務店大阪本店設計部設備設計課　井上良則氏

定　員　各　50名

会　費　無料（ただし参加証持参者に限る）

申　込　往復はがきに限ります。はがきは各回ごとに1枚に1名限りとし，第1回，第2回の区別を明記の上，氏名，勤務先名および所在地，担当部課名，連絡電話番号，返信用宛名，郵便番号を記入し，第1回は4月20日（金），第2回は5月10日（木）までに事業課へ。ただし定員を超過したときは抽せんにて決定し，参加証をお送りいたします。

◀新緑の京の郊外を訪づれて
——北山杉の見学と高山寺石水院の拝観

清滝川をはさんで西の斜面は朝日，東の斜面は夕陽をあびると美しく造植された北山杉の樹林が金色の針のようにキラキラと輝き，その華麗さは筆舌にはつくしがたい。

北山杉……京都市北区中川の里は600年もの遠い昔より親子代々にわたって植えつがれ，育てつがれ，尊い木としての誇りをもってまもられてきた杉のふる里です。　また茶室，寺院などに使われている磨丸太をはじめ，建築には関係の深い北山銘木の産地として知られております。

新緑に色彩られた5月に会員の皆さまとともに土曜日の半日を京都に過したいと企画いたしました。多数のご参加を期待いたします。

なお，北山杉見学の後，栂尾の高山寺の国宝石水院を拝観いたします。

日　時　5月26日（土）集合 12.50→解散 17.40

集合場所　国鉄京都駅東口，旅行会館・ステーションホテル前
京阪国際観光バス1台・目標会旗
ただし京都までの運賃は各自負担のこと

会　費　800円（バス，拝観料，抹茶代—別に補助あり）

定　員　50名

行　程　13.00　京都駅前出発→14.00　中川北山町着
14.00→15.30　北山杉について説明，丸太磨などの見学
15.30　中川北山町出発→15.50　栂尾山高山寺着
15.50→17.00　高山寺石水院拝観，抹茶
17.00　出発→17.40　京都駅前着・解散

申　込　往復はがきに限ります。はがきは1枚に1名限りとし，「新緑の京郊外を訪れて」と明記し，氏名・勤務先名および所在地・役職・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上5月12日（土）までに事業課へ。
ただし定員を超過した時は抽せんにて決定し，参加証をお送りいたします。

●**北山杉**　ご説明をお願いする山本末治翁は本年82才生涯杉を恋人として育てはぐくんできた杉仙人といわれ，杉を愛し，杉ひとすじに生きてこられた方です。また，時期はづれながら特別に丸太磨きの見学などもご配慮いただいております。

●**栂尾山高山寺**　有名なもみじどころ（高雄，槙尾，栂尾）三尾の北はづれにある高山寺は，平安末期に高雄，神護寺の別所となり，明恵上人によって洗心の道場として栄えましたが，応仁の戦乱で石水院だけが災禍をのがれ，あとはみな焼失して終い，その後明恵上人の徳を高めるために次々と復興事業が進み，明治の末ごろから石水院の移築をはじめ，書院，茶室，庫裡などを再建，昭和34年に戦乱や火災をのがれた数多くの寺宝，国宝級の絵画，彫刻工芸品などを収蔵する法鼓台文庫を完成，面目を一新し，いまだに汚れをしらない清滝の清流とともにこころのふるさととして年々訪れる人が多くなっております。

寄附金の受領

このたび名誉正会員，白石登喜男氏より事業資金の一部にと金一封のご寄付を戴きました。

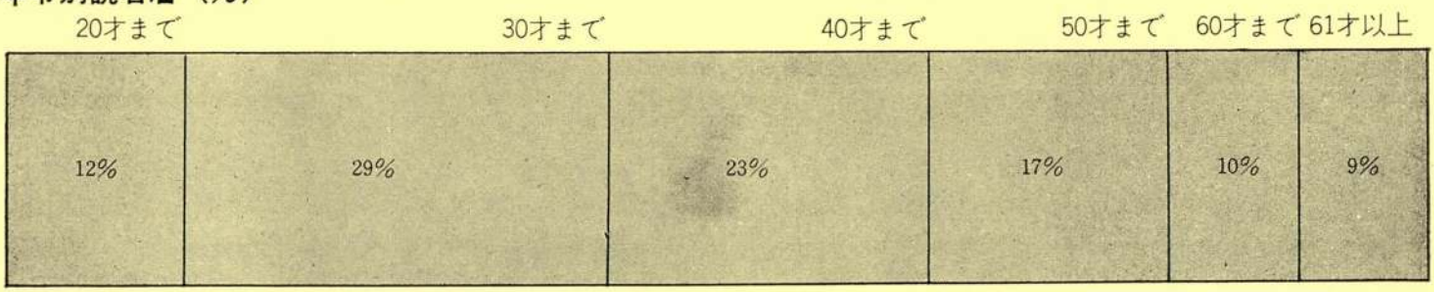
ここに謹んでお礼申し上げます。

発行所	社団法人 日本建築協会	発行部数	月刊 14,000部
	大阪市東区北浜3-37 〒541	体裁	A4判 変形（225mm×297mm）
	大阪(06)231-9648(代)	広告原稿	平版印刷なので版下またはオフネガ
創刊年月	大正6年10月	原稿締切日	前々月25日（7月号ならば5月25日）

業種別読者層（%）



年令別読者層（%）



地域別読者配本比（%）



広告料金

スペース / 寸法(mm) / 掲載頁	1頁(2色)	カラー1頁価格
	タテ265×ヨコ190	
表紙 2	85,000	230,000
表紙 3	75,000	220,000
表紙 4	110,000	250,000

スペース / 寸法(mm) / 掲載頁	1頁	カラー1頁価格
	タテ265×ヨコ190	
前付最初頁	60,000	200,000
前付各頁	50,000	180,000
前付記事対向	55,000	190,000
後付各頁	40,000	――

（注1）後付各頁のみ1/2頁・1/4頁・1/12頁のスペースがあります。

（注2）年6回以上の継続掲載契約をいただく場合は5%の割引金額でお願いし，それ以外はいっさい割引いたしません。

（注3）一般デザイン広告以外の特例として、レポートなど本文記事形式で社名・住所・電話番号が記事末尾のみに入る場合、1頁につき30,000円の掲載料をいただきます。

《壁》についてだけ考えてみても……。

**たとえば、この寺院。幾多の人に深い感銘を与えつづけたことでしょう。
いかにも日本的な調和の美しさ——。いにしえ人の美意識と
造詣の深さには、いまなお新鮮な何かを教えられる気がします。**



もとより、この壁が、私たちの目を楽しませるためだなどとは思いませんが、こころなごむあたたかさ…人間味…ということの大切さを、強く感じるのです。

さらに間仕切壁ともなると、いっそう人間的な豊かさが…

要求されます。物の豊かさや合理性の追求からは得られない何か……人間性に根ざした豊かさこそ、もっと大切にされなければ…。私たちが、いつも考えていることです。実際、私たちマンテン独特の間仕切壁工法が、帝国ホテルをはじめ、有名ホテルにも次つぎに採用されているのも、数かずのすぐれた機能や合理性もさることながら、人間性を根底にした生活の心を、調和を大切にする部屋づくりが認められたからでしょう。



オフィスとしてのビルづくりも同じこと。まさに意のままの設計で、それぞれ個性的な間仕切を可能にしています。

マンテンは、部屋づくりの技術パートナーとして役立ちます。

むろん、机上計画の段階から、設計・施工を一緒に考えるパートナーとして……。それも、たんに間仕切壁だけでなくマンテン特有のアイディア性が好評の、天井下地工法(ネールロックシステム)・床下地工法(ネダコーシステム)をも自在に組み合わせた、住空間づくりのシステムメーカーとしてです。さらに私たちは、間仕切壁だけでも、収納間仕切壁・ユーティリティ間仕切壁…などの実現にも夢をはせながら、これからの生活環境づくりに、地道な努力をつづけているのです。

かずかずの有名高層ビルに採用されている——新時代の軽鉄間仕切壁工法

エコニースタッド パーティションシステム

＊カタログを差しあげます。本社・建装部KS係までハガキでご請求ください。

明日の生活環境づくりに
アイディアでとりくむ——

マンテン

株式会社マンテン——本社 〒542 大阪市南区日本橋筋3-2 ☎(06)632-1151代　東京支店 〒136 東京都江東区亀戸2-3-17 ☎(03)682-3241代
名古屋出張所 〒454 名古屋市中川区百船町1-3-4 ☎(052)353-3177代　福岡出張所 〒812 福岡市博多区博多駅東1-12-26(岩瀬ビル) ☎(092)43-4356代　札幌出張所 〒065 札幌市東区北八条東19-22 ☎(011)741-8439



なめらかな肌ざわり、美しい7色のカラー

TOTO のホーローバスには、ピンク・ブルー・グリーン・イエロー・アイボリー・ベージュ・青磁の7色のカラーと白色があります。

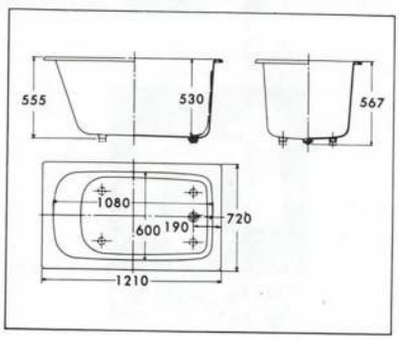
TOTO鋳鉄ホーローバス

FB 70 ¥48,000
(排水金具付)

和洋折中形エプロンなしバス

1,210×720×555
容量 250ℓ
専用フロフタ Y9152 #10(#20)
¥2,750

このほかにも、たくさんのホーローバスがあります。右記までご請求下さい。カタログを差し上げます。



TOTO
東陶機器株式会社
本社
〒802 北九州市小倉区篠崎町458
TEL (093)－93－5151
大阪支社
〒530 大阪市北区曽根崎上2-31-6
(梅新第一生命ビル東館)
TEL (06)－364－1181

法令コーナー目次
（1970年1月号～1973年3月号）

1970年 号

29. ごあいさつ・法令解説－騒音規制法の施行と建設工事騒音の規制について……福田朝生・椋谷信保…1
30. 建築基準法の新体制の確立について……上川　恭弘…2
31. 開発許可制度について…片田　俊彦…3
32. 開発許可制度について…片田　俊彦…4
33. 風致地区内における建築等の規制に関する大阪府条例の制定について……片田　俊彦…5
34. 開発許可制度について（その3）……片田　俊彦…6
35. 「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」について…片田　俊彦…7
36. 建築基準法の改正について……片田　俊彦…8
37. 大阪府公害防止条例について……片田　俊彦…9
38. 都市計画施設などの区域内における建築などの制限について…片田　俊彦…10
39. 屎尿浄化槽へのアプローチについて……島岡　克吉…11
40. 質疑応答・建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行令について・建築基準法第55条第2項の指定による建蔽率の緩和について…片田　俊彦…12

1971年 号

41. 法令改正について……竹口　信夫…1
42. 改正建築基準法および同施行令の建築設備関係について……島岡　克己…2
43. 建築基準法施行令の改正と集団規定……片田　俊彦…3
建築確認申請書の不適合の訂正処理について（大阪市）
44. 大阪府建築基準法施行条例の改正について……木田　照之…4
45. 大阪府建築基準法施行条例の改正について（その2）……木田　照之…5
大阪府建築基準法施行条例（抄）
46. 大阪府建築基準法施行細則の一部改正について……木田　照之…6
47. 建設業法の改正について…河島　潔…7
48. 道路位置指定の基準について……鈴木　映男…8
49. 土地区画整理法における建築行為などの制限について……三好　進…9
50. 改正基準法の解釈について－東京消防庁の回答－…伊地知徳春…10
51. 総合設計上に係る許可準則について……片田　俊彦…11
52. 総合設計許可準則に関する技術基準について……片田　俊彦…12

1972年 号

53. 建築基準法第38条の建設大臣の認定基準について（案）……伊地知徳春…1
54. 建築協定……菱田　公造…2
55. 特定建設業について……河島　潔…3
56. 日照権と建築基準法……本多　正道…4
57. 排煙設備および非常用の照明装置に関する告示について（その1）平林　孝…5
58. 排煙設備および非常用の照明装置に関する告示について（その2）平林　孝…6
59. 消防法施行令の一部改正について……田中　隆夫…7・8
60. 予備電源……清原　省三…9
61. 大阪市の道路位置指定基準……椋谷　信保…10
62. 大阪市における開発許可制度の概要……香川　順司…11
63. 内装制限について（その1）……前野　良規…12

1973年 号

64. 内装制限について（その2）……前野　良規…1
65. 容積制について……岡村　雅央…2
66. 大阪市の新しい地域制について……上田　隆夫…3

日本建築協会法規委員会

法令コーナー

質疑などの投稿をお待ちしております。

67

法令建築事務所制度発足
――大阪建築士事務所団体協議会発足にあたって――

竹口信夫

建築基準法をめぐる諸法令は、新法改正によっていっそう複雑化し、建築物をめぐる諸問題はますます多様化の様相を呈し、これの解決はあたかも建築行政庁だけの責任であるかのごとく社会的に認識されていて、これにあたる特定行政庁、建築主事のご苦労は日を追ってますます過大となっている。このときに当り、われわれ建築技術者もこれを黙って見過ごせない情勢にたたされている。この困難な社会的建築公害(?)を除去し、建築家のプロとして社会の要望に応え、その責任をはたし、これの解決にあたらんとする建築家の集団が大阪に早くから誕生しつつあったことは、知る人ぞ知るといえると思う。一方、行政庁は早くからこれの解決策の検討に全力を傾倒してきていた。

府下行政庁の研究とこれに応えんとする建築団体が一丸となって、まず自主規制として自らを律し、社会にある建築的社会悪を追放せんとたちあがったのである。これは、もちろん行政庁の指導もあり、建設省の了解の上に立っていると聞いている。

この制度づくりの準備は昨年まで大阪府および大阪市ほか大阪府下特定行政庁が行ってきたところである。途中でバトンを民間団体が引きつぎ、自らを律し実行しようとして、大阪建築士事務所団体協議会（三団体）が発足したのである。目下、このため大阪府の主催する建築基準法の講習会が行われ、450名がこれに参加しての研修（15日間60時間）を受けていることはご承知のとおりである。

この制度は、4月1日から業務開始する計画で3月末頃から事務所登録を行う予定となり、目下その規程づくりなど、準備におおわらわである。（一部主要規程は、すでに可決制定ずみである）これらの内容を詳細に説明するのには、わずかな頁ではむりである上、現在の段階でも種々の解決・運用などについて研究不足かつ未熟な点の存在することも事実である。

本稿は、法令建築事務所制度の発足とその概要を説明し、少しでも多くの方々に認識と協力を得んとするためのものである。すでに会則・規程の基本は決定し、会長、副会長その他の役員・委員が決定し、運営にはいったところである。いずれにしても、母船はつくられ、船長、パーサーなど主要リーダーのメンバーが決まり、出航してしまったのである。大阪の建築家の名誉にかけてもぜひ成功させたいものであり、行政庁も当然これに協力される決意をもっておられるもので、これの成功、不成功は一に大阪の建築界の双肩にかかっている。全国ではじめてのテストケースとして行われるもので、やがては法制化されるものであることを、現在期待し、実施にふみきられている。メリットは何かの論議がこれをめぐってなされているが、メリットは自らつくるもので与えられるものでないことを自覚し、かたい決意をもってこれに対処し、全国に範を示したいものである。

これから、団体協議会がこれを自主的に運用していくことになっており、その事務局は（社）大阪府建築士会事務局内で暫定措置として士会職員が兼務することに決定し、実施されている。当初より士会事務局長である中村常任理事と私がこの準備のお手伝いをさせていただいた関係上、以下、せんえつながらご説明申し上げる次第であることをお許し願いたい。

その概要は、大阪建築士事務所団体協議会会則、法令建築事務所制度規程、大阪建築士事務所団体協議会役員名簿を次頁に添付してあるので、これを参照していただきたい。なお、その概要を図解または表として添付してあるのでこれもご参照いただきたいのである。

大阪建築士事務所団体協議会構成図…第1図
法令建築事務所説明図……第2図
法令建築事務所の業務概要……第3図
法令建築事務所制度実施までの経過概要表……第4図

× × ×

おわりに、会長の大阪建築士事務所団体協議会発足にあたっての、ごあいさつを添付しますので、その精神をご理解下され何分のご協力をたまわりますことをお願い申し上げ、筆をおくことにしましょう。

（たけぐちのぶお　大阪府建築士会
法令センター担当常任理事）

すぐれた居住性を創造する

軽量気泡コンクリート

シポレックス

SIPOREX



軽量

比重0.5

コンクリート¼の重量

断熱

コンクリートの10倍の断熱性

耐火

法定耐火材料

スミモトビル(ホワイトパーク)・広島市
設計　ＫＡＭＩ建築設計事務所
施工　㈱鴻池組
使用場所　カベ・マジキリ

◆シポレックスは工場、住宅から超高層ビルまであらゆる建物の屋根・床・壁・間仕切・耐火被覆に使用されますが次の建物には特に最適です。

1　工期短縮を要するすべての建物
2　空調を要する工場・倉庫事務所住宅等
3　鉄骨大張間の工場・体育館等
4　軽量化を要する高層建築物・軟弱地盤の建物
5　鉄骨耐火構造の建物

シポレックス株式会社

本社・東京支店　東京都千代田区神田司町２－６(平沼ビル)
電話　東京　(256)代表３４５１
大阪支店　大阪市西区立売堀北通１－90(第三富士ビル)
電話　大阪　(538)代表０５２１
名古屋支店　名古屋市中村区広小路西通３－２(大商ビル)
電話　名古屋　(581)代表７４２１

大阪建築士事務所団体協議会　発足にあたって

大阪建築士事務所団体協議会
会長　小　河　吉之助

建築物の高層化・大規模化・多様化・過密化などにより、建築基準行政をめぐる諸問題は益々複雑化していることはご承知の通りでありますが、これを単に建築行政庁の問題として見過すことはできない情勢に立ち至っております。大阪府建築士会においては、かねてより建築士の活用と行政協力の立場からこれの解消に力を尽すべく、建築基準法の単体規定の建築士への移譲について関係庁へ申入れ、運動を展開してきました。一方行政庁側においても、民間建築主事制度、法令建築士などの構想を打ち出し、これの具体化を検討してこられました。

この度、はからずも大阪府下特定行政庁の要望もあり、法令建築事務所制度を設け、自主的に建築士の資質の向上と行政協力をはかることを目的として、大阪建築設計協会・大阪府建築士会・日本建築家協会関西支部の三団体の合同で大阪建築士事務所団体協議会を設立すべく準備中でありましたが、この度意思の一致をみて大阪建築士事務所団体協議会を設立することができ、第1回役員会においてはからずも会長におされ、既に一部活動をはじめております。別掲の当協議会の会則・役員名簿・法令建築事務所制度規程をご高承賜わりたいのであります。この制度は、大阪府をテストケースとしていずれ全国的に広がり、やがて法制化される運びとなることが予想され、またそれを期待しているところであります。従って、われわれの今後の行動と結果には重大なる責任が課せられているのであります。本制度は法に基くものでなく、あくまでその趣旨に賛同し、自主的に規制運営するものであります。この点、ともすれば法令にしばられないからとして安易に考える向きもあるかと存じますが、前述の如き責任の重大さを考え、厳格な運営を行い少くも諸規程に違背する会員に対しては、除名を行うとともに行政庁へ通報するなど断乎たる処置を講じ、この団体の自律機能・倫理・名誉を堅持し、近い将来には違反建築物をなくし建築士の地位をより高めるよう努力して参りたいと思います。諸先輩各位のご賛同とご支援とご指導を賜り、また本協議会の運営に対し力をお貸し下さるようお願い申上げ、会長就任の挨拶と致します。

大阪建築士事務所団体協議会役員名簿(順不同)

●大阪府建築士会　9名

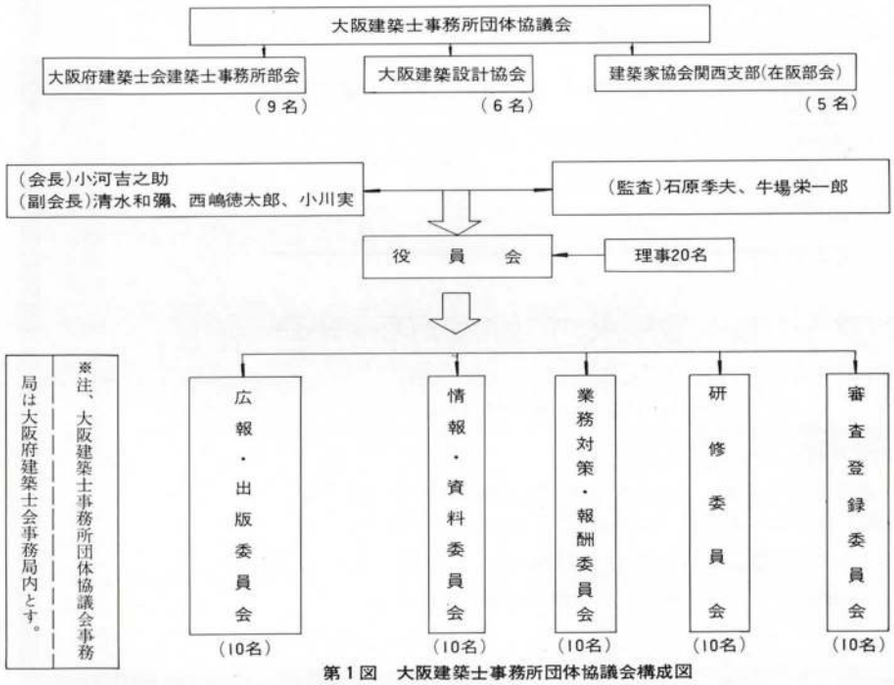
小　河　吉之助(会長)	清　水　和　彌(副会長)	石　原　季　夫
小　西　　岬	駒　　敬　三	山　田　新治郎
平　田　定　男	花　房　文一郎	窪　田　　祐

●大阪建築設計協会　6名

小　川　　実(副会長)	牛　場　栄一郎	橘　　春　重
小　田　健治郎	川　見　辰　男	中　井　隆　三

●日本建築家協会関西支部　5名

岡　本　一　郎	岡　本　行　善	坂　内　幾　男
西　嶋　徳太郎(副会長)	福　田　朝　生	



第1図　大阪建築士事務所団体協議会構成図

大阪建築士事務所団体協議会会則

第1条（目　的）
この協議会は、構成団体の協力によって、建築士事務所の業務の進歩改善をはかることを目的とする。

第2条（会員）
社団法人大阪建築設計協会
社団法人大阪府建築士会(建築士事務所部会)
社団法人日本建築家協会関西支部(但し在阪会員)

第3条（事　業）
1.大阪建築士事務所協会（仮称）設立に関する調査研究並びにその準備
2.建築士法改正の推進に関する事業
3.法令建築事務所の業務並びにその報酬規程の制定と運用に関する事業
4.法令建築事務所の登録・認定並びにこれに伴う事業

第4条（事務所）
社団法人大阪府建築士会内に置く

第5条（役　員）
会長　　1名
副会長　3名以内
理事　　20名以内(会長・副会長・監査2名含む)

第6条（役員の選出）
会長・副会長・監査は理事の互選により選任する。
理事は団体構成より若干名を推せんして選任する。

第7条（役員の任期）
役員の任期は2年とし、留任を妨げない。

第8条（会　議）
役員会　定例月1回他臨時とし、会長が招集して議長となる。
委員会　随　時

第9条（経費の支弁）
構成団体よりの分担金並びに事業に伴う収入

第10条（事務局）
社団法人大阪府建築士会事務局内におく。

第11条（解　散）
この協議会は目的とする事業を達成した時に解散する。

附　則　この会則は昭和48年1月29日より施行する。

法令建築事務所制度規程

第1条（目　的）
この規程は、建築士事務所の業務のうち、建築基準法による建築確認事務に関連して、建築士の質の向上を図るため法令建築事務所制度を自主的に定めこれを運用することにより、行政に協力し、建築指導行政の円滑な運営に寄与することを目的とする。

第2条（法令建築事務所）
法令建築事務所とは、第1条の目的に賛同する一級または二級建築士事務所で、次の各号の要件を具え、大阪建築士事務所団体協議会（以下協議会という）の登録をうけているものをいう。
(1)　開設者又は管理建築士が、第3条の法令建築事務所登録有資格（以下「有資格者」という）であるか、または有資格者を使用していること。この場合、少なくとも一名は専任でなければならない。
(2)　構造および設備について、協議会がおのおのの職務を誠実に履行できると認める建築士もしくは技術者を使用するか、または、協議会がその職務を誠実に履行できると認めるおのおの事務所と業務に関する契約を結んでおること。
(3)　当該建築士事務所の過去の実績および開設者、管理建築士の人格識見がすぐれていること。
2　法令建築事務所の登録の有効期間は3年とし、期間満了前に更新の登録をうけることができる。

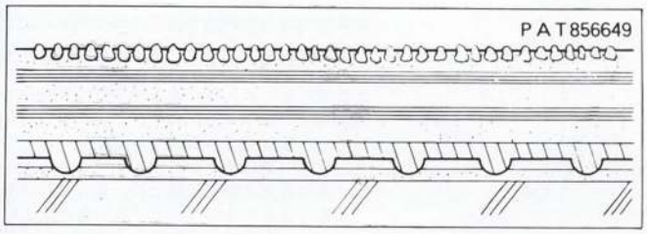
第3条（法令建築事務所登録有資格者）
法令建築事務所登録有資格者とは、法令建築事務所の業務を行うもので、建築士法の建築士のうち、次の各号に該当する協議会の定める有資格者の名簿（以下「有資格者名簿」という）に登載されているものをいう。
(1)　建築主事資格検定考査または協議会の行う資格検定に合格したもの。
(2)　協議会が行う登録研修をうけ、これを修了し



フクレ防止宣言!!

防水の難問を解決した
特許ストライプ工法

ピロウエルド



1.露出防水のフクレを完全に防止します。
2.下地挙動を緩和し、優れた耐亀裂性を発揮します。
3.従来の絶縁工法にない接着力で、風による剥離を防止します。

日本アスファルト防水工業協同組合
●東京都足立区千住東2丁目21番28号　TEL東京(882)2424(代表)
●大阪市東淀川区瑞光通り4丁目30の2　TEL大阪(329)7737(代表)

マルエス S 日新

日新工業株式会社
本社営業所●東京都足立区千住東2丁目21番28号　TEL東京(882)2424(代表)
大阪支店●大阪市東淀川区瑞光通り4丁目30の2　TEL大阪(329)7737～7740
出張所●名古屋(741)4257～8●広島(21)1010・1061●福岡(74)3461～3
●札幌(51)5659・6885●山形(23)0437～9　工場●東京●埼玉●山形

たもの。

2　前項の有資格者は、協議会の行う研修をうけなければならない。

3　有資格者名簿の登載の有効期間は3年間とし、期間満了前に登載の更新をすることができる。

第4条（法令建築事務所の業務）

法令建築事務所は次の業務を行うものとする。

(1)　建築主から設計依頼をうけ建築士事務所として設計するにあたり、建築基準法ならびに建築関係法令(以下建築関係法令という)に関して適正な設計図書を作成すること。

(2)　他の建築士事務所の作成した設計図書または確認申請書を調査し、建築関係法令に関して適正な確認申請書および必要図書を作成し、または作成に協力すること。

(3)　建築士および建築主から建築関係法令に関して、事前相談に応ずること。

2　前項第1号および第2号の業務を行うときは、あらかじめ現地を調査しなければならない。

第5条（法令建築事務所の責務）

法令建築事務所は、建築関係法令に関し十分理解を深めるよう研鑽を重ね、高度な知識の習得につとめ、誠実な業務を行わなければならない。

第6条（法令建築事務所の義務）

法令建築事務所は、自ら設計した建築物または工作物については、法令建築事務所としての業務を行わなければならない。

2　法令建築事務所が作成または作成の協力をした確認申請書に添付する設計図書については、第3条の有資格者第2条第1項第2号にいう構造および設備担当技術者もしくは事務所は自ら作成、または作成の協力をした図書の各葉に記名捺印しなければならない。

3　法令建築事務所が作成、または作成の協力をした建築確認申請書には別に定める書式により、法令建築事務所名、および有資格者名を記載しなければならない。

4　法令建築事務所が作成、または作成の協力をした建築物もしくは工作物の工事については、有資格者自ら工事監理者となるか、建築主をして工事監理者を定めるよう指導しなければならない。

5　前項の工事に関しては、法令に違反することのなきよう常に現場を把握し、建築主、工事監理者または工事施工者に協力しなければならない。

第7条（法令建築事務所の責任）

法令建築事務所が自ら作成し、または作成の協力をした設計図書が関係法令に適合しないまま建築物若しくは工作物が着工され、或いは工事が完了した場合、建築主等のうける損害については責任をもって合法的な措置を講じなければならない。

第8条（契約・報酬）

法令建築事務所の業務の契約と報酬は別に定めるところによる。

第9条（大阪建築士事務所団体協議会）

この規程の実施は、大阪建築士事務所団体協議会で行う。

2　大阪建築士事務所団体協議会の会則は、別に定める。

第10条（指導・監督）

第3条の法令建築事務所が不誠実な業務を行ったときは、協議会は、当該法令建築事務所の登録を取消し、若しくは有資格者名簿の登載を抹消することができる。

2　協議会が前項の処分を行ったときは、その旨を大阪府ならびに各特定行政庁に通報するものとする。

第11条（細　則）

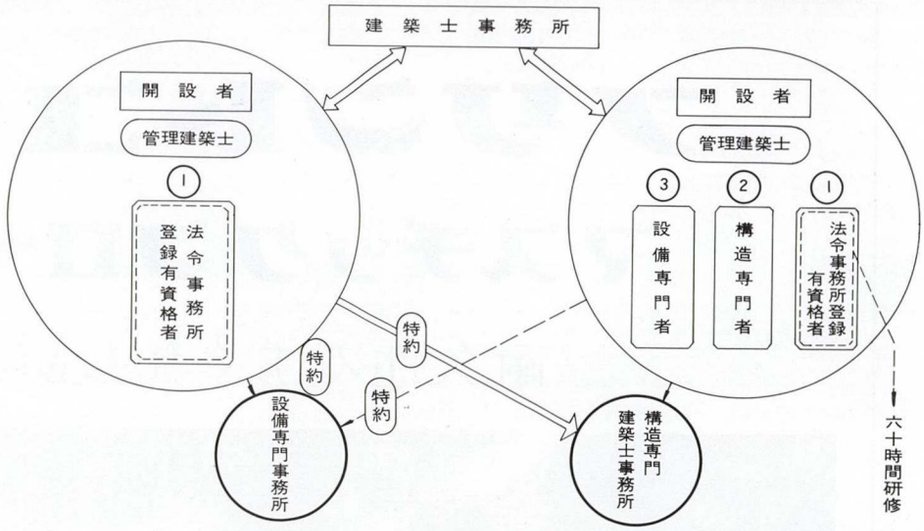
この規程の施行に必要な事項については、別に細則で定める。

附　則

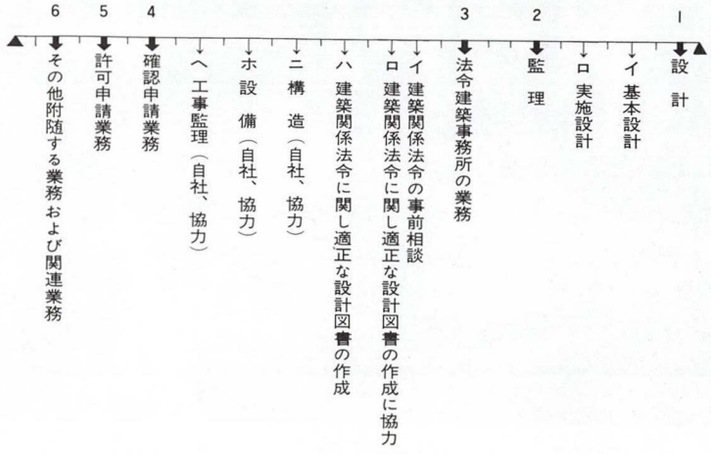
1　この制度は、昭和48年4月1日から実施する。

2　この制度実施まえと実施初年度に限り、「大阪建築士事務所団体協議会が建築主事資格検定考査に合格した者と同等以上と認める者の取扱い要領」により第3条第1項第1号に規定する者と同等以上と認めた者については、第3条第1項第1号に規定する者とみなすものとする。

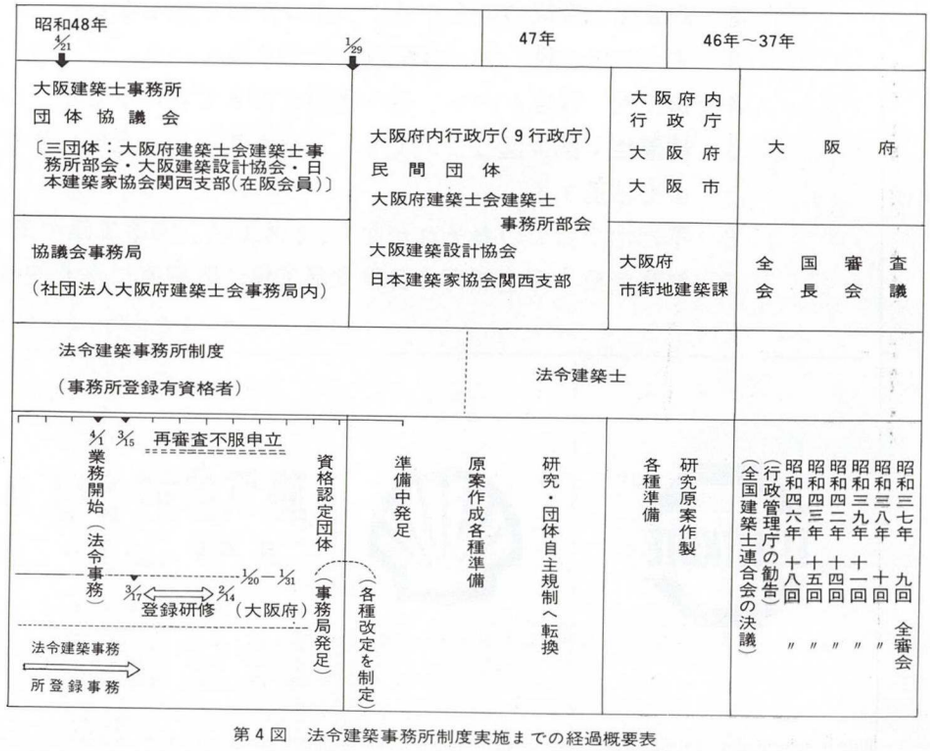
3　この制度の実施前において府が行う登録研修を終了した者は、第3条第1項第2号に規定する者とみなすものとする。



第2図　法令建築事務所説明図



第3図　法令建築事務所の業務概要表



第4図　法令建築事務所制度実施までの経過概要表

フリントコート®

マスチックフローリング

耐久性のすぐれた防湿床材



飯田町紙基地センター
設計監理：国鉄東京建築工事局　施工：清水建設・熊谷組・鉄建建設共同企業体
使用場所：床　仕様番号：F－9®

特　長

1　耐久性：耐久性にすぐれている。
2　耐摩性：摩耗の度合が低く、ホコリなど生じない。
3　すべり抵抗性：すべり抵抗性にすぐれている。
4　復元性：弾性があり、万一亀裂ができても使用している間に復元する。
5　粘着性：多少湿っていても、コンクリート、金属、木など、どんな面にもよく粘着する。
6　不燃性：引火のおそれがなく、ガス工場、爆薬工場の床に使用されている。
7　無毒無臭：完全無毒で各種食品工場、貯蔵庫に多く使用されている。

フリントコートについてのお問合せは下記へ

FLINTKOTE®

株式会社シエル石油大阪発売所
フリントコート施工販売部

大　阪　〒532 大阪市東淀川区西中島2丁目76 ☎(06) 303－7131
東　京　〒104 東京都中央区宝町2丁目4番地(第2ぬり彦ビル3階) ☎(03) 562－4646
名古屋　〒461 名古屋市東区東門前町3の47(日本橋ビル4階) ☎(052)931－8537
広　島　〒730 広島市東白島町15番6号(西林ビル3階) ☎(0822)21－1224
福　岡　〒810 福岡市中央区舞鶴1－1－5(舞鶴ビル3階) ☎(092) 77－1961

□ 写真と概要をどしどしお送りください。

凡例：a.所在地　b．敷地面積　c．建築面積　d．延面積　e．構造規模　f．工期



856. 日野自工デザインセンター

設計：竹中工務店
施工：竹中工務店
a．東京都日野市日野台
b．43,964m²
c．1,239m²
d．1,849m²
e．S造、2F
f．昭和47年6月～昭和47年12月



857. 日新製糖豊洲スポーツセンター

設計：竹中工務店
施工：竹中工務店
a．東京都江東区豊洲5－6
b．9,474m²
c．6,616m²
d．21,378m²
e．RC＆S 6F
f．昭和47年1月～昭和47年12月



858. 泉北E－1高層団地B地区

設計：日本住宅公団 昭和設計
施工：大日本土木大阪支店
a．大阪府堺市泉北泉ヶ丘地区E-1
c．1,222m²
d．11,119m²
e．SRC造、10F
f．昭和46年7月～昭和47年11月



859. 三菱セメント中央研究所

設計：竹中工務店
施工：竹中工務店
a．埼玉県秩父郡横瀬村
b．185,933m²
c．812m²
d．2,551m²
e．RC造、4F、P1
f．昭和47年4月～昭和47年12月



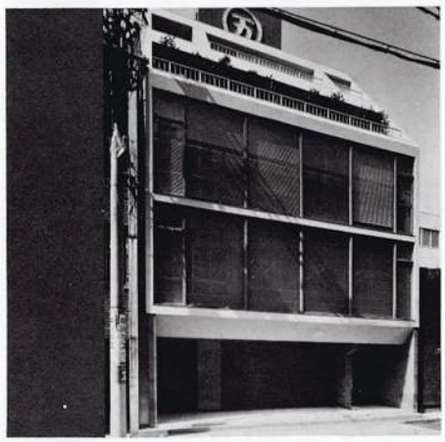
860. 西日本体育会本部ビル

設計：安原中筋建築研究所
施工：大日本土木大阪支店
a．東大阪市長田5 4 9－1
b．2,306m²
c．1,374.78m²
d．2,831.64m²
e．RC造B1 3F PH付 及 R造2F
f．昭和47年5月～昭和47年12月



861. 大阪府南河内府民センタービル

設計：大阪府建築部営繕工事課、大建設計
施工：飛島建設・海原建設共同企業体
a．富田林市寿町2丁目6－1
b．9,871.300m²
c．2,776.729m²
d．7,954.308m²
e．RC造、4F、B1、P2、その他
f．昭和46年10月～昭和47年12月



862. 楢栄ビル

設計：大日本土木大阪支店
施工：大日本土木大阪支店
a．大阪市南区鰻谷中之町3番地
b．202.23m²
c．177.07m²
d．743.94m²
e．RC造、5F、PH付
f．昭和47年2月～昭和47年9月



863. 茨木市合同庁舎

設計：茨木市建設部建築課、東畑建築事務所
施工：鹿島建設
a．茨木市東中条町298番
b．1,840.53m²
c．1,102.00m²
d．6,569.01m²
e．RC造、7F、B1(一部4F)
f．昭和47年1月～昭和48年1月



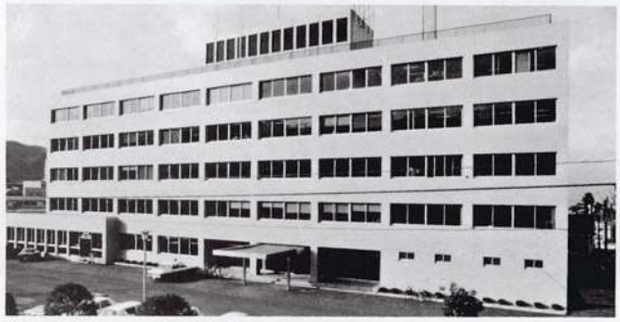
864. 神戸銀行三田支店

設計：東畑建築事務所
施工：熊谷組
a．兵庫県三田市三輪字杉元694番地
b．2,337.59m²
c．733.47m²
d．1,421.70m²
e．RC造、3F
f．昭和46年8月～昭和47年2月

防水層の保護と軽量、断熱に

東邦のパーライトコンクリート PC－D工法

（歩行用及び防水下地用）



屋上アスファルト防水層の保護、断熱、軽量に東邦パーライトコンクリートPC－D工法採用の大津法務合同庁舎
設計　近畿地方建設局　　施工　KK伊藤組、KK笹川組

作業が一工程省け工期の短縮とコストが安くなる合理化工法

- 防水層の押えに使用し仕上モルタルの要らない金ゴテ一パツ仕上工法
- デッキプレートの軽量化や露出防水下地、または貼物下地にナラシモルタルの要らない金ゴテ一パツ仕上工法

畳下地の省力化と塩ビ系タイル下地の防湿、防温、軽量化、断熱（結露防止）に

東邦のパーライトモルタル PM－C工法



各階のタタミ下地に東邦パーライトモルタルPM－C工法採用の大宮高層分譲住宅
設計　大阪市住宅供給公社　　施工　KK間組、KK熊谷組

- タタミ下地の床組（大工仕事）が全く要らないので**工期短縮とコストが安くなる**
- 床組しないので建物の**ボリュームの節約ができる**
- 無機質100%絶対耐火それに多孔性材料のため吸温、遮音に優れている
- **独立気泡**の東邦パーライトと**防水液を使用した完全防水パーライトモルタル**であるため、湿気を全く透さない
- **比重・断熱共木材並１：３**
  （比重0.85kg／ℓ、熱伝導率0.14kcal／mhc）

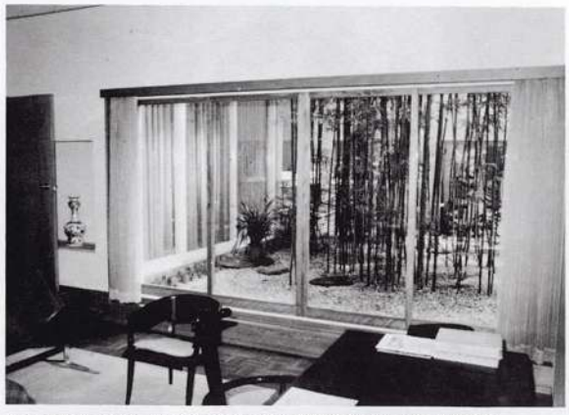
遂に出た…ベニヤ仮枠コンクリート下地の**かべ**、天井の一パツ重厚吹付仕上工法

建設省防火認定材料基材同等第0004号

ネオパールスキン®

化粧、吸音、防湿、断熱（結露防止）と多目的用に

- ベニヤ仮枠コンクリート下地（天井及びかべ）に直接吹付して剥離の心配がない
- **かべ面は金ゴテ押え**すれば聚洛壁タイプの表面強度のあるソフトでデラックスなムードである（ネオパールスキンの特徴）
- 一工程で仕上るので**工期の短縮とコストが安くなる**
- 下地はボード類、鉄板類、石綿板、モルタルなど何んでもよい
- 標準色20色と特別色もできる



かべ面にネオパールスキン7FK（吹付後金ゴテ押え）採用の村野、森建築事務所
設計　村野・森建築事務所　　施工　鹿島建設KK

東邦パーライト株式会社

大阪市東区森之宮西の町５９４　TEL 代表 06－941－9243～7

〈営業所〉 東京03－974－３２２５～７　広島0822－44－６３６０～１　岡山0862－72－２０６９
高松0878－33－１８０２　金沢0762－44－３３４７

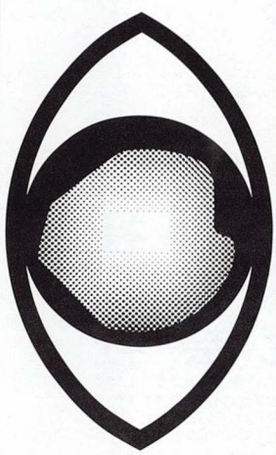
建築の眼

安田　宏
新日本技術コンサルタント企画部長

城谷　豊
福井大学教授

木原正雄
住宅公団大阪支所建築部長

深井満雄
新日本空調大阪支店支店長代理



1月号より6月号まで上記4氏で担当

※3月号より上領潤一郎氏にかわって深井満雄氏が担当

□人工の制御

家の中に太陽をよび入れ、高原の冷気をさそい、また居ながらにして月世界遊泳を楽しむといった人間の夢はいまや現実のものとなった。また、コンピュータの発明は社会や技術の開発に一大革命をもたらした。建築設備や物質環境の急速な発達はここ数年とみに著しい。ところで、これら近代的機械文明の歴史は、たかだか 100年前後のことだから、何億年もの永い間、自然を対象に生きてきた人間がこれにうまく順応しえているかどうかは疑わしい。それよりも、新しい設備の制御を誤って大惨事をおこし、自然のエコロジカルサイクルをくるわすことの方がより心配である。自由時間都市とか24時間都市といった考え方にいたっては自然の冒とくでなくて何であろうか。

――縁先にすだれを下げ、風鈴の音(ね)に涼しさを味わい、露地に打水して、氷水で喉を潤すなど、自然融合を基調とする東洋的な環境演出は二度と庶民には戻ってこないのであろうか。

便利にする、自然を征服するということは、限られた地球人間にとって必要なことなのかも知れない。しかし、より便利に、より人工的にする前に、もう一度自然を見直し、多少不便で貧しくてもよいから、安全対策とか故障絶無を期することの方が、より人間的でより重要なことではないのか。　（Y）

□住宅の規模

北陸3県の住宅は大きい。昭和43年住宅統計調査によると都道府県別の住宅平均規模は、富山県が全国1位で 127m²、2位が石川県で 120m²、そして福井県が4位で 115m²（ちなみに東京都は50m²）である。なぜ全県平均で35坪以上もの規模になるのか、歴史的・地域的要因の関係した興味深い研究テーマではあるが、依然としてなぞである。

ほかに住宅の比較的大きな県として新潟・秋田・長野・滋賀・岐阜・山形などが挙げられるところから、雪国・裏日本・農業県とかいうことに関係ありそうにみえて、実は明快に説明しきれない。それらしい理由に、浄土真宗を中心とした信仰厚い地方として仏事を家庭で行なうための広間の必要が指摘されているが、戦後の生活様式の変化などから、これも決定的理由にはなりそうもない。ただこれに関連して思い当るのは、北陸では、少なくとも福井地方では、仏事にもまして婚礼が盛大で、2～300万円の出費が平均的・慣行的だということである。異常ともいうべきこの示威的支出は、資産家であることを重んずるこの地方の伝統的な風潮に根ざしており、必要以上に大きな住宅を建てることも根は同じとみられる。他国者の邪推であれば幸いであるが――。　（S）

□人間エゴ

何故か、また「ぼやき」のようなことを記してしまう偏狭さをお許し願いたい。――とかく動物というものは、集団になれば不満や外敵に対して粗暴にまで強くなるものだ。人間にあっては頭脳が整っているだけ、それが意識的に計画し行動されている。これは生存競争上の本能であろうが、権力に対しての弱者の主張としてなら肯定もできるが、近年の流行のように、無思慮な暴力的行動に対しては何をか言わんやである。なるほど、人間には権利というものがある、しかしそれは反面で義務というものの自覚があってこそ全うし得るものであると思う。人間の生活は、究極、自己に直結したものを中心に出発するのは已むを得ないとしても、少なくとも社会集団の一員である自己を忘れてはならない。同世代の多くの若者が社会の何らかの構成員として世にあるとき、恵まれた環境に育てられている一部の分子が革命の名に酔って、極端な暴徒と化すのは許し難い。こういった風潮が近代社会の一種の馴れとなってしまってはたまらない。みだりにのさばる一方的権力に対抗することは是とするが、そうではなく、一旦、ある獲得を得たとき、それに到った大乗的、第三者的見地を忘れて、さらにそれ以上の何かを満足させようとする――人間必然の欲望を超えた「人間エゴ」の部類に属するように思われる運動があまりにも多過ぎる現代に、誰もが馴れ過ぎないで、正しい批判をしようではないか。　（K）

□「絶対」という言葉

最近、「絶対」という言葉があらゆる面で簡単に通用し難くなってきたように思われてならない。とくに、過去、科学技術の分野では好んで使用され、通用されてきた言葉であるが、極度に情報化され、多角化されてきた現代、すべてのことが、常に相対的であり、表裏的である。立場、事情の相違、正反対もまた真なり、今日の白が明日の黒であり得ることを常に念頭に置かねばならないほど複雑化していることは否定できないだろう。

十数年前、絶対不可能と思われていた月世界への人類の生存が可能となり、絶対安全と思っていた食品が明日は公害の元凶であったり、まったくわれわれの貧しい常識では考えも及ばない今日この頃であることを思えば、「絶対」と断言できるものは何もないように思われる。

各個人々々の知識、常識、能力、経験がいかに狭隘にしてかつ貧困な範囲のものであるかを再認識する必要があるとともに、逆に、衆知、綜合力は絶対不可能をも可能にする力を十分もっていることを自覚すべきであろう。

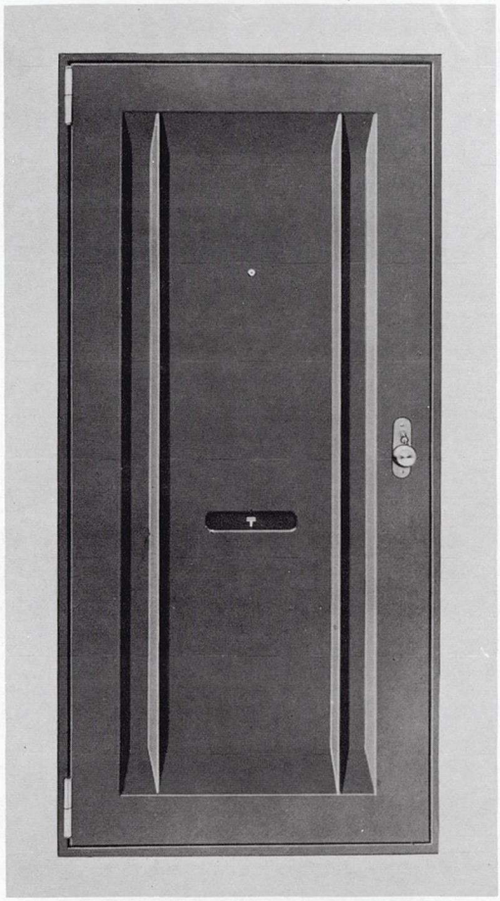
「絶対不可能だ」、「絶対こうだ」、等々各個人が断言できるケースはきわめて少なくなってきていることは事実であり、今後、「断言」と「決断」の相違点を十分に理解し、方針を誤まらないよう注意したいものである。「1＋1＝2」だけでなく、「3－1＝2」もあるという感覚が、今後ますます要求される時代であるばかりでなく、「1＋1＝3」にもなり得る発想こそ定着させねばならないのではないだろうか。　（F）

住宅



きんき プレスドア

防火ドアー



住宅用として開発

きんき アルミサッシ

〔ＫＪ指定メーカー〕

製造元 **近畿車輛株式会社**

本社建材工場　大阪府布施市橋本１番地の１　電話大阪（782）１２３１代表
所沢建材工場　埼玉県所沢市大字所沢１４１５番地　電話所沢（22）５１０１代表

販売元 **近畿工業株式会社**

本　　社　大阪市北区梅ヶ枝町１０８番地　新梅ヶ枝町ビル　電話大阪（363）３３７１代表
東京支店　東京都千代田区神田松永町１９　東京近鉄ビル　電話東京（255）８２７１代表
名古屋支店　名古屋市中村区広井町２－２２　川島ビル　電話名古屋（571）9111
神戸営業所　神戸市生田区海岸通１－５－１　新東方ビル　電話神戸（391）０９０５
広島営業所　広島市鉄砲町１０番１０号　寿屋ビル　電話広島（21）６５８５
福岡営業所　福岡市博多駅中央街８の３６　博多ビル　電話福岡（41）９３６１

御一報次第カタログ拝送します。

ARCHITECTURE AND SOCIETY VOL.54 1973

KENTIKU TO SYAKAI

建築と社会

JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

4

レジャーと施設

SPECIAL FEATURES ON LEISURE & IT'S FACILITIES

表紙デザイン・島村　昇

会　　告　通常総会議決報告。昭和48年度第1回・第2回若い会員の集い—高層ビルを考える。新緑の京の郊外を訪れて—北山杉の見学と高山寺石水院の拝観—。……3

法令コーナー67.　法令建築事務所制度発足——大阪建築士事務所団体協議会発足にあたって——……竹口　信夫…7

スケッチブック　最近竣工した新建築（No.856〜No.864）……13

建　築　の　眼　人間制御／安田　宏。　住宅の規模／城谷　豊。人間エゴ／木原正雄。　「絶対」という言葉／深井満雄。……15

海　外　写　真　イギリスの大学 5.　オックスフォード大学　グループＩＳＳＢ71　文・村本　勝司　写真・田中　宏明…19

作　品　作　風　自然散歩村ＣＯ—ＯＰ五明センター……20　設計：ＫＫ鈴木隆二建築設計事務所　施工：飯地建設業協同組合

特集＝レジャーと施設

総　論

レジャーとその将来的展望……中井　之夫…24

各　論

●社会体育施設として

神戸ＹＭＣＡ総合青少年会館・総合体育館……財団法人　神戸ＹＭＣＡ…28

●総合プラザ型

コミュニティレジャー「セルシー」……岩井　正道・小林　奉之…30

●発想転換の場

自然散歩村ＣＯ—ＯＰ五明センター……澤田富之助…32

●海洋施設として

洲本マリーンヴィレッジ計画……竹中工務店大阪本店設計部…35

●レクリエーション都市型

千種川レクリエーションタウン計画……黒須　将之…38

●海外のレジャー

米国におけるレジャーの動向とデザイン……横内　恭介…42

技　術　の　頁　今月号は休みます。

情報サービス　住宅産業情報サービス　大阪府建築士会の建築情報センター発足……47

日本建築総合試験所だより8．日本建築総合試験所に望む／原野律郎。ニュース。試験装置紹介その8　防火材料試験装置。……48

月　　報　日本建築協会月間の動き（昭和48年2月分）……49

■次月号特集予告—大阪国際ビルディング
■6月号特集予告—老人コミュニティ

編集人　松井昭光
印　刷　昭和48年4月20日
発　行　昭和48年4月25日
発行人　福中定三郎
発行所　（社）日本建築協会
大阪市東区北浜3—37
電　大阪 231—9648
振替口座　大阪 39975
印刷者　網野　栄
印刷所　㈱研文社
大阪市北区堂山町66
電　大阪 361—0351
売　価　1部　400円・送料共

『忙裡偷閑』

くつろぎのひととき●ビリヤード



ビリヤード タカハシ

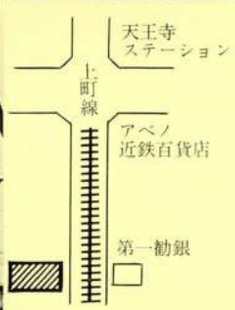
いま、老若男女をとわずビリヤードファンが増えています。ビリヤードは撞く人の腕に応じて正確に反応する頭脳的なインドアスポーツです。仕事疲れの息抜きに、家族連れの休日娯楽に、友人どおしの社交場に、ビリヤードでくつろぎのひとときをお楽しみください。

このたび、僅か 300円／時間という気軽さでしかもゴージャスな雰囲気を楽しんでいただけるビリヤード タカハシが、大阪・アベノにオープン。ビリヤード タカハシは多年の経験を生かして他に類をみない最適環境であなたをお迎えいたします。

●完璧に整備した球具　●高い天井とシックなじゅうたん敷で爽快なスペース〈ポケット９台、四ツ球２台、３クッション２台〉●ビリヤードタカハシ専属プロ：宮部虎造（元３クッション日本選手権者）、島崎和子（ポケット女子プロ）両氏が初心者にも懇切指導　●年中無休　午前11時～午后11時



ボウルタカハシ
設計：村野・森建築事務所　施工：大林組



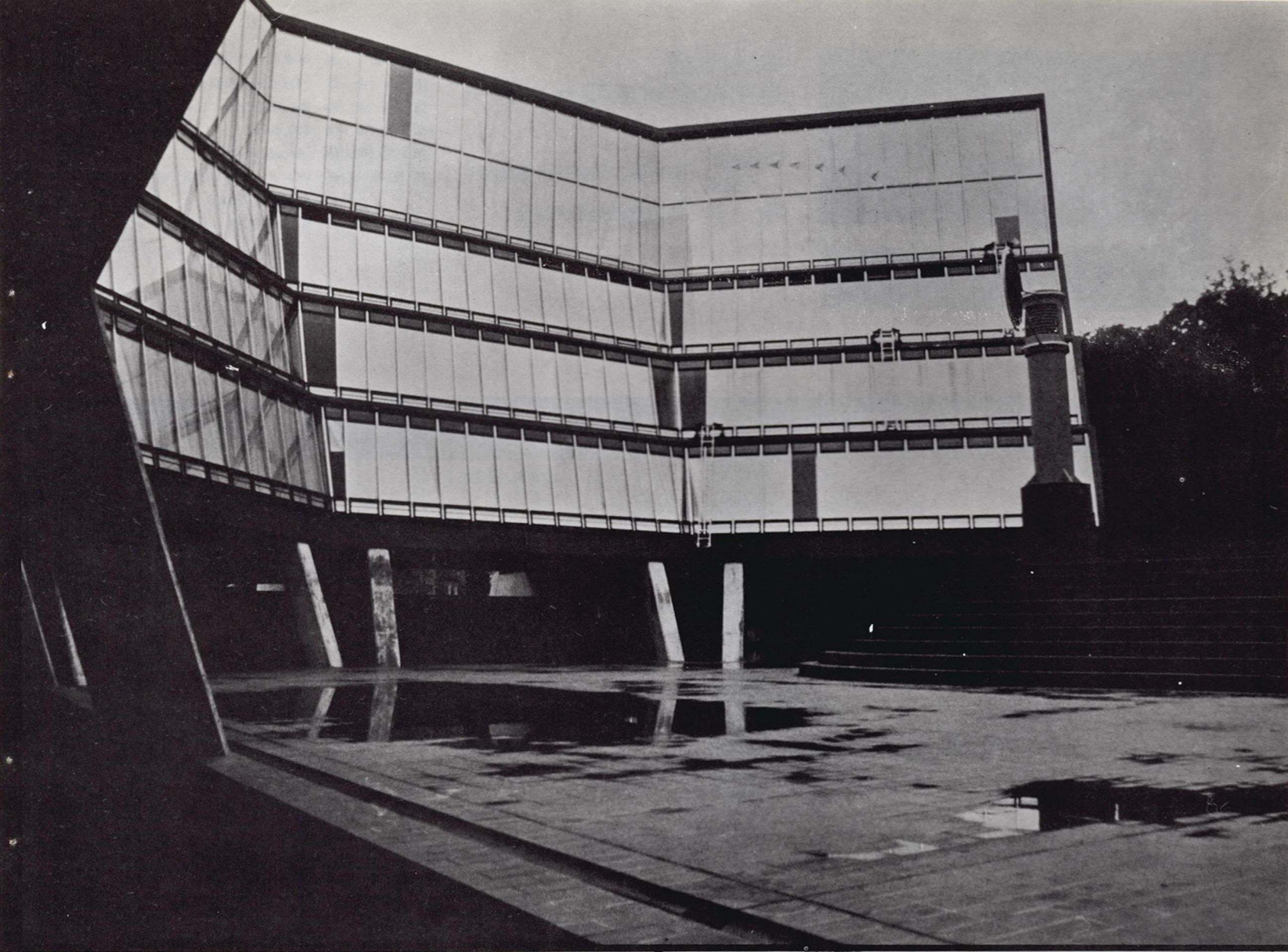
ビリヤード タカハシ
（ボウルタカハシ３階）
TEL.632－7692～5

ビリヤードの変遷

西暦前四〇〇年の頃南欧ギリシャで戸外スポーツとして円錐形のものへ棒で二つの丸い石を突きあてる競技が行われていた。これがビリヤードの先祖といわれている。その後エジプトの妖姫クレオパトラが愛人アントニウスの不在中つれづれにこのゲームを側近と試みたという記録が残っている。又古代ギリシャの神々に捧げられたオリンピックの競技種目に入っていたとの説もある。又一説によれば原始ビリヤードの起源はスペインを発祥の地とする説、東欧に起るという説など必ずしも明確でない。ビリヤード史上最初に名を留むべき人は一五七一年フランス宗教戦争の頃国王チャールス九世の工匠であったド・ヴィニーでこの人を撞球の始祖とする説が強い。一八一八年英人ジャック・カルが球具に改良を加えたとある。一八二三年米国に輸入されて天才シェファー親子の出現により飛躍的発展を遂げた。

日本には今から一〇〇年前西暦一八五〇年島原の乱以来鎖国時代西洋文明の唯一の門戸である長崎出島のオランダ会館へ遙々本国より運び込まれた一式の道具、これこそビリヤード日本の始まりであった。会館の洋妾や日本人、召使、出入りを許可された日本官吏、商人たちが目に見、耳にした奇妙な遊技、碧眼のオランダ人が楽しそうな、また、真剣な態度に呆然と目を見はったのが我が国へビリヤードが現われた日の光景であるとは想像に難くない所である。以来一〇〇年日本人の特質の器用さはよくビリヤードをマスターし数多くの秀れた選手を輩出して今日に及んでいる。昭和五、六年頃に松山金嶺が３クッションを引っ提げて米国より帰国。以后今年三〇回を迎える日本選手権では、小方浩也、久保敬三、宮部虎造、宮口清、中舎恵昭、樫木繁樹、小林伸明らの名選手を輩出。世界の王者ベルギーのクールマンからタイトルを奪う日を期待できるまでになった。また、ポールニューマン主演の「ハスラー」が上映されて以来、ポケット隆盛に拍車をかけ、ポケット協会も創立一三周年、現在プロ選手十四名、うち女性プロ二名を擁しますます活況である。

日本ポケットビリヤード協会会長
ビリヤードタカハシ経営
桑原美一郎







海外写真　オックスフォード大学

イギリスの大学 4

グループ ISSB71
写真　田中　宏明(故)
文　　村本　勝司

上・左下：フロリービル
設計：ジェームス・スターリング

オックスフォード－首都ロンドンと後背地である大工業地域（マンチェスター、リバプール、バーミンガムなど）の中間に立地し、かつ、両圏からのアプローチと両圏へのサービスを共存させている立地であり、東のケンブリッジとならぶ、西の大学都市。

○大学都市－それは、大学が〝内(うち)〟にこもらず、〝外(そと)〟に開き、発展した都市。ヨーロッパの〝まちづくり〟において、共通していえることは、建築物が、〝うち(建築)〟にこもらず、〝そと(社会)〟と密接に関わり、〝そと(社会)〟に向かっていることである。これは、長い歴史に支えられた彼らの生活から滲みでてきたものである。ユニバーシティ・コミュニティは、そのひとつである。



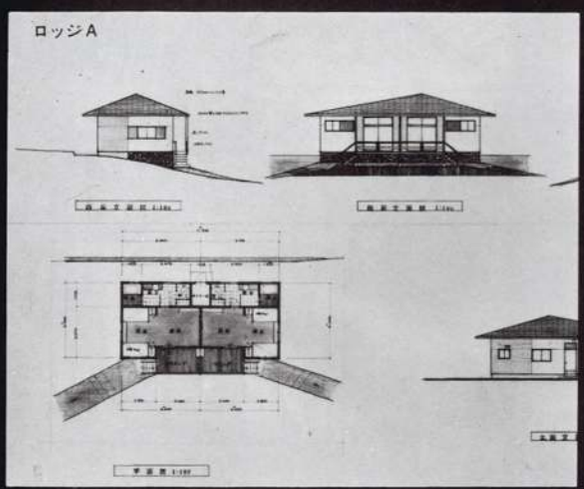
飯地高原
自然散歩村五明センター

計画設計監理　鈴木隆二建築設計事務所
施　　工　飯地建設業協同組合

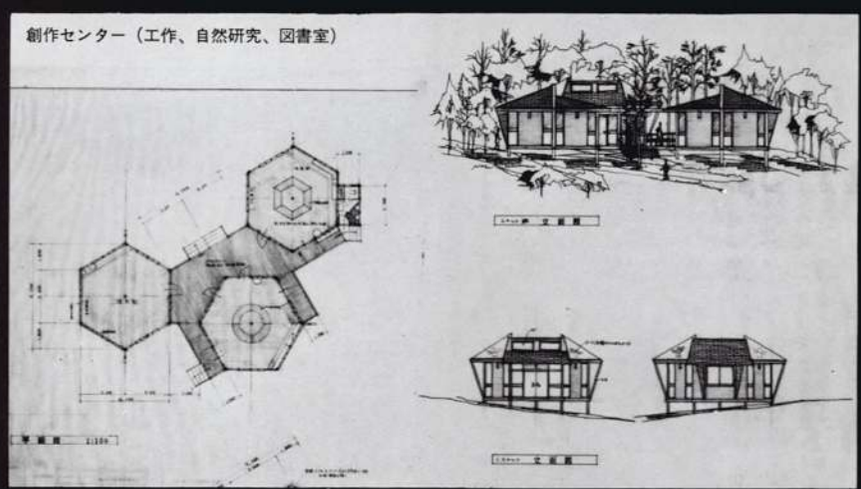
所　在　地　岐阜県恵那市飯地町入野
事業主体　一宮生活協同組合
造形担当　造形美術工房　二科会　喜代志松治
全体面積　330,000m²
第1期対象面積　64,000m²
建築物概要　センターハウス（RC造2階建）等10棟
延面積 2,100m²
開設年月　昭和46年3月

配置図については本文P32を参照。

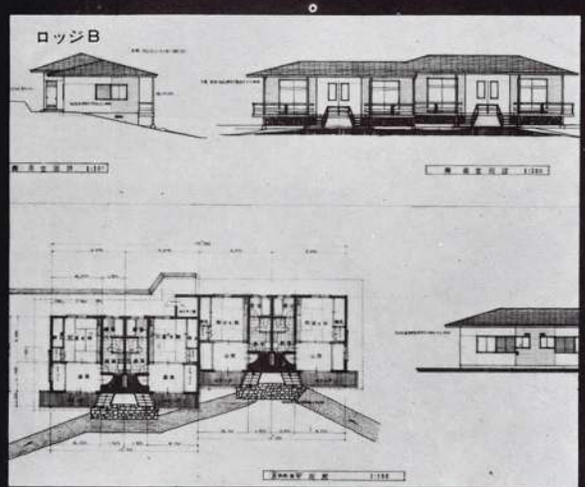
ロッジA



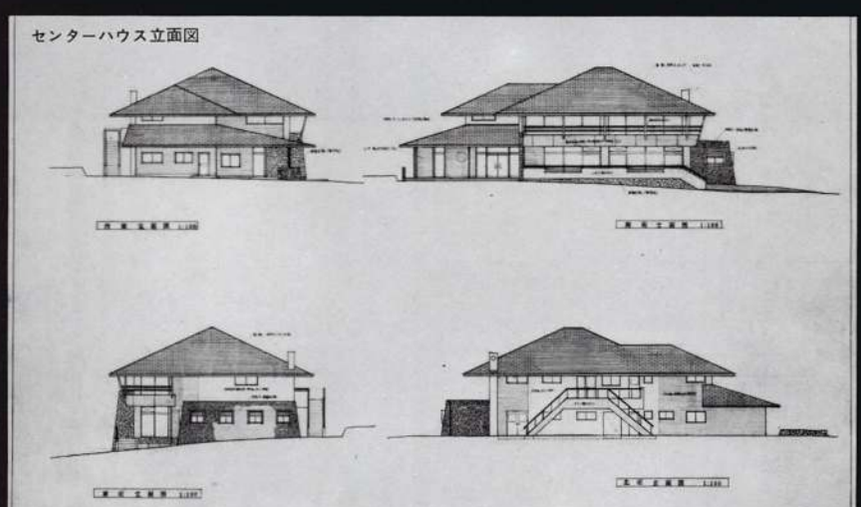
創作センター（工作、自然研究、図書室）



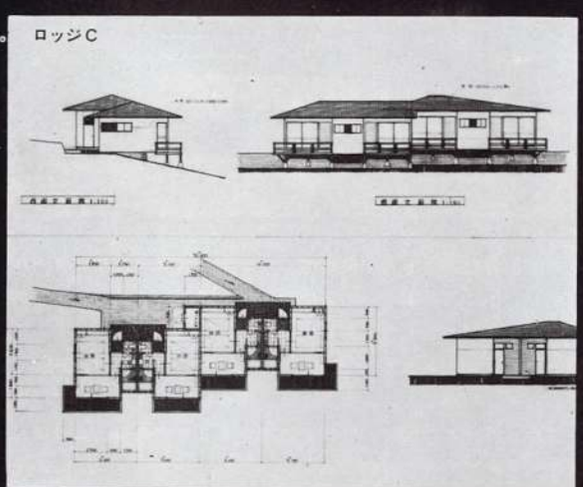
ロッジB



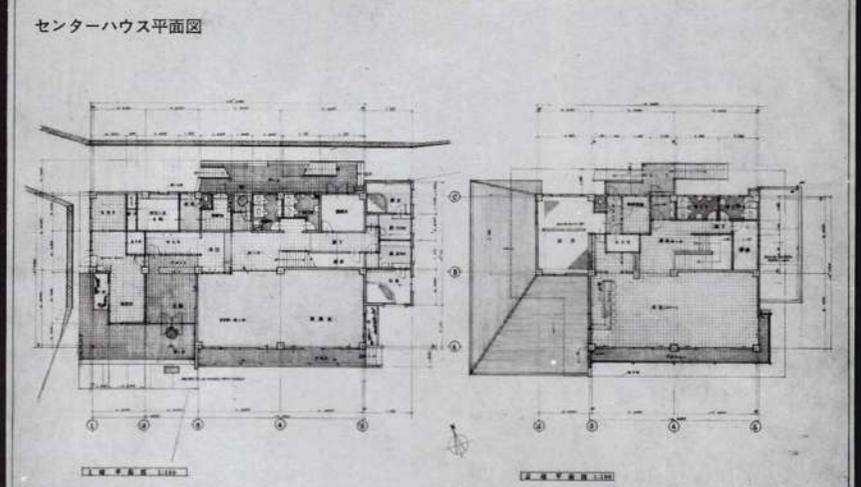
センターハウス立面図



ロッジC



センターハウス平面図



施設建物概要

	名称	構造（規模）		延面積	内容
屋内施設				M²	
	センターハウス	RC造	2F	591.69	管理事務所、職員宿舎 ビジターホール、食堂レストラン レインジャーオフィス、食品倉庫等
	ロッジ(1)	CB造	平家建 2室	76.80	洋室グループ宿泊棟
	ロッジ(2)	CB造	平家建 4室	134.40	
	ロッジ(3)	CB造	平家建 4室	148.86	
	ロッジ(4)	CB造	平家建 2室	71.94	和式グループおよび家族宿泊棟
	ロッジ(5)	CB造	平家建 4室	142.32	
	ロッジ(6)	木造	平家建 4室	148.68	洋室個室宿泊棟
	ロッジ(7)	木造	平家建 4室	114.90	
	創作センター(工作、自然研究)	木造平家3棟		122.85	
	レストハウス	木造平家1棟		30.20	
	研修センター(宿泊併用)	第3期計画中		463.18	
	集会施設	第4期計画中			

屋外施設

駐車場・野外食堂・焼却炉・貯水ダム・高置水槽・天然スケート場
魚つり谷

- 自然散歩コース→
  標示板　屋外陶製スイガラ入
- 自然研究及創作研究エリア→
  創作ポスト　光のオブジェ
- 展望景勝エリア→
  ふるさとの石塚　ベンチ
- コミュニケーション
  フィールド→
  屋外集会場　キャンプ村（計画中）



陶器すいがら入れ
作　喜代志　松治

設計者のことば　　鈴木隆二

今日レジャー産業が、自然破壊につながる施設依存型開発となっていることは、衆知の事実である。

こうしたなかで、一宮生活協同組合が、〝より良い生活のために〟という創立の理想の具現として、〝自然との対話のなかで人間性をとりもどし、より豊かで創造的な人間として生きていくための「場」飯地高原自然散歩村五明センターの建設に、かぎりない情熱をかたむけてとり組んだことは、真のレクリエーションの原点に立った先行的事業として、実に意義深いことであった。

昭和43年企画に着手、以来3年有余の歳月をかけた設計期間中、企画に参画した人々の専門的視点からの多種多様な意見やビジョンの一つひとつを大切にし、どう〝かたち〟として表現するか、つみかさね、ねりあげていくプロセスこそが、他に類をみない価値ある事業であったと思う。

与えられた33万平方米の空間条件に、対応する望ましい空間とは……

1．伸び伸びした感じを起させる開けた自由な拡がり
2．とじ込められたリラクセーションと休息の場
3．興奮や気晴らし、好奇心、動きを呼び起す空間

この三つの異質なものをどう統一し、どう表現するか。

たとえば、駐車場へ着いて、センターハウスまでのアプローチをどうするか、訪れる人の心理状態を考えてみる。目のまわりが過度に人工的だったり、暗かったり　おしつけがましかったり、……といった場合、訪問者は潜在意識として、長く残るような不快感をもつだろう。いかに暖かく迎え入れても、いかにすべてが造型的であっても、全体としてみると、その効果は最初に与えた悪い印象によって減らされるであろう。

こうした、部分部分を限られた条件のなかで、可能なかぎり追求していったプロセスを通し、形あるものへと結晶させていくことが私の役割りであった。

自然のなかにあって、いささかもごう慢さをもたない謙虚な、しかも豊かな表情をもつ建物。一人ひとりが個性ある余暇を、自ら創造し得る活動空間とやすらぎの〝場〟の創造、という大テーマにじっくりと時間をかけ、真剣に取り組んだことは、環境保全を含む新しいレクリエーション空間の創造が、これからの建築家の職能として重要な分野であるだけに、貴重な経験をしたと思うのである。



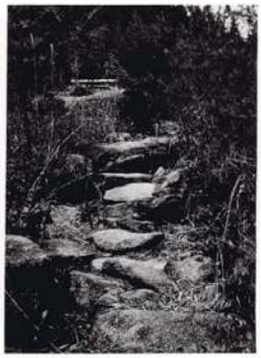
センターハウス



創作センター



湿原地帯



石の小径



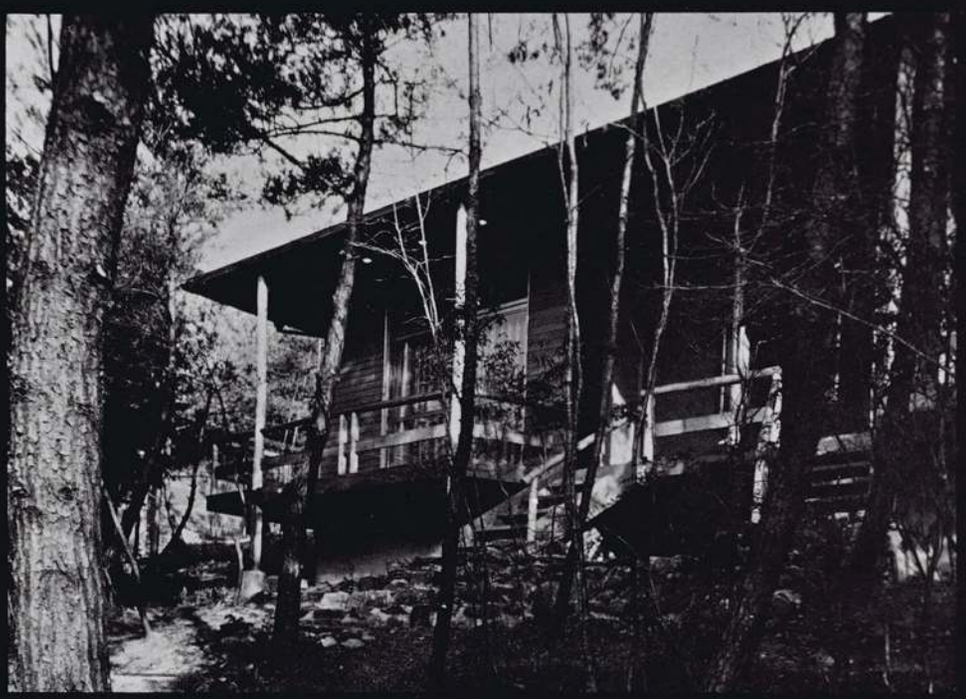
寝そべりの丘



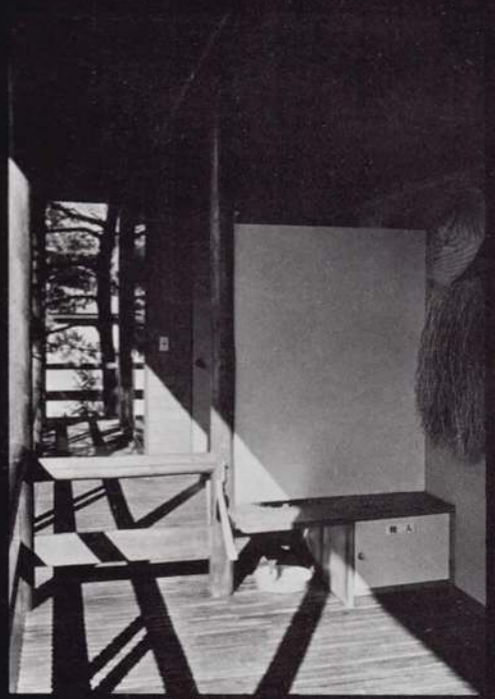
考える丘

撮影・編集部

0



Cロッジ



Bロッジ



Aロッジ



Bロッジ



Cロッジ

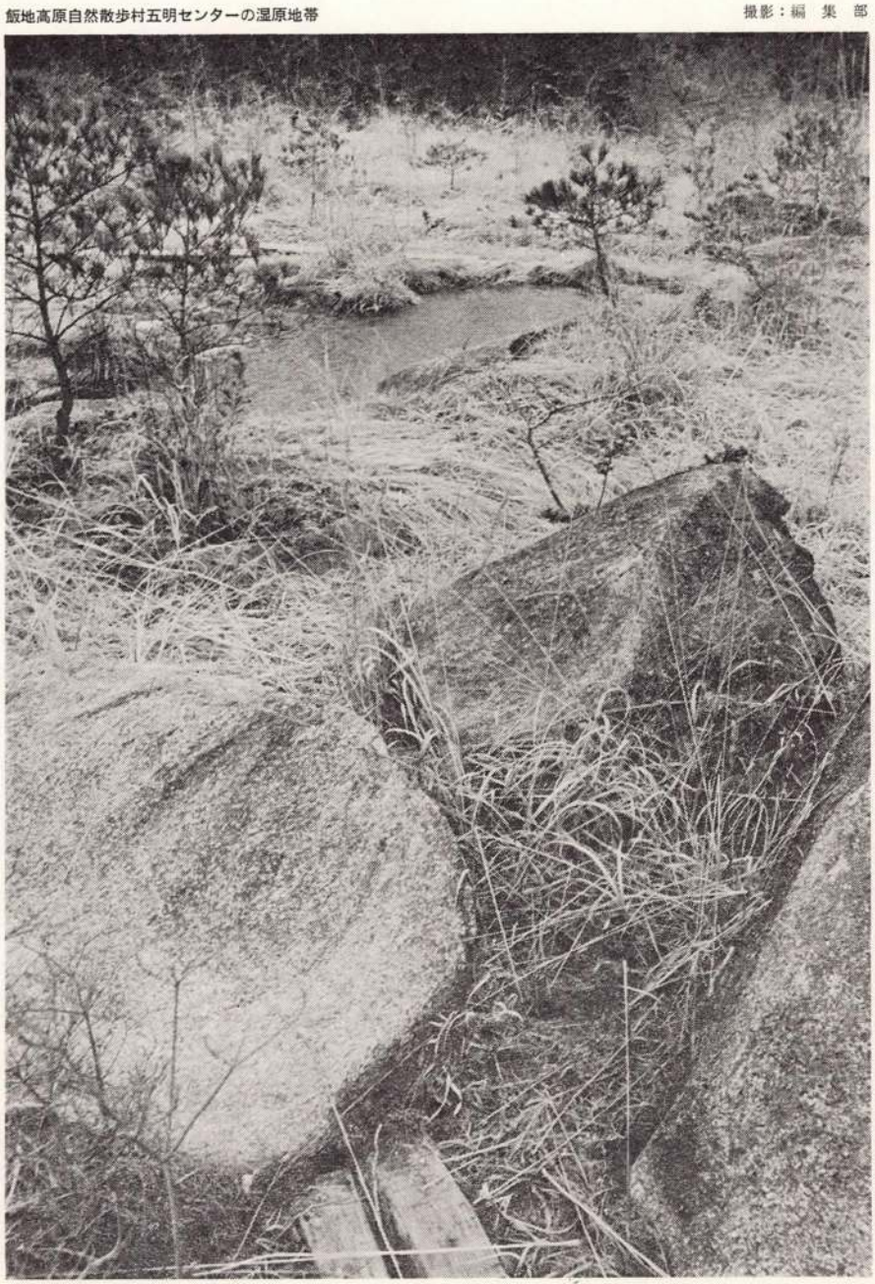
特集・レジャーと施設

レジャーと未来生活との関係において，今後数カ年でおそらく普及していくであろうと思われるいくつかのレジャー施設のタイプをとりだしてみたものである。

- 総論／レジャーとその将来的展望
- 社会体育型／神戸ＹＭＣＡ総合青少年会館・総合体育館
- 総合プラザ型／千里のセルシー
- 発想転換の場型／自然散歩村ＣＯ-ＯＰ五明センター
- 海洋施設型／洲本のマリーンヴィレッジ計画
- レクリエーション都市型／千種川レクリエーションタウン計画

（なお農村地域の「過疎利用型」として某センターの紹介と，総合施設としての泉北パンジョ計画とは，依頼先の都合で掲載を見合わせた。）

飯地高原自然散歩村五明センターの湿原地帯　　撮影：編　集　部



レジャーとその将来的展望

中井之夫

1. はじめに

昨年のゴールデンウィークの9日間に，全国で2,500万人の人々が日本列島を移動し，さらに，これらに要した経費は，1,200億円に達したといわれている。このため，ゴールデンウィークにおける各観光地，行楽地は人の波，行き帰りの列車は，通勤ラッシュなみのスシヅメ超満員，道路はマイカーのジュズつなぎで，交通事故もかなり発生したという。

それでも，人が行くなら私も行くとばかりに，多額の金と汗を流し，人並みの疲労に満足した人々，これがわが国の今日におけるレジャーの縮図である。

現在のわが国は，大衆レジャー時代の到来とか，黎明（れいめい）と言われているように，レジャーの問題が今日的課題として，大きくクローズアップされてきている。

しかし，レジャーは人類がこれまでに経験したことのない，全く新しい課題であり，学問的にもまだまだ未成熟な分野が多い。それだけに，レジャーをどのように考え，また，それがどのような方向をたどるかなどということを，軽々しく論ずることは困難である。しかし一方，国土の建設にたずさわる専門家や，行政を担当する人々が，レジャーの現状を的確に把握し，その将来的展望に思いを馳せることは，きわめて重要なことでもある。

このような意味からすれば，「建築と社会」が，今日的な課題であるレジャーについての特集を企画したことは，まさに時宜を得た好企画と言うべきであろう。

しかしながら，余暇行政の一担当者である私が，レジャーの現状や，その展望についてとやかく論ずることは，厚顔のそしりを免れないし，けっして適役ではない。けれども，あえてそれを承知で引き受けたのは，私の主観的な意見が公にされることによって，これに対する批判のなかから，少しでも人々のレジャー活動が充実されることを，余暇行政の担当者の一人として願うからである。

2. レジャーの現状とその周辺

まず，わが国におけるレジャーの現状や，それを取りまくいくつかの問題について，その概要をみてみよう。

(1) レジャーの周辺

労働時間の短縮　近年の技術革新や経済の発展に伴う生産性の向上は，所得の一般的な上昇とともに，労働時間の短縮をもたらし，週休2日制や，長期休暇制度の普及を促している。たとえば，労働省が昭和46年9月に実施した調査によると，何らかの形で，週休2日制を採用している企業（30人以上）は，全体の6.5%，従業員数でみると，全体の24%に達し，さらにここ1～2年急速に増加する傾向にある。

また，家庭における主婦の労働時間も，電気冷蔵庫などの耐久消費財や，食生活の変化などによって，次第に減少し，自由時間が増加してきている。

生活環境の悪化　地域開発や経済開発の急激な進展によって，美しい自然環境は破壊され，大気汚染や河川の汚濁，騒音などの公害がいたるところで発生し，さらにモータリーゼーションの発達は，交通事故を加速度的に増加させている。このように私たちを取りまく生活環境は目に見えて悪化してきている。

また，人々の自由時間が増加する一方で，生産面における技術革新や，生活の機械文明化につれて，職場はむろんのこと，社会生活や家庭生活においても，精神的な緊張が継続的に要請されるくらしが一般化し，ストレスや運動不足に悩む人々が増加している。

物質的豊かさの裏側　一方，私たちの生活を振り返ってみると，家庭電化製品や自家用車の普及，あるいは食生活の多様化などと，物質的には比較的恵まれた生活ができるようになった反面で，やれカラーテレビだ，やれルームクーラーだと，世間の風潮に振りまわされ，主体性のない生活が随所に見うけられる。そして，あまりにも物質中心の社会のなかで，人々は満たされない心の貧しさを訴え，焦燥感を抱いて，人間疎外や世代の断絶をかこちつつある。さらに，都市化の進展につれて，地域社会における人々の連帯感も次第に薄れてきている。

(2) レジャーの現状

こうした悪化を続ける生活環境の一方で，大衆レジャー時代ともいうべき，初めて体験する新しい事象（自由時間の増大）に，人々はどのように取り組んでいるのであろうか。

総理府が昭和46年8月に調査した「余暇に関する世論調査」の結果によると，「何もしないで横になったり，テレビや雑誌を見たり，子供の相手などをする」といった，いわゆるテレビゴロ寝型が，休日67%，平日74%と

圧倒的に多く，積極的にレジャーと取り組むといった傾向はきわめて少ない。

また，さきに述べたゴールデンウィークの例が示すように，人がやるから自分もやるといった，他人依存型のレジャー活動が多いのも，日本的な特質といえよう。

このように，受動的，消極的なレジャー活動が多いのは，わが国が長い間，産業優先の政策を続けてきたことや，あまりにも物質的な生活の充実に力点が置かれ，しかもその欲望増大のスピードが早かったためである。その結果，人々はその欲望を追いかけることに精一杯で，社会資本の充実や，生活意識の面で立ち遅れを生じることとなった。

3. レジャーとは何か

昨今の自由時間の急激な増加につれて，レジャーに対する人々の関心は次第にたかまってきたが，その理解は人によって大きく，あるいは微妙に食い違っているのが現実である。

ところで，レジャーそのものは時間的な概念であるが，時間的側面からだけではなく，質的な側面も含め，従来のレジャーと，今日的な意味でのレジャーの違いについて若干考えてみたい。

かつてのわが国は，「働かざるもの食うべからず」という諺で代表されるように，労働中心の社会であり，人々はただひたすらに働き，大多数の人々は，労働のなかに人生の充実感を求めてきた。こうした状況のもとでのレジャーは，労働と睡眠や食事などの生理的時間の余ったものとして認識され，労働の再生産にその最大の重点が置かれていた。すなわち，従来のレジャーは，明日の労働のためとか，労働の緊張緩和，あるいは，労働のほうびといったように，いわば経済フレームのなかに位置づけられてきたわけである。こうしたなかでは，レジャーを内容的にどのように充実させるべきであるか，というような問題が発生する余地は少なかった。

しかし，今日的な意味におけるレジャーは，もはや労働に従属するものではなく，それ自体が独立し，人間生活の主体として生活を豊かにエンジョイし，生きがいのある充実したくらしをつくり出すものして，積極的な意味や願望がこめられている。

1970年6月，国際レクリエーション協会を中心に，レジャーに関連した国際活動を行なっている16団体は，レジャー憲章を制定し，レジャーを人々の自由な権利として，全世界に宣言した。すなわちこの憲章は，「人はすべてレジャーに対する権利を有する」（第1条）と規定し，さらに，「誰にも左右されない自由さで，レジャーを享受する権利は絶対的なものである」（第2条）と規定している。

ところで，自由な権利としてのレジャーとは，どのような意味をもつのであろうか。それは，かつてのレジャーのように，それが労働の再生産のための手段や，労働のほうびとして与えられるものではなく，個人の自由な時間としてそれ自体が独立し，豊かで楽しい生活を可能にする目的で，個人が自由に活用したときに，はじめてその自由や権利が確保されたといえよう。

語源的にみても，レジャー（Leisure）は，ギリシャ語で文化活動を意味するスコーレ（Schole）と，ラテン語で何もしないことを意味するオティム（Optium）を両極に含む，幅広い人間生活を意味している。また，英語のレジャーに対するフランス語のロワジール（Loisir）は，「何もしないこと」「旅行」「スポーツ活動」「文化活動」などの諸活動を含み，人間性の開花をねらいとしたものとして，理解されているようである。

このようにレジャーは，まさに人間生活の中心的役割りをもち，生きがいのある生活，いわば，より人間にふさわしい豊かな生活の根本にかかる課題であり，人々が生活の主人公として，レジャーをどのように過ごすかによって，豊かで充実した生活が実現できるか否かが決定することを意味している。

4. レジャーをめぐる生活の展望

厚生省が，同省の審議会委員を対象に実施したアンケート調査から組み立てた「将来の日本人の生活像」によると，1980年代前半には，週休2日制が完全に実施され，平日の自由時間は，今より2時間ほど増加して，約7時間になるという。そして，家計費に占めるレジャー支出は15%以上になり，都市化が一層進んで，全人口の80%以上が，人口10万人以上の都市に住み，65才以上の高令者のいる世帯は，1987年頃には，200万世帯（現在120万）に達し，その頃には，社会制度も整備されて，生活保護世帯はなくなるであろうという。

一方，フランスの経済学者ジャン・フラスティエによると，21世紀には，人間の平均寿命は80才程度に伸びることが予想され，一生の持ち時間約70万時間のうち，睡眠，食事など，人間生活に必要な生理的時間は，1日10時

間として，全生涯で約29万時間，そして，労働時間は週30時間，年40週，労働年数を35年とすれば，約４万時間という計算が成り立ち，自由時間は実に37万時間になるという。

しかし，人間が生まれてから，社会的人間に成長する間を22年とすると，その間に約20万時間が必要であり，そのなかには，約８万時間の生理的時間が含まれているので，それを差し引いた12万時間を，フラスティエの37万時間から除いたとすれば，自由時間は25万時間となる。かくして人間は，将来約４万時間の労働と，約25万時間のレジャーをもつこととなるわけである。

いずれにしても，将来，人間の前に想像できないほど巨大なレジャーという時間的空間が立ちふさがることは必至である。

ところで，レジャーが急速に増加するなかにあって，人々のレジャー活動や生活が，どのような特徴や方向をもって進行するのであろうか。

まず，最近のレジャー活動に見られる特徴的な傾向をみると，その第一は**屋外化，参加化**である。レジャーが少なく，こま切れの段階では，ただなんとなく過ごす消極的なレジャー活動が多いが，レジャーが増加し，まとまったものとなるにしたがって，単に見るレジャーから，するレジャーへの変化をみせており，また，都市的生活の拡大につれて，野外に活動の場を求める傾向が強くなってきている。

第二は，**広域化，大型化**である。週休２日制や，長期休暇制度の普及，あるいは，自家用車の普及をはじめ，各種の交通機関の発達につれて，人々のレジャー活動の範囲が大幅に拡大し，広域化するとともに，所得の増大などが加わって，内容的にも大型化してきている。

第三は，**多様化**である。レジャーの増大と所得水準の上昇は，一方において，人々の行動の自由を拡大し，レジャー活動においても，次第に多くの分野に人々を駆り立てつつある。また，管理社会化や，物質文明化が進むにつれて，人々は，より精神的な充実を求め，より個性的でありたいと願うようになる。かくしてレジャー活動は，いよいよ多様化する傾向にある。

ついで，レジャーの増大につれて，人々の生活がどのように変化し，また，そこに新たに発生すると思われる課題について若干ふれておきたい。

①新しい家庭づくりの進行

レジャーの増大は，当然，人々の家庭における時間を増大させることとなるが，これは，人間性を回復し，安定させる拠点として，また，レジャー活動の最も基礎的な場として，家庭の役割りが増大することを意味し，そこから，新しい家庭づくりが進行することとなろう。したがって，住宅の設計ひとつを例にとってみても，家族の団らんや，趣味活動，家庭におけるレジャー活動などを配慮した発想が必要となってくるのである。

②　新しいコミュニティづくりの進展

家庭にいる時間が増加すればするほど，個人の家庭生活の豊かさ，快適さを実現するためには，快適な社会環境の必要性が痛感され，地域社会に対する関心が高まるであろう。そして，人々が家と職場を往復し，家庭が単に疲労回復の場であったときには，それほど切迫感のなかった近隣社会の諸問題が，豊かな生活を営む上で，人々の身近な問題として意識され，快適な社会環境づくりと積極的に取り組むことの必要性が痛感されることとなる。一方，個人や家庭における趣味やスポーツなどの活発化は，やがて地域内のグループ活動を促進することとなり，これらの活動が相互に関連しあって，これまでの個人中心，家族中心の閉鎖的な活動から脱皮し，近隣を含めた広がりのなかで，レジャー活動が展開されることとなる。そして，そこから新しいコミュニティづくりが進展することとなろう。

③　新しい老人問題の発生

今日のレジャー活動は，１日ないし，１年といった比較的短いサイクルのなかで議論されがちである。しかし，わが国では今後老令人口の急速な増加が予想され，昭和40年には，総人口の9.7％であった老令人口が，昭和60年には14％に増加すると推計されており，レジャー活動における老人問題は，今後ますます重要さを増すであろう。ことに，長い年月にわたり働き蜂で通してきた人々が，このまま老令化し，しかも，それが急速に増加するとすれば，人生における最も大きなレジャーをもつこととなる老後において，とまどいや絶望感を抱くこととなり，そこに新しい社会問題が発生することとなる。そこで，老後におけるレジャーを充実したものとするため，個人個人がライフサイクルを考えた能力の修得に努め，老後に備える必要があろうし，社会的にも，このような点を配慮した施策を早急に進める必要がある。

④ 創造欲望の増大

人間の欲望には3つの段階があるといわれている。その第一段階は，寒ければ着るものが欲しい，空腹になれば食物が欲しいという生存欲望である。第二の段階は，快適欲望といわれるもので，同じ着るものでも，よりよいものを，同じ食物でも，よりうまいものをという欲望である。また，電気洗濯機やルームクーラーが欲しいという欲望などもこれに含まれる。この快適欲望が満たされると，第三の段階では，創造欲望が頭を持ち上げる。これは，精神的な豊かさを求め，人間的により向上したいという欲望である。

ところで，レジャー時代を欲望の側面からとらえると，それはまさに創造欲望の段階といえよう。したがって，今後，レジャー施設等の整備を推進する場合，人々の創造欲望の充足について十分に配慮する必要があろう。

⑤ 自然への回帰

自然は人間の心身をはぐくみ，心の安らぎを回復させ，美的感動を与え，明日への活力を生み出す土壌であるが，都市化社会，機械文明化の進展は，人々の生活を自然から遊離させるという矛盾を秘めている。しかし，このように自然と遊離した生活が日常的になればなるほど，人々はレジャー活動を通じて，心のふるさととしての自然を求めることとなる。そして，自然は偉大なレジャー資源として，ますます重視されることになろう。したがって，急速に進みつつある自然破壊や，生活環境の汚染と積極的に取り組むとともに，自然を主体としたレジャー環境を早急に整備する必要がある。

5. レジャーにおける専門家の役割り

レジャー憲章がレジャーを人々の自由な権利として規定していることはすでにのべたが，さらにこの憲章は，自治体，都市計画専門家，設計技師，民間団体等の役割りとして，「これらの組織や，専門家は，人々が個人の趣味や，本人の責任において，レジャー活動を選択できるよう，レジャー活動の機会，美的環境，レクリエーション施設の計画を創造し，援助しなければならない」（第7条）と規定している。

これは，レジャー活動の場としての空間の整備をはじめ，物的，人的条件の整備について，専門家や行政担当者等が積極的に考え，取り組まなければならないことを示している。

過去の歴史を振り返っても，ルネッサンス運動などに見られるように，建築家や芸術家といわれる人たちが，政治をリードし，新しい文化を築いてきた事例は数多いし，今後も，これらの人たちや行政の担当者が，文化の先導者として，レジャー社会の発展に貢献しなければならない責任はきわめて大きいといえよう。

6. 日本的レジャーの確立を目指して

さきに余暇開発センターは，「わが国余暇の現状と余暇時代への展望」と題する報告書をまとめたが，それによると，わが国のレジャーは，欧米諸国に比較してまだまだ遅れているという。

たしかに，週休2日制の普及や労働時間でみると，わが国と欧米諸国の間に大きな開きがあるし，レジャー施設も少なく，また，レジャーに対する意識も十分でないことは事実である。そして，今後わが国は欧米型レジャー活動や，レジャー観を大いに取り入れることになると思われるが，私は欧米諸国に学ぶことはあっても，それをまねたり，追いかける必要はないと主張したい。

明治以来，わが国は欧米の文化を導入することに急なあまり，日本の良さや，日本の文化風土をあまりにも無視してきたように思われる。私は，昨年の秋，機会があってヨーロッパの国々を回り，駆け足ではあったが，ヨーロッパの文化にじかに触れて，はじめてヨーロッパとわが国の風土の違い，文化の違いについて考えさせられた。そして，日本には日本の文化しか育たないということを実感として印象づけられたわけである。

たとえば，レジャー施設の整備一つをとっても，用地費が坪数万円もするわが国と，用地費がきわめて安いヨーロッパ諸国の場合を同一次元で考えることはできない。用地費が高ければ，それなりの創意工夫が必要となってくる。これは単に一例にすぎないが，文化の成り立ちや，風俗，人間精神の根底にある芸術感覚や倫理的なもの，あるいは情緒性などといった点で，日本とヨーロッパには大きな違いがある。

したがって，レジャー活動やレジャー観についても，ややもすると欧米を追いかける方向をたどりがちな現状を改め，日本文化の伝統の流れのなかでの「現在」を的確に認識するとともに，日本の風土にしっかりと腰をすえて，施設の整備はむろんのこと，日本的レジャー活動や，日本的レジャー観をつくり出す努力が，今日のわが国にとって，最も必要なことを強調して筆をおきたい。

（なかい ゆきお 兵庫県生活部余暇課レクリエーション係長）

●社会体育施設として

神戸YMCA 総合青少年会館 総合体育館

神戸市 生田区加納町

財団法人　神戸YMCA

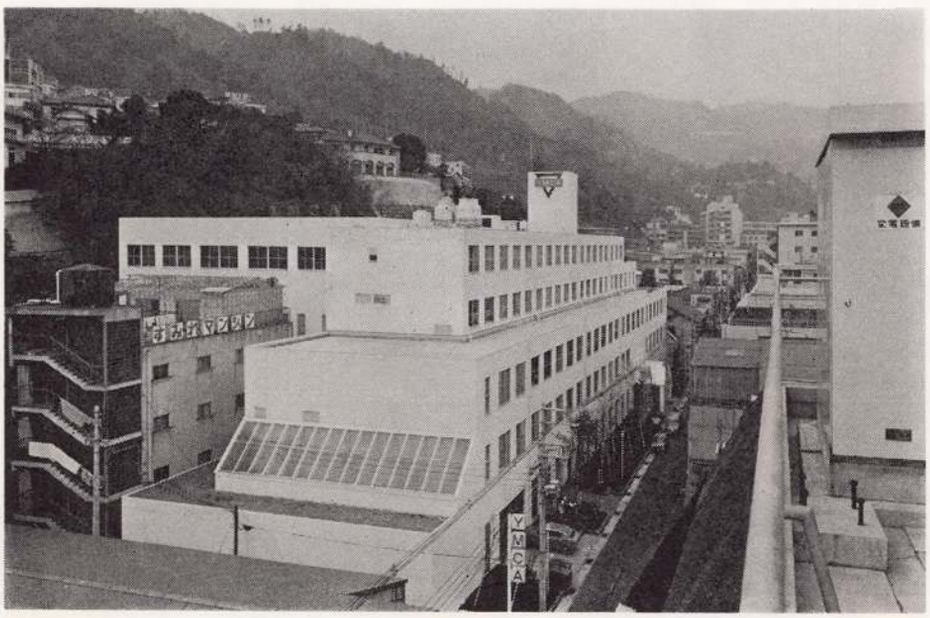
余暇と身体的活動

今日，レジャー（余暇）というものが，労働からの逃避や，今まで一般に考えられてきた，遊びというものの時間の増大ではなく，もっと新らしい意味での把え方が人間にとって必要になってきた。すなわち，余暇のもち方に人間的価値が規定されると考えられる。そうするとレジャーとしての活動，レジャーをいかに使うかといったことを考えておかねばならないという問題が生じてくる。

本来，レジャーとしての活動は，余り特定の目的を強調せず，自由時間のなかに，気楽な遊びとしての要素の強いものであった。そこには，気晴らしといった意味のものを含んでおり，手軽に行われてきた。またさらにそれらの活動は，そういった意味から，施設をただ単に利用するという形をとり，かつマスで行われる要求から，施設の巨大化とゴージャス化を生むといった傾向を示してきている。

しかし，時代が進むにつれ，社会が変化し，それに伴ってわれわれの生活なども変ってくると，このレジャーをいかに使うかといったことも変ってきた。わが国の近代化，すなわち都市化は，労働に重点を置いてきたことに対する反省を呼びおこし，それだけに，余暇というものの使い方に従来よりも強い関心と要求を生じ，そこに人間性の回復をはかろうとしている。一方これと同時に，余暇の内容も，われわれの生活様式の変化に伴い変ってきた。余暇というものが，人間として生きるに必要な時間であり，勤労との両立が，人間的成長そのものに関わるものであるから，その内容も受身で，逃避するものでなく，もっと積極的な，何かわれわれの生活すべてに関わる態度を変格させるような，そういった傾向のものへと向かっている。

このようにレジャー（余暇）の内容，その使い方が近代化――都市化のなかで新らしい意味をもってくると，それは当然，社会体育の面においても，様々な意味をもった現象が生まれてきている。社会体育においては，幅の広い様々な活動が含まれているが，とくにそのなかでも身体的活動としてのスポーツ活動が従来から大きな位置を占めてきた。このスポーツ活動は，学生時代に行った，スポーツ・クラブ活動が，学校を卒業して後も，自己の余暇の活動として，引き続いて行われているわけで，青年時代の趣味活動としても多く行われている。しかしこのスポーツ活動も，前述のような余暇の諸点での変化と，それを生み出している生活様式の変化により，通常の趣味活動としてではなく，近代化のなかに生きる人間の根本的なものに関係づけられたものとしての意味をもってきているように思われる。すなわち都市化による過剰ストレスの発生，人間の疎外現象による孤独，といったものに対する精神的緊張，不安を処理するものとしての身体活動への強い要求，生きがいを強くはっきりと感じさせるような全身を打ち込んだ身体活動の実現などが，容易に満たされないという状態からの要求である。このように社会からの様々な状況から生み出される身体活動の要求と，一方では個人の生きてゆく上での基本的要求としての身体活動が，充分に行うことができず，そのフラストレーションの発散としては，文化・創作活動は充分でなく，そのために身体活動が強く要求されている。そしてこうした本来の身体活動への願望・要求といったものが，われわれの生活観といったものに影響を与えて，健康でありたいという願いを強く打ち出してきている。当然健康でありたいという願いは，われわれの生活すべての態度に変化をもたらし，ここに健康になるために身体活動が必要なんだという自覚が生まれる。こう見てみると，こういったことは，全く社会体育の意義が，今日では，大きくうったえられているわけで，その必要性が叫ばれるゆえんでもある。そして健康であるための社会体育はさらにわれわれの体育に対する見方にも変化をもたらし，健康と体育が密接に結びついた身体活動の社会的価値観を新らしく形成していっているようであ



る。さてこのようにして，健康と結びついた体育としての身体活動への強い要求に対してどのような身体活動がよいのかといったことが必要になってくるのであるが，その点では，いろいろなところで活動を行う施設を作ってきているが，このガイダンスとしての機能を果す施設は少ない。国などでも，まず施設をもっとふやさなければならないといって，施設づくりを昨今進めてきているが，それはそれとして必要であるが，なんとしても，こうした健康の願望を具現するためのガイドとその場としての施設が必要とされる。

神戸YMCA総合青少年会館および総合体育館の誕生

神戸YMCA総合青少年会館および総合体育館は，以上述べたような，現代のレジャーと社会体育の位置づけをもとに，そのガイダンス・センターとしての施設として誕生した。ここでは，この施設の利用や集う人たちへの指導を通じて，身体活動へのニードにはどんなものがあるかといった調査やそれに対応するプログラムや指導性の養成などが行われ，そうすることによって，健康への芽ばえといったものが体験できるような，教育的ガイダンスができる。この教育的ガイダンスといったものには，ここで行われる主なものが，体育であるゆえに，いうまでもなく体育のプログラムは，ストレス解消や，余暇の善用としてのレクリエーションの本質をもっているから，そのレクリエーションから体力回復としてのリハビリテーションに至る広い範囲を含むことになる。

最初は余暇善用，ストレス解消といったレクリエーションからはじまって，それが人間関係をグループを通して回復するに役立つ，スポーツ・クラブ活動といったものに進み，競技といったものを通して，より人間性の回復がはかられてゆく。一方，個人の健康と結びついた体力づくりというものも注目されてゆく。体力を維持することは，個人の健康でありたいといった生活観と結びついて，生活のなかでの体力づくりが行われてゆく。またこの体力づくりは，単に身体のある部門を強くするといったことでなく，健康と関係のある，病気への予防，栄養の正しい摂り方などを目的とする，身体のすべての器官の良い状態の維持をはかるものである。そしてさらに失われた体力の回復をはかるリハビリテーションや身体的障害をもった人のための治療としての運動といったものまでが考えられる。

このように，神戸YMCAの施設は，社会体育のなかでの，その意図的な方向性といったものが，教育的ガイダンスを通じて，多くの人たちに示されていき，個人の健康への正しい理解が経験されていく。そしてこうした施設というものが，社会体育の意義を実際に体験させる上にもつ価値は非常に高いものがある。YMCAの施設がその指導性を伴って，今日の日本の社会体育の振興に，こうした点で寄与するところは，まことに大きいものがある。そして，施設化といったものは，このようなものでなくてはならないであろう。

つぎに，施設の概要を取り上げながら，具体的に社会体育のために役立つものを述べてみる。

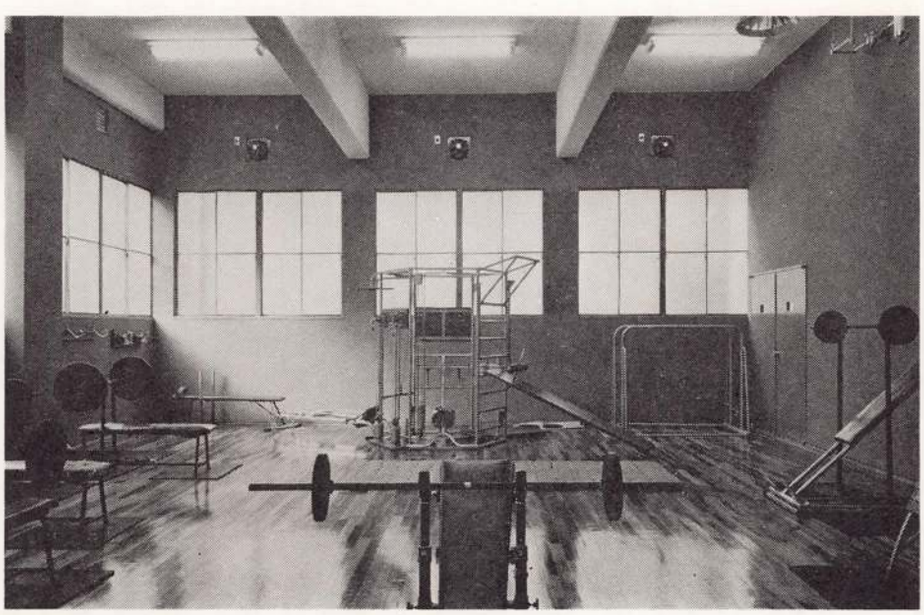
まず，余暇善用やストレス解消などのための，レクリエーションのための活動のできるものとして，広いスペースをもつ，ロビーとスポーツ活動のための大体育館があげられる。ここでは，各種のスポーツ，たとえば，バスケット・ボール，バレーボール，バドミントン，卓球，フェンシング，など，主として青年層のための活動と，幼児から少年―小学生より中高生まで―のためのスポーツ・体育が行われるようになっている。幼児・少年のためのものとしては，主に，運動技術の習得がはかれる活動がある。この大体育館のなかには，棟上にランニング・トラックが設置され，日常でのいちばん不足がちな走ることができるようになっている。この走ることは，最近，中高年の人たちの健康維持のための運動として，推せんされているもので，スプリントをもった走りでなく，緩走―ジョッギング―が主なものである。

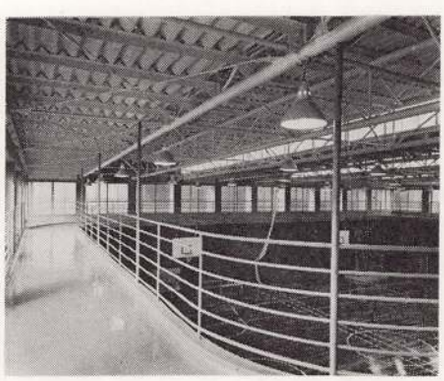
さらに施設としては，中体育館があり，ここでは，社交ダンス，フォーク・ダンス，バレエ，剣道，空手といったものができる。これらもスポーツ，レクリエーション活動として欠かすことのできないものである。そして小体育館，ここは別名，ウエイト・トレーニングを行うところであり，いわゆる体力づくりのためのものとしていわれているものである。各種の器具を有し，オールラウンドな身体づくりができる。とくに中高年の人たちのために，軽いトレーニングのできるトレーニング器具も揃っている。その他，健康管理室，体力測定室などもあり，健康のための知識と理解が深められることもできるようになっている。最後に室内プールがある。室内プールは，水泳のための技術や，水上プログラムのために，非常にその価値が高い。しかしそれとともに，健康増進，維持のためにも，これから欠かすことのできないものである。すなわち，心・肺臓の機能向上，維持のために大きな効果をもつものである。それから一日の疲れをいやす意味での，リラックスのできるのも，この水泳である。競泳でなく，レクリエーション的な水泳は，ストレス解消のための良いリラクセーションでもある。

かくのごとく，神戸YMCAの施設は，こうした多くの活動の可能なものであるが，それは，決して，バラバラな施設として利用するものではなく，あくまでもあらゆる年令層に，健康への要求とマッチした，身体活動の体験できる場であり，前述した教育的ガイダンスをふまえたセンターとしての機能を果すものである。個人の良い指導を通しての健康への願望をこうしたもので具現することは，われわれの明日への幸福を約束するものである。なおこの文のなかに示されている構想については，下記の方々との意見懇談をもとにしていることを附記しておく。

神戸YMCA総主事
神戸YMCA体育専門委員　今井鎮雄
神戸大学教育学部　助教授　岩田　敦

（文責　西脇　要）





●総合プラザ型

コミュニティ レジャー 「セルシー」

大阪府豊中市新千里東町
岩 井 正 道
小 林 奉 之

1. 序　論

フーラスチェのいう「4万時間の時代」あるいは，大衆余暇時代といわれるような世相を反映して，各地に，さまざまなレジャーの動向がみられる。しかしながら，真に人間性豊かなレジャー活動といえるだろうか。かつて，J.M.ケインズが心配したように，余暇時代の到来とともに永年つちかわれてきた生活習慣と本能が，わずかの間に崩れ去る状況に追いこまれている兆候がみられる。すなわち，資本主義経済のひずみから生まれた逃避型のレジャーが大半をしめるに至っている。

余暇とは，本来，労働力とは何か，幸福とは何か，人間らしい生き方とは何か，といった根本的問題を抜きにしては考えられない。古代ギリシャ社会にみられたような，創造的な活動こそ，人間の根源的欲求と考える。大衆レベルでの物質的欲求を満足させた産業革命に対比して，精神面での人間革命の時代がきたともいえるであろう。

この社会的方向として，心理面での余暇教育と，社会面での環境整備の二方向が考えられる。その一環として，レジャー施設というものを考えていきたいと思う。日常生活パターンを考えてみると，**図1**のごとく，生産の場と，再生産の場にわけられ，行動圏に対応したレジャー施設は大きく，市街地型，郊外型，遠隔地型の三つに分類できると思われる。施設としては，それぞれの型の範囲内での創造的レジャー活動のための場が考えられなければならない。

他方，そのレジャーの場を形づくる空間造形は，第一にレジャー活動を規定してしまうものであってはならない。すなわち，単一な目的のための空間ではなく，行動の可能性を最大限に生かす無限定空間であるべきである。しかも，その造形は，視覚的にも可能性を暗示するアイデンティティの表現が必要であろう。

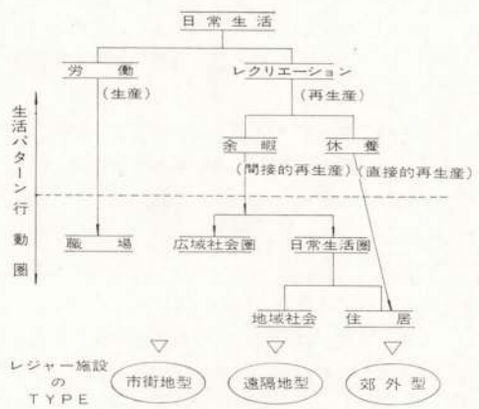
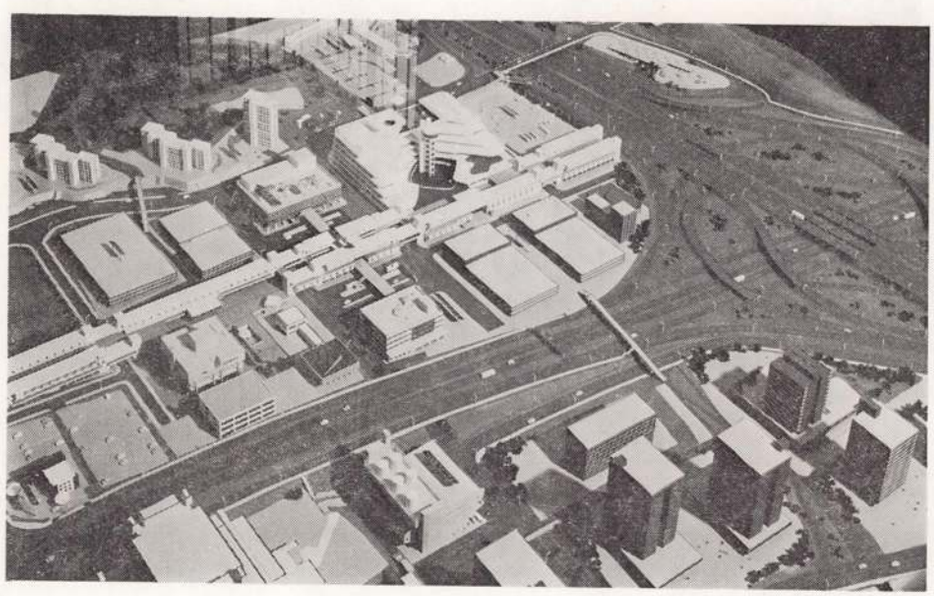


図 1

2. コミュニティ・レジャー

セルシーは，千里ニュータウンの中心である千里中央地区センターに位置している。千里ニュータウンは，13万人の居住人口をもち，今までにない新しいタイプの都市を形成している。中央地区センターは，このニュータウンのセンターであるとともに，北大阪の副都市として計画されてきた。この中央センターの1ブロックであるアミューズメントブロックがマスタープランで計画されたが，序でのべたように，レジャーの本質を考えて，地域のコミュニティ施設としての役割が必要だと考えた。すなわち，郊外型レジャー施設を日常生活圏での再生産の場としてとらえ，人間性回復に必要な新しい意味でのコミュニティ性をもたせるために，単なるアミューズメント・センターではなく，コミュニティ・レジャーの場として，セルシーは構成されている。住宅内だけでは解決できない人間接触の場としての居間の拡張機能——都市の居間——であるといえる。

そこでは，クリエイティブ活動が促進され，あらゆる階層の人々が楽しみ，接触できる業種が考えられなければならない。そこで，大きく，教育，スポーツ，アミューズメント，情報，ショッピング，プラス　コミュニティサービスという面でとらえ，質と量とバライティといった3つの要素のバランスと，相乗効果による活動の場の演出を意図した。



3. 空間計画

コミュニティ・レジャーとしての空間のあり方を考える場合，個人個人の主観的価値観の多様性と変化性に対するために，多業種，複合機能と変動性，さらに，周辺環境との調和，参画性とSymbol性のある公共空間，機能等が問題となる。これらの空間要求に対する解決案として，人工地盤による立体複層広場が提案された。すなわち，従来の建築的概念を超えて，ネガティブ空間の構成を重視し，技術的には，土木的な発想による解決を試みた。この空間構成の特徴を要約すると以下のようになる。

① コミュニティ空間のSymbolとしての広場
② ネガティブ空間の積極的利用——広場を囲むオープンデッキ構成——
1. 公共通路への利用
2. 小広場群と立体公園的構成——変化，誘導性，回遊性
3. 屋外劇場としての観覧席
4. 防災避難機能

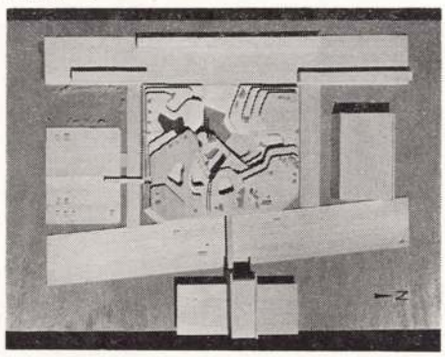
③ 内外空間のコネクターとしての地盤構成
④ 建物としての個性と楽しさ
⑤ 周辺環境との調和と自然の表現
⑥ 多業種，複合機能および，業種変動に対するデザイン的統一

4. おわりに

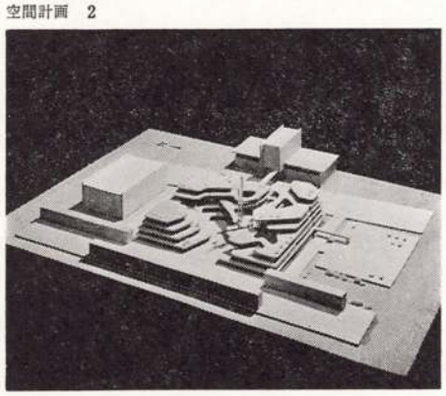
環境整備としての場の用意とともに忘れてはならないことは，精神面での余暇教育の問題である。ここで，レジャー施設に対する供給者側の立場の姿勢として要求されるのは，余暇のあり方についての社会に対する積極的アピールと考え方の柔軟性，そして，地域文化の育成，組織化に対するリーダーシップ，施設自身の創造的運営等と思われる。どうかすると，造りっぱなし，たれながしといった無責任さに流れやすい面をもっていると思われるので，造る側の考え方自身の変革こそ要求されていると思うのである。また，同時に利用者側としての一般大衆自身の意識の変革も推進されるべきである。

(いわい　まさみち　フジタ工業㈱大阪支店設計部
こばやし　ともゆき　　同　　上)

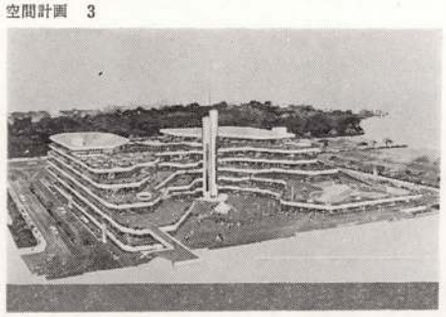
空間計画　1



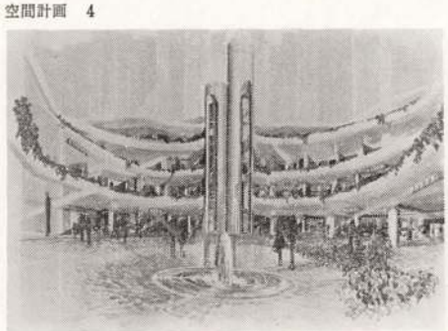
空間計画　2

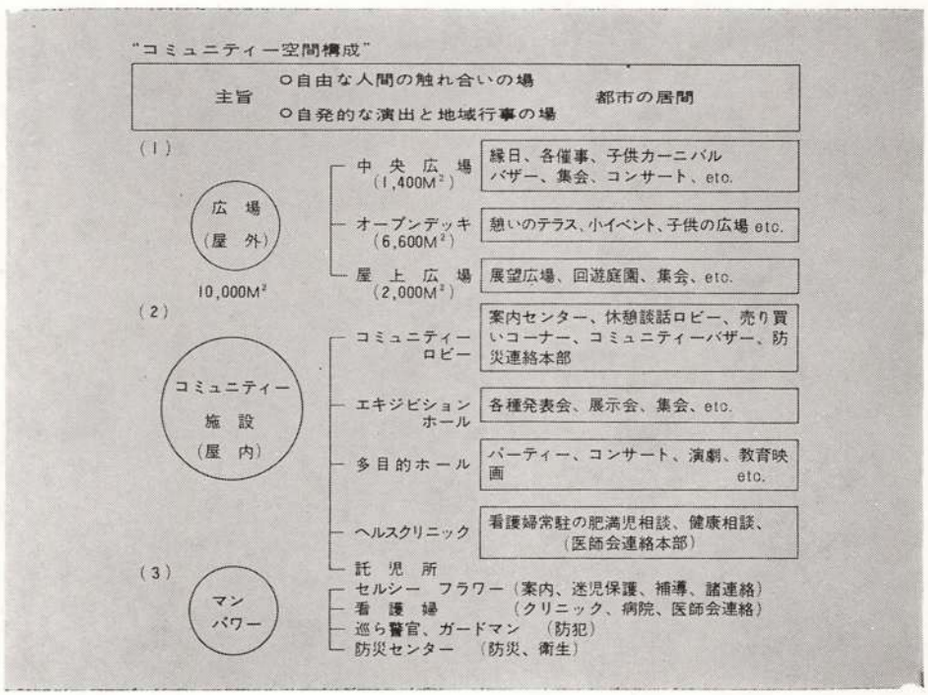


空間計画　3



空間計画　4





竣工後のセルシー



●発想転換の場

自然散歩村 CO—OP（コープ） 五明センター

岐阜県恵那市飯地町
澤　田　富之助



「なにっ！テレビがなくてマージャンがやれない？　そんな退屈な所へ行く者なんてありゃしないよ」とは昨今一般の常識のように考えられてきた。しかし現実にそんな山のホテルが昭和46年3月岐阜県恵那市の飯地高原（標高750米）に出現した。それを自然散歩村CO—OP（コープ）五明センターという。

読書の森の「らく書帖」に

「この村は奇妙な村だ。最初は人に誘われていやいや来たが，一度来てみると，もう一度来たくなる。」

と書いた商社マンが第2回目は家族と来てこう書き残した。「家族は寝そべりの丘が気に入った。子供達は逆立ちもした。つつじの小径では子供も妻も走った。私は結婚以来妻が走るのをはじめて見た。」と。

その人が第3回目は会社の会議で社員を同行し「ここは何回来ても不思議と心が安まるが，こんなところが創立者のねらいだったかも知れない。」と書き綴った。この来村者が漠然と気付いた設立の意図を記述しようとすれば今から6年前にさかのぼらなければならない。

京都国際会議場で一宮生活協同組合が開催予定の理事会に提案した趣旨は，下記の檄文に要約されている。

「余暇時代が到来しつつある！
その余暇利用で人間は容赦なく自然を破壊する
そして都市に集中する人間はますます孤独を深める
こんな時代——
人間の生活にうるおいを与え
ほのぼのとした愛情を復活させる道はないのか？
それは単に人間に対してのみでなく
鳥・虫・花を含める自然全体に対してである
道はある！強く激しく求むる者にのみ……」

当時，人々は日々の労働に神経をすりへらし，余暇には大群集方式の観光ルートにのせられて身体を消耗し，帰宅すればテレビがこれでもかと襲撃する。こんな時代に生きる人間はどこに憩いの場を見出すことができるのか。その実験はアメリカの古典ソーローの「ウォールデン（森の生活）」に綴られている。

自然の緑と夜の静寂を背景に人間が自然と対話できる自然散歩村を作ろうと発想したのは昭和42年11月であった。

明るい木立
明るい小径
明るい高原
明るいこだま
明るいこころ

五明を仮称として人間の自己啓発をねらう実験村の着手である。

まず**図A**をみていただこう。太線でかこまれた部分が自然散歩村で全面積33万平方米(10万坪)の区域を示す。駐車場①はかなり奥へ食い込んでいるので下車すれば周囲は緑の林と，夏ならば蟬しぐれで包まれてしまう。また夜ならば駐車場を照らす水銀灯のほかはただ静寂と満天の星のみである。新婚旅行の二人は

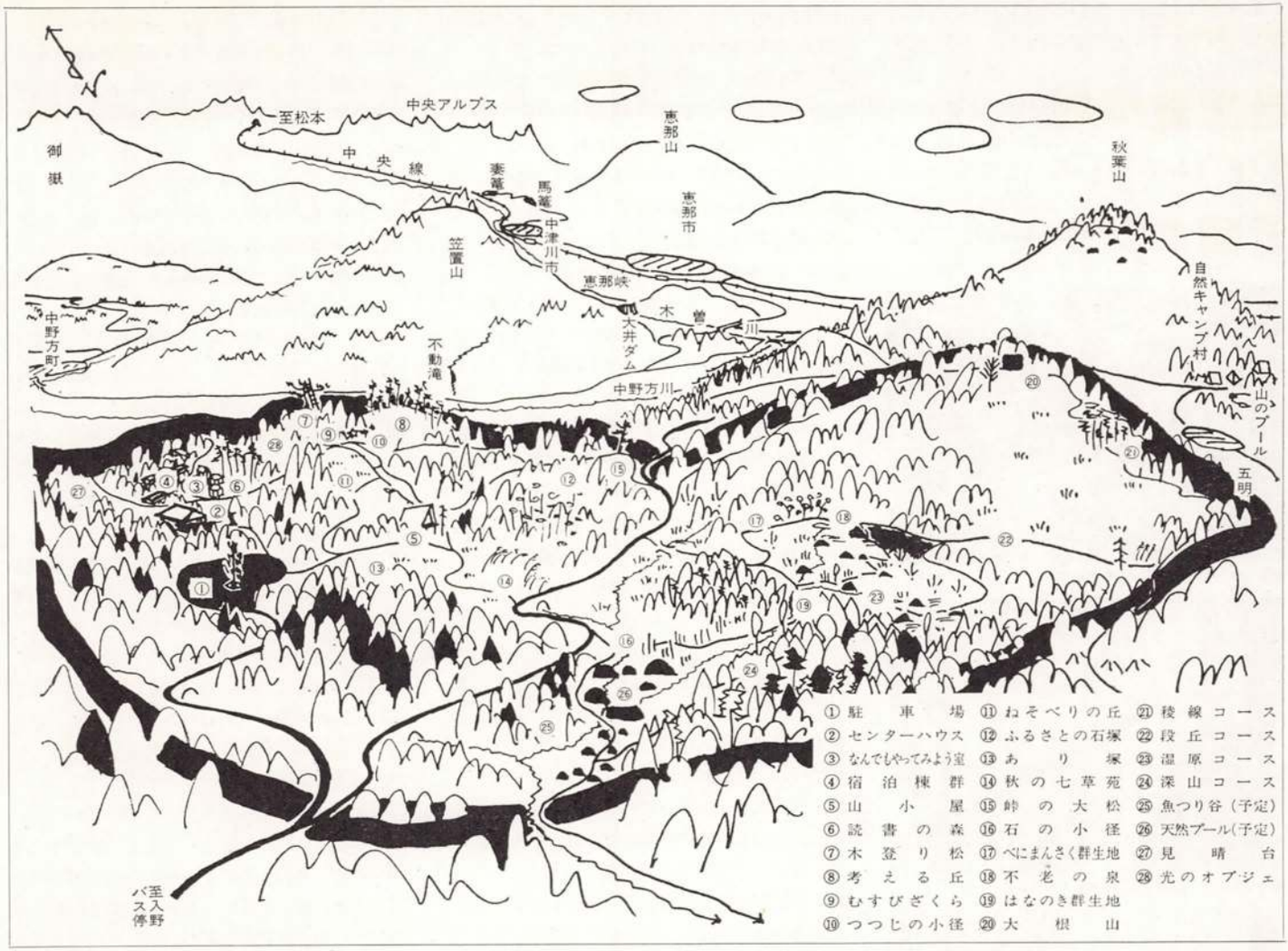
「天地にただ二人だけが存在する思いであった。」と述懐する。

森の小径をわけ入ること45米で鉄筋二階建の本館が目の前に姿を現す。本館にはフロント・ロビー・売店のほか階上はレストラン「なんじゃもんじゃ」である。ここに立つとなぜか心が安定する。理由は電柱や電線が地下配線されていて目障りにならないとか，自然林が建物壁面の1米のところまで接近しているとか，工事の除土・資材の運搬を空中輸送として自然の景観を傷めなかったとか，いろいろ数えられよう。とにかく自然を大切にして人間の方を従とした考え方がこの計画の中心をなしていることが最大の原因であろう。まる2カ年もかかって植物学者（井波一雄先生）が1本1本克明に調査されたあと，残す木と切る木を振分けて工事に着手し，枝払いは建築完成後に見る方の立場から徐々に整理していった気の長さが，すなわちこのような自然施設の生命であることは自然生態学の専門家から教わった。（東京都目黒にある国立武蔵野自然植物園の手塚映男先生）

もっとも，手塚先生に叱られたこともあった。「考える丘⑧」の造成後の写真を持参したら「こんなことしたら10年たたぬうちに赤松全部枯れてしまうぞ。」ということであった。松だけ残してその他の木を切ることは赤い実を食べに来る野鳥を呼べなくなり，自然，松にも虫がついて枯死する由。天敵あるために自然が調和ある成長をつづけている生態学のイロハをまざまざと見せつけられた思いであった。

入村宿泊に100名の定員制度を採用しているのも，もとはといえばこの武蔵野植物園の先生方の教示であった。自然生態学によれば2万坪に100名が自然破壊防止の限界という。地下30cmの深さには2mm以上の微生物が夥しく生きていて，その数は1平方米内に200万匹といわれる。この微生物が落葉を食べて腐蝕したところへ雨が降ると肥料分が自然に地下に浸透し木の根に養分となる。もし人間が多勢で歩いてその土を踏み固めると微生物は死に葉は腐らず林に肥料が補給されなくなって木は枯死していく。入村制限がまずこの森を救う道とわかるまではなかなか設計にも取りかかれなかった。総面積は10万坪でも，**図B**のように施設群（本部・宿泊棟・なんでもやってみよう室等）を収容する地域はせいぜい5,000坪に過ぎないので，一応宿泊70名・日帰り30名を限度として予約に応じている。

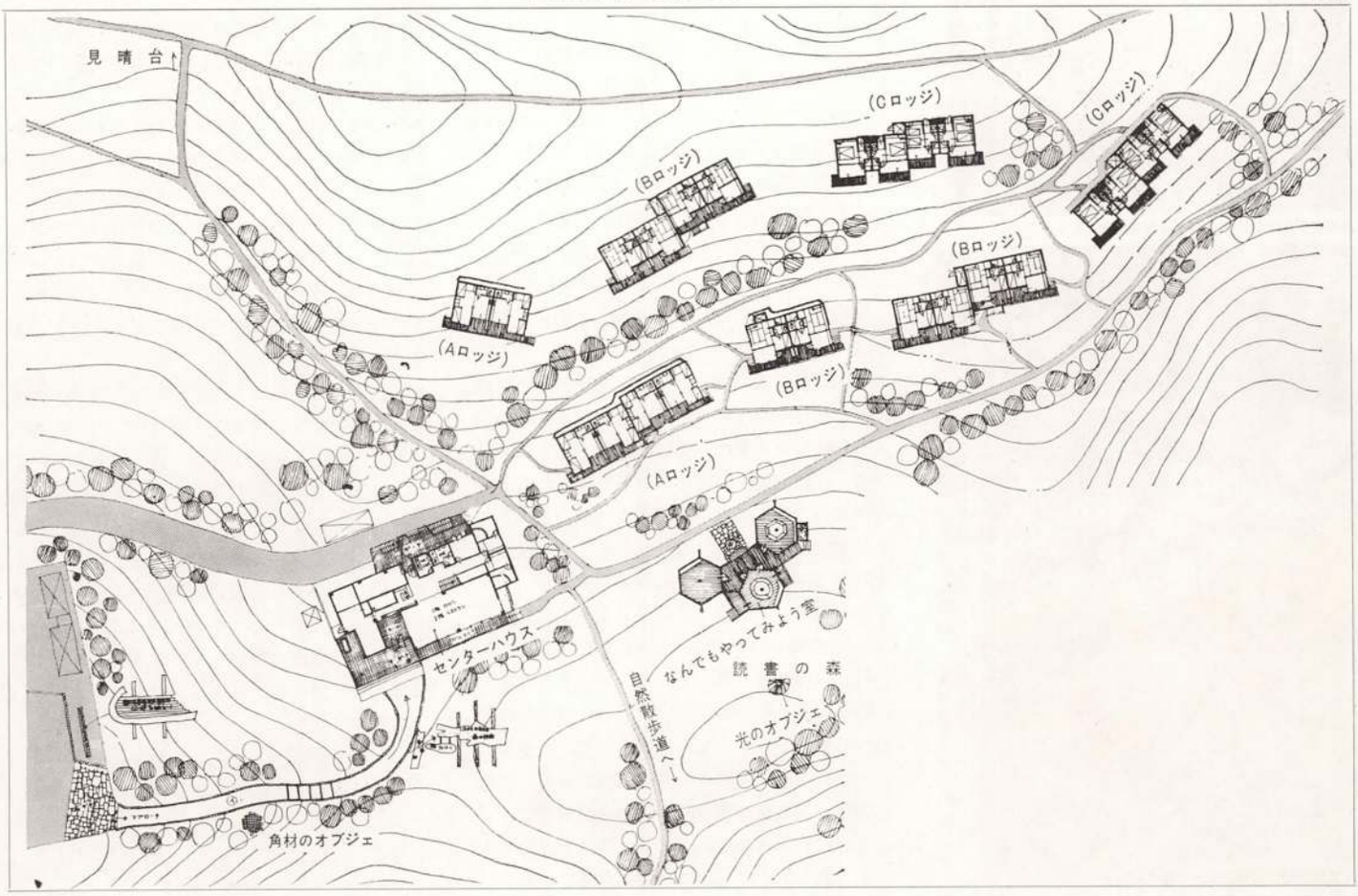
日帰り団体の方は原則としてご遠慮願っているが，それにはそれなりの理由がある。開村当初テレビ・新聞の報道を聞いて予約なしで突然やって来られた団体のなかで大切にしていた野草を抜きとられた例がしばしばあったので急ぎ運営協議会を開いて対策を協議した。メンバーはわが組合理事のほか地元飯地町各界代表者や社



▲図A

自然散歩村　五明センター

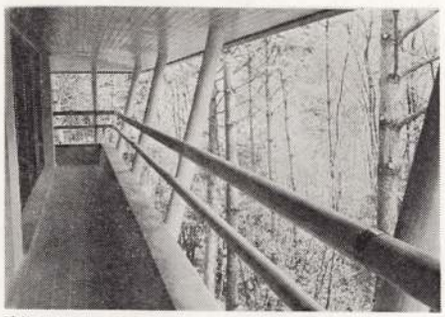
▼図B



会教育・労働関係・厚生関係・自然科学方面の学識経験者よりなる東海地方としては最高のメンバーの委員会である。

このときも討議はかなりの熱を帯びて展開された。自然を守る側からは「立札の警告はおろか鉄条網もやむを得ない」という強硬論。社会教育の側からは「一部の無思慮の人間のために人間全体の不信感をかきたてる処置は断じて採るべきでない」と激しく反対。討論はいつ止むとも断じかねたが，結論として下記のような複合作戦が採用された。


駐車場よりの小径から本館を見る


建物と植生との接近（本館階上レストランベランダ）


読書の森と「なんでもやってみよう室」


自然散歩村五明センター「考える丘」

(1) 標識板は間接表現を.

「カメラのほかは何もとらないように
足あとのほかは何も残さないように
（アメリカ　アーチェス国立記念園より）

(2) 自然パトロールの強化

(3) 自然教育の徹底

(イ) 入村時のスライド教育の励行

入村の方にその都度ロビーでカラースライド（所要時間10分）を映写し「散歩村の使い方」を普及するなかで野草をはじめとする森の生物愛護を訴える。

(ロ) 自然散歩ガイドブックの編集

犬山のモンキーセンター（広瀬鎮先生）の指導により，海外の路傍博物館方式を採用した。散歩村全域にわたる植物名を一連番号にして目立たぬように開花時期による色別番号板を立てた。植物の名前を知りたい人は売店にある「ガイドブック（植物篇）」を買って番号別に調べ，知りたくもない人は無関心のまま通り過ぎるという気楽な散歩。これこそまさに自主性恢復である。

自主性恢復といえばこの五明センターにはテレビはない。各宿泊室はもちろん，ロビーにもレストランにもないが，ただ1台だけは事務所の片隅にニュースと天気予報用に置いてある。昨今のように「テレビのない夜はない」といった時代には，さぞや退屈な所と想像されようが，宿泊の方で「テレビないかね」と催促された方はほとんどない。これは一体どうしたことであろうか。

夕闇が読書の森にたちこめる頃，全施設に照明がつくと森は一種異様な雰囲気をかもし出す。その森のなかに六角形の三つの部屋がお伽噺の小人の家のように浮かび出るのもこの頃である。「語る部屋」「見る部屋」「作る部屋」の三つを一緒にしてここでは「なんでもやってみよう室」という。なかでも一番人気があるのは簡単にできて美しい植物転写である。ここで美しい絵はがきを作る大人も子供もきまってこの葉は何という名前かを知りたくなる。「作る部屋」から図書室を兼ねた「見る部屋」への自然誘導である。ひとりで読み飽きたときは誰かと語りたくなって足は自然に「語る部屋」へ運ばれる。どの部屋も一晩中消灯も施錠もない自由さで社会的緊張感をときほぐすから，とにかくテレビ文化の受身より解放される喜びは感動的といっても過言ではないようである。

その上森の生物では窓辺にとまる昆虫も見慣れぬものが多く身動きもせぬ姿は哲学者的でもある。朝の光を入れようとカーテンをあけるとき，窓辺近くの林にフワリととぶ山の小鳥が自然への愛情をかき立てる。秋ともなればベランダの下にニョキニョキと首をもたげる雑茸の勢揃いが都会人に新鮮な知識欲をよびさます。このような自然との対話はすべて施設が林のなかに組入れられてはじめて可能となる。それに宿泊室の設計はすべてバス・トイレ付の和・洋双方のほか，単身用・夫婦用・家族用・グループ用・新婚用等の7種類にのぼり，好きな設計の部屋から予約して1日ごとに部屋をかわれば1週間の休暇にも充分耐えられる仕組である。ホテル方式であるからキーをフロントで受取ったあとはロックも自由で散歩も安心だし，部屋へ入るときはそれぞれ別の方向からとなっているので，煩わしい人間関係からも逃避できて都会的孤独もたのしめる。

この場合の部屋づくり設計方針（設計責任・名古屋市　鈴木隆二建築設計事務所）の基礎は「豪華にして素朴」であった。けばけばしさだけの豪華さでは心の安らぎには程遠く，粗末な素朴さでは侘びしさが身に迫ってやりきれない。山林のなかにおける自然と文明の調和にこそ現代的意義が見出せるのではなかろうか。

この五明センターでは時に「無音楽」が批判されることがあるが，五明センターは果して無音楽であろうか。谷を埋める野鳥のコーラスも，そよ風が吹きならす葉ずれの音もこれすべて音楽でないはずはない。山は時に万物静止かとまがう一瞬の静寂に見舞われることがある。騒音の現代にあっては，これまた無上の音楽として聴くべきであろう。

さらに五明センターに用意されているものに，アーチェリー（洋弓）とサイクリングにオリエンテーリングがある。また散歩の道すがら「ふるさとの石塚」を見つけたら，全国の山や川や海辺から寄せられた自然の小石が呼びかける声なき声を聞くことができよう。

これらのすべてを演出するセンター長以下15名の常駐職員の目立たぬ心遣いがこの実験村に一層の厚みを加えることになる。

昭和46年3月以来2カ年，観光公害から自然散歩村を守るために不特定多数対象の宣伝は極力差控えてきたが，自然愛好者の根強い支援に支えられて口から口へのロコミのおかげで来訪者は定員の範囲内で増加の一途を辿っている。別に特別会員制（1口10万円出資）が，山の別荘1戸の維持費と対比しての有利さも，ひとつの魅力になっているらしい。

とまれ昨今の公害と自然破壊の社会情勢がこのような自然散歩村方式を人間に身近な余暇施設に仕上げたともいえよう。それに本年6月いよいよ発効する世界有給休暇条約が世界各国の働く人々に年間最低18日（内12日間は連続休暇が条件）の有給休暇を約束することになることからも，個人は今や創造的時間利用を発想しなければならなくなった。この五明センターがそのような発想転換に役立つ村になるかどうかは一にかかって来訪者の謙虚な思索につながるものと確信する。

今日も自然散歩村では花が咲き花が散る。

来訪者は虚心にこの自然ドラマに自らを没入していけばよい。

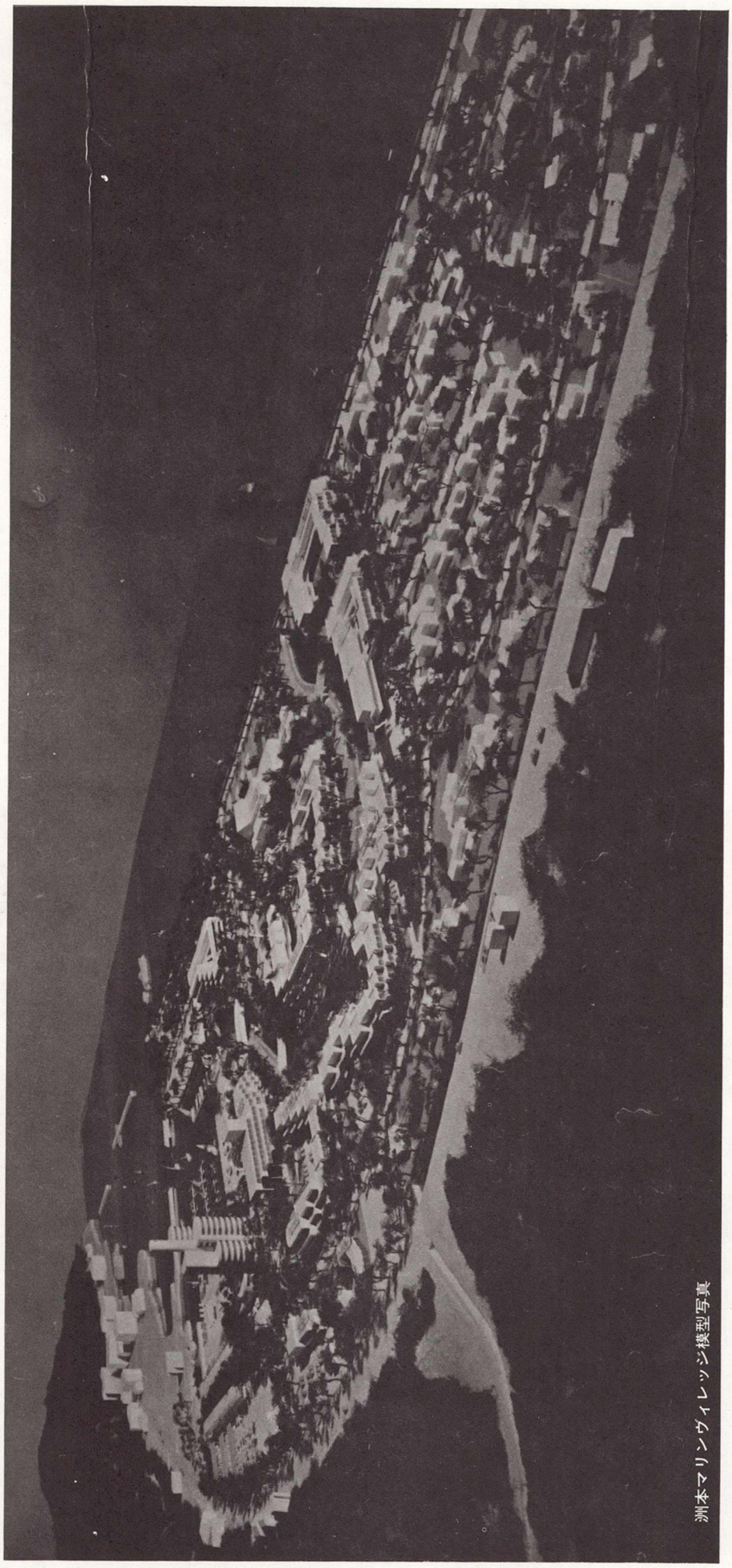
（さわだ　とみのすけ　一宮生活協同組合理事長・一宮勤労協会専務理事・愛知婦人少年室協助員）

●海洋施設として

洲本マリン ヴィレッジ計画

兵庫県洲本市

竹中工務店大阪本店設計部



洲本マリンヴィレッジ模型写真

Ⅰ．計画概要

埋立事業主体	兵庫県洲本市（洲本市古茂江埋立事業事務所）
土地利用主体	伊藤忠不動産株式会社
計画協力	株式会社竹中工務店
開発規模	23ha（約7万坪）
地区地域	国立公園普通地域 娯楽リクリエイション地区 （建築条例案）
特性	都市近郊型の海洋性リクリエイションリゾートとして、500隻のヨット、モーターボートを収容するマリーナを中心に、別荘、保養所、ホテル、オートキャンプ場などのリゾートレジデンス群と、マリンクラブ、アスレティッククラブなどのリクリエイションスポーツ施設群が、運河によって有機的に結合されたリゾートライフゾーンである。

II．マリンレジャーについて

レジャーとは、本来きわめて個人的なものであり、実存的なものである。その意味において、人間の生活そのものであり、個人の行動様式そのものである（way of life)。個人をつつむ諸環境すべてに対する価値づけの土壌があって、そこに動機づけが加わると、欲求となり、レジャー行動へと連なる。それは、場、時、媒体、手段のあらゆる場合とその組合せ方でもって、多種多様の形態をとって展開されるが、社会的には、その個人的志向が、非常に近似的にひとつの動向となって現象しているに過ぎない。したがって、マリンレジャーとは、海洋性リゾートにおけるレジャー行動と把えるのが妥当であると思われる。

III．全体計画の理念

1.当社の開発手法に基づき、自然的条件（地形条件、気象条件、海象条件)、社会的条件(市場条件、開発条件、制約条件）等の調査、分析、統合の結果、当計画地を、マリーナを中心とする海洋性リゾートゾーンとして設定し、都市近郊型でありかつ滞在型リゾートのリクリエイション基地として性格づける。

2.リゾートの本質である、SPACIOUSである点を計画のポリシィとする。（fig. 1）

3.滞在型リゾートライフを中心とした、リゾートコミュニティを作り上げるために、その核としてクラブシステムを導入する。（fig. 2）

4.空間構成としては、施設群を運河を軸とするクラスターパターンをもち、平盤埋立地であることから、セットバックによる丘陵状のスカイラインをもたせ、また、全域のシンボルとして、マリーナにランドマークとなる施設を配する。

IV．エネルギー供給基本計画

1.給水については、市水道の供給を受け、ヴィレッジ内の公道、私道に供給管をループ状に布設する。また、コミュニティプラントに加圧装置を設け、4階以下の建物には直接給水することを計画している。

2.排水については、ヴィレッジ内の各ブロックごとに汚水処理を行ない、下水管および開水路へ接続する。また、大きく3ゾーンに分けて集

レジャーアクティビティ	リクリエイション行動の専有面積	対応施設規模
シティライフ ex. 映画観賞	$\sim 10^2$ (M^2/人) 10^1	$\sim 10^3$ (M^2) 10^3
リゾートライフ ex. ヨッティング	$10^2 \sim$ (M^2/人) 10^4	$10^3 \sim$ (M^2) 10^5

fig. 1

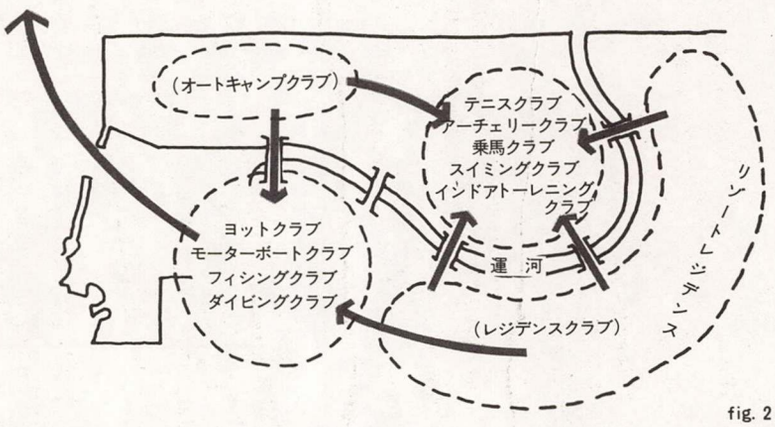
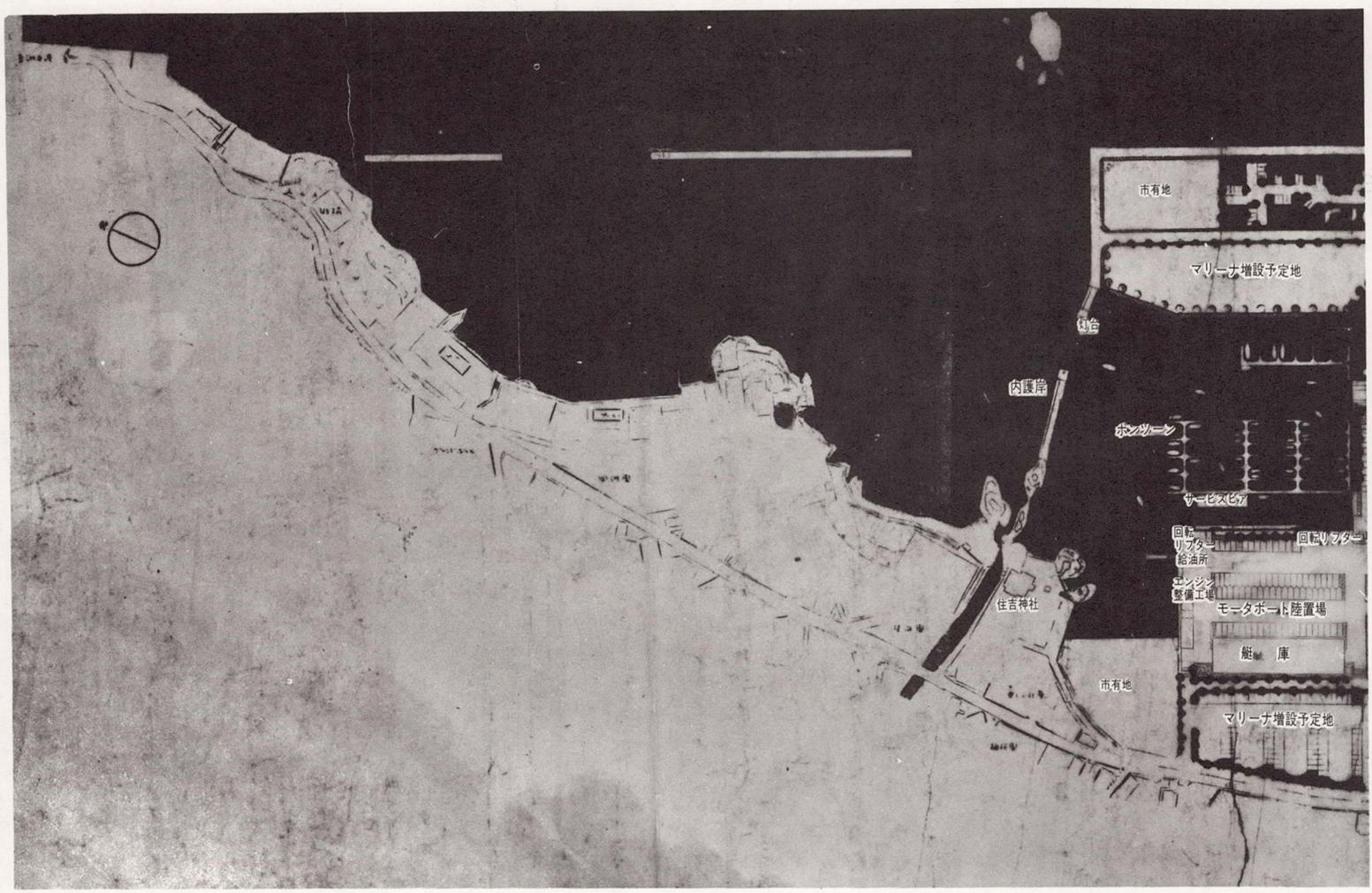


fig. 2



中汚水処理装置を設けることも検討されている。

3.ガスについては、コミュニティプラントにＬＰガス発生装置を設け、公道、私道に供給管を布設する。

4.電力については、電力会社がヴィレッジ内、公道に高圧ケーブルを地中に布設し、使用量大なる施設には、高圧でそのまま供給し、分譲別荘マンション、および分譲別荘地ゾーンへは、各ブロック内の変電室で低圧に下した後、各戸へ供給するよう計画を進めている。

5.電話については、電々公社がヴィレッジ内、公道にケーブルを地中に布設し、各戸で加入電話を引込む。公衆電話も適所に設ける予定である。

Ⅴ．環境緑化基本計画

1.当計画地は、緑のなかにつつまれたシーサイドリゾートゾーンとして、緑がつねに関与することを骨子とし、常緑広葉樹（クスノキ、アラカシ、マテバシイ等）のイメージで統一する。

2.当立地の植生を生かし、海岸地域特有の灌木群（ハマナス、ハマボウ、ツキミソウ等）を所々に配し、洲本周辺の自然の延長として、将来その自然のなかに包み込まれ、自然そのものとなることを主眼とする。

3.計画地の埋立土は、当立地近辺の山より搬出される真土であるが、やや泥土分が多く、通気性、保水性に劣るので、上質の客土を必要とする。

Ⅵ．運河について

1.満干潮の潮汐差と潮流により、ハーバー内の海水の浄化と、運河の自浄効果を発揮させる。（当社技術研究所の水理実験にて確認されている。）

2.全域の空間の軸として、各ゾーンの独立性と融合を同時に機能し、それ自身、ひとつの空間性（水と緑の運河）を発揮して、多様なレジャー行動を呼ぶ企画を可能にしている。(fig. 3)

Ⅶ．ゾーニング

マスタープラン参照

（山元弘和）

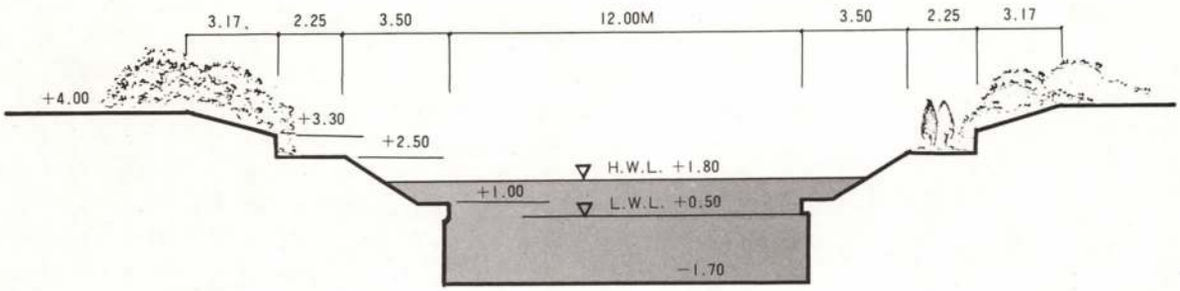
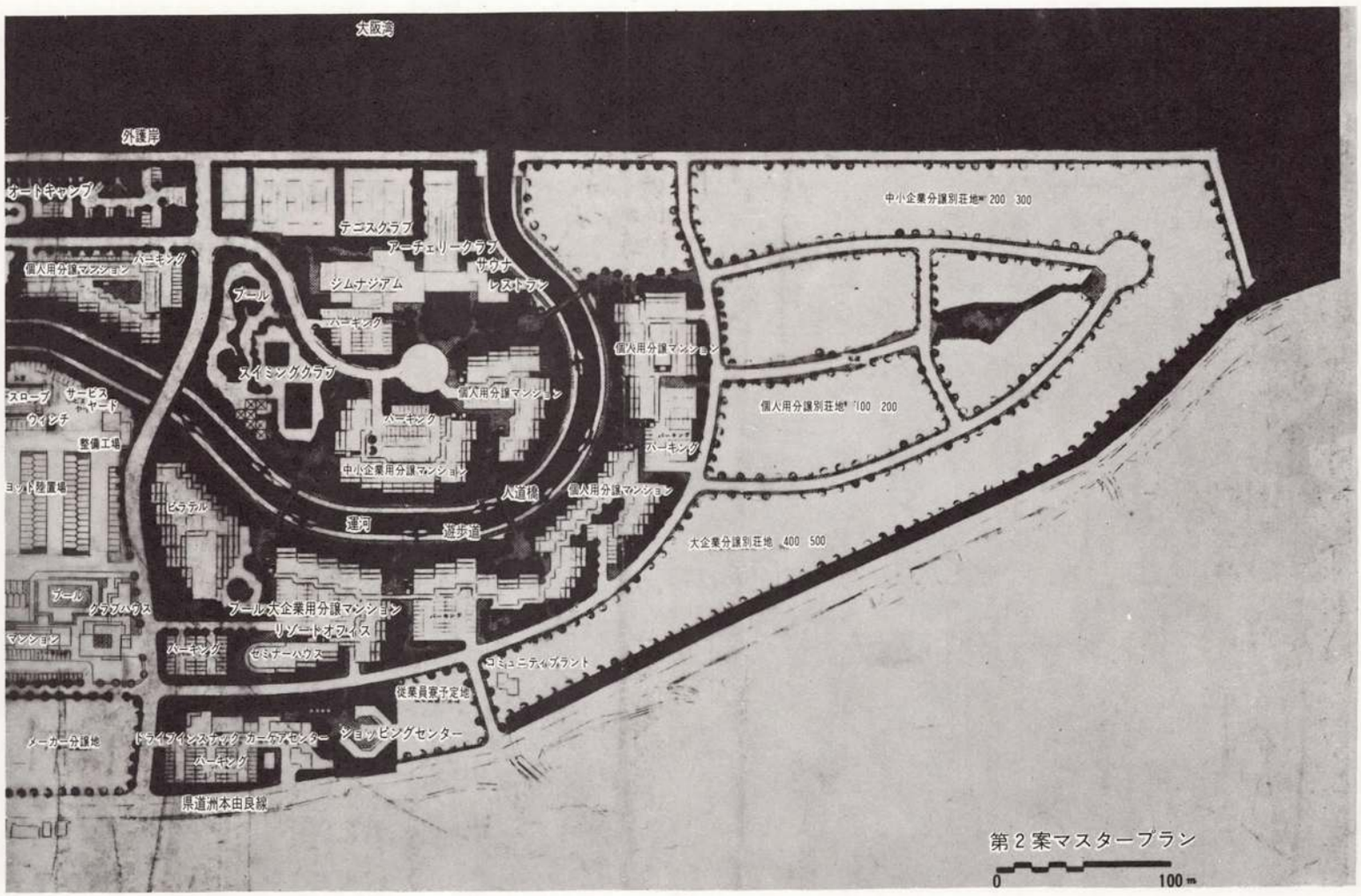


fig. 3



●レクリエーション都市型

千種川レクリエーションタウン計画案

兵庫県佐用郡

黒須将之

はじめに

千種川レクリエーションタウン建設計画は、千種川レクリエーション株式会社(事業主)とフジタ工業株式会社(設計施工)との共同企画によって、これからの新しいレクリエーション都市型を志向するもので過疎化に悩む従来の暗いイメージの佐用地域開発の一端を担うものである。

1.開発地域の位置図

fig. 3 参照

2.開発地域の概要

中国縦貫道路（昭和49年度開通予定）の建設工事に伴い京阪神地域からわずか1.5時間の近距離にあり、佐用インターチェンジに隣接し、佐用、南光両町にまたがる好位置にあり、開発面積500haのなだらかな丘陵地である。

開発地域南東、北西には兵庫県屈指の清流千種川、佐用川が流れ（右方直下に豪放の響きを伝えるのは千種川、左方直下緩々と流れるのは佐用川、千種川は急流岸をかこんで水勢烈しく、佐用川は悠々雲を浮べて鏡の如し－佐用の史跡と伝説)、中央には因幡街道が走り(後醍醐天皇西遷の順路－佐用の史跡と伝説)、名勝史跡に富んだ観光資源を有し、また山菜、山鳥などの自然の動植物が豊富である。

3.開発構想

労働時間の短縮、消費水準の向上、都市生活環境の悪化（人口の過密、住宅難、交通戦争、大気汚染、騒音等）による社会構造の多様な変化に伴い、レジャー開発も単なる人間活動の部分的な娯楽対象のものから、すなわち『物的欲求レベル』から人間性本来の生きるための活動としての『人間性回復の欲求レベル』へと質的価値観の転換がなされてきている現在、過去のこまぎれ的な単なる単一拠点的な形態から総合的なものへのレジャー開発を考える場合、その規模、内容を社会的ニースに適応した施設群を配置することは民間企業の生産性を考えると、単純に割り出すことはできない。

レジャーを、生活自身に変化を与え生活を演出するものとしての、生活を再生産する意味と考え、つぎの2つの事柄を総合的に取り入れ、千種川レクリエーションタウンの計画をスタートした。

まず第一は太陽と緑と広大な空間のなかで健全ないこいの場として都市生活の疲れ自然に触れる環境から遠ざかっているつぎの世代を負う都市の子供達に自然を味わせ、自然に親しみ単なる『観光主体のレジャー』から『するレジャー』への脱皮を図り、この千種川レクリエーションタウン計画は『精神的創造の場』と『肉体的創造の場』を大きなテーマとして都会生活のなかで失なわれつつある『豊かな人間形成』また『自然との融和』の場として考えた。

第二は広域的な『レジャー開発』の多くは民間エネルギーによる要素が多く生産性を考えた民間独自の企画に委ねられているのが現状であるしかしその本質を考えれば『地域』とそこに住む『地域住民』との有機的結合こそその開発の意義をかもしだす要因であって、それが地域生活の起動力になり、また下記に示すような地域の発展を担う先導的な役割を果すもので、地域社会の『核』になり得るものと確信する。

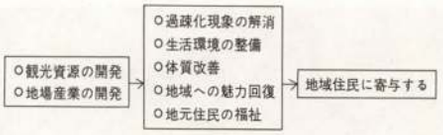


fig. 1

以上の「開発構想」をもとにfig. 2のような総合的な「千種川レクリエーションタウン」の企画を立案した。

fig. 2　千種川レクリエーションタウンの企画

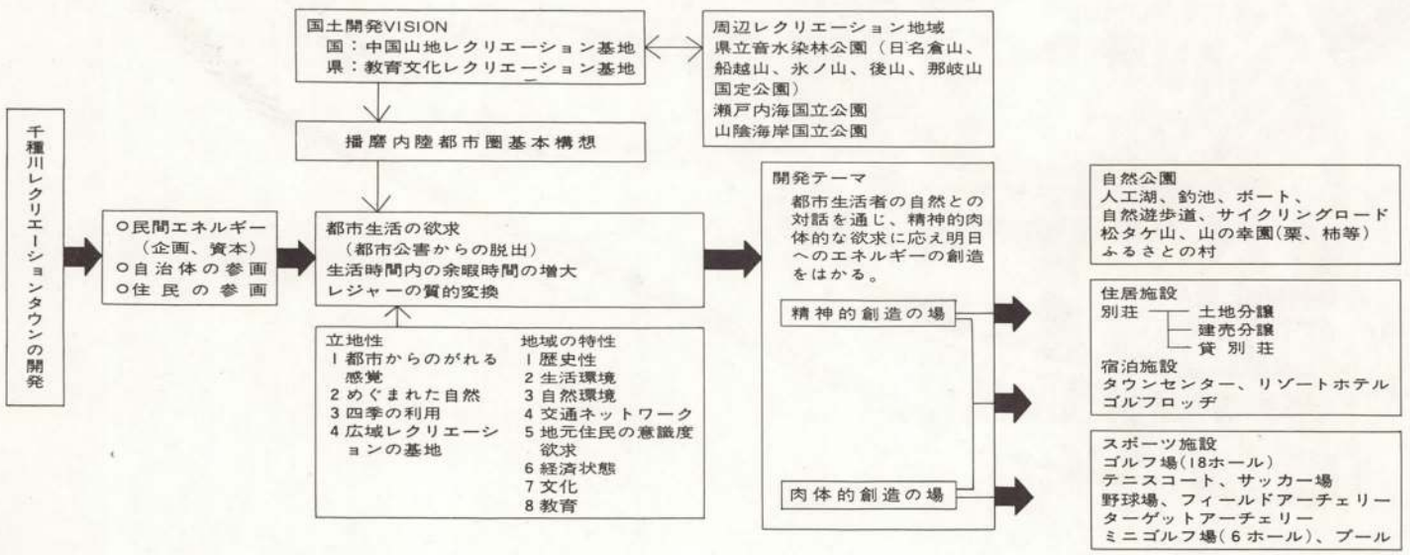




fig. 3　開発地域の位置図



fig. 4　千種川レクリエーションタウン



Aコンドミニアム

4.利用者構成のプロセス

千種川レクリエーションタウンの利用者構成を考える場合、とくにここで留意した点は、人間性意識の追求からスタートし、多種多様化している総合レジャー計画とは異なって、とくに、『大人』↔『子供』のラインで結び『若者』という活動的な年令層を対象外とし、さらにまた、人間意識のなかにある『エスタブリッシュメント』というイメージをかもし出すことに挑戦してみた。

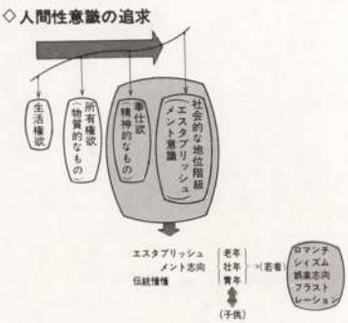


fig. 5

◇利用者年令層

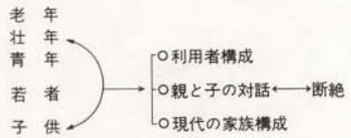


fig. 6

5.全体的な配置構成

○タウンセンターを中心としたクラスター形式

○スポーツ施設公園などはすべてタウンセンターと直結し、利用者側の利便性を高める。

○各ビレッジの通過動線をなくし、それぞれのプライバシーの確保をはかる。

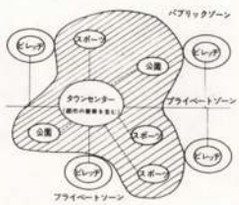


fig. 7

6.土地利用計画

(1)土地利用計画図は**fig. 4**のとおりである。

(2)土地利用計画の名称およびその面積、利用率は**第1表**のとおりである。

第1表　土地利用計画表

名　　称	面　積 (m^2)	利用率(%)
ゴルフ場(18ホール) 練習場	1,031.500	20.63
セカンドハウス	1,329.000	26.58
コンドミニアム	119.500	2.39
タウンセンター	40.000	0.80
ミニゴルフ場(6ホール) 練習場	102.000	2.04
フィールドアーチェリー ターゲットアーチェリー	103.000	2.06
プ　ー　ル	26.000	0.52
テニスコート サッカー場、野球場	76.000	1.52
ふるさとの村	32.500	0.65
公　　園	487.000	9.74
道　路　用　地	185.100	3.70
自　然　緑　地	1,468.400	29.37
計	5,000.000 (m^2)	100.00(%)

7.施設構成

(1)ゴルフ場施設計画(18ホール、OUT, IN, PAR 72. 7,060YARDS) クラブハウス、従業員食堂および宿舎、管理事務所、練習場ほか

(2)タウンセンター施設計画

コンドミニアム（ホテルタイプ100室)、診療所、レストラン、クラブ、スタンドバー、インドアゲーム（ボーリング12レーン、ビリヤード)

店舗（食料品、雑貨、プロショップ）サウナ、セミナーホール、小劇場、管理事務所ほか

(3)公園施設計画

(イ)スポーツ公園

サッカー場(100M×64M)、野球場(両翼90M)テニスコート(17面)、アーチェリー（ターゲット100M×40M、フィールド14ショット×2）プール（25M×15M、2ヵ所、変型プール、飛込台）ミニゴルフ場（6ホール、PAR18、760YARDS、練習場)、クラブハウス、レストハウスほか

(ロ)子供公園

果樹園、小動物公園、レストハウス、釣池、散策路ほか

(ハ)ふるさとの村

郷土館（3～5戸)、牧場（牛、馬の放飼い）管理事務所（厩舎、サイロ）散策路ほか

(ニ)梅林公園

せせらぎの小川、レストハウス、サイクリングロード、梅林、ハリマ湖(ボート)、散策路ほか

(ホ)森林公園

レストハウス、テニスコート(14面)、釣池、散策路ほか

4 コンドミニアム施設計画

千種川レクリエーションタウンにおけるコンドミニアム（計画戸数 700）とは

●サービス業の管理システムの集約化

●施設利用効率の高度化

などを考慮したリゾートマンションとする。

配置構想

〈位置付け〉

●タウンセンターを中心としたクラスター形式とする。

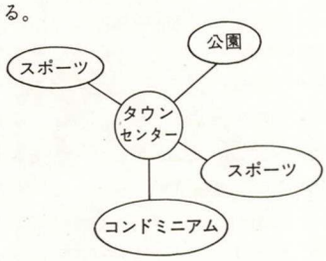


fig. 8

●パブリックゾーン（タウンセンター、スポーツ施設）とプライベートゾーン（コンドミニアムー住空間ー）との質的、分離をはかる。

●パブリックゾーンとは、直結動線とする。
（管理上及び施設利用の面において）

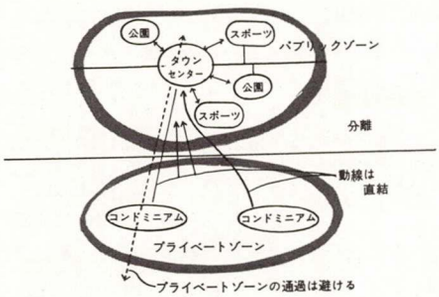


fig. 9

〈群形〉

●屋根の利用

●地形にそった配置

●視野を妨げない

●各住戸のプライバシーの確保

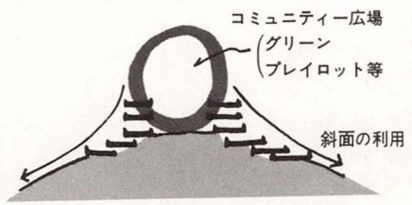
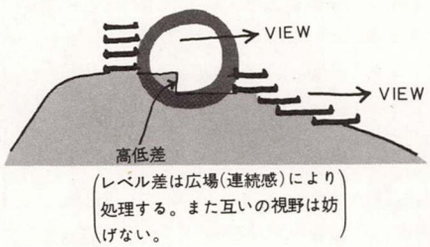


fig. 10-1



（レベル差は広場（連続感）により処理する。また互いの視野は妨げない。）

fig. 10-2

〈住戸内空間〉

●画一化しない変化のある空間構成

●タイプとしては

- ホテルタイプ　10～15^{T}/戸
- マンションタイプ　15～25^{T}/戸

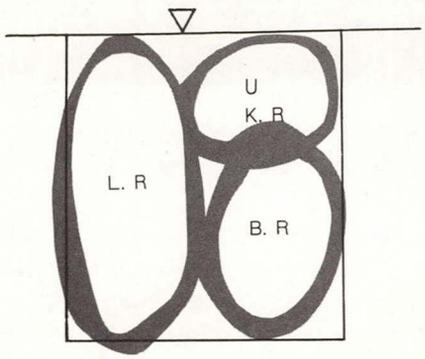


fig11－1　ホテルタイプ

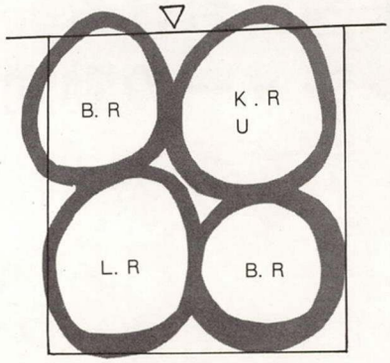


fig 11－2　マンションタイプ

8.総合スケジュール

総合スケジュールは**第2表**のとおりである。

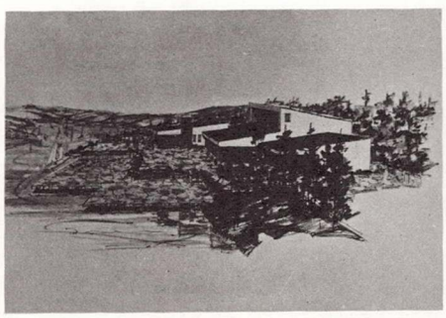
第2表

	工事名称＼工期	47年	48年	49年	50年
			6	6	6
1	ゴルフ場建設（18ホール）		ゴルフ場工事	芝養生	
2	幹線道路（7.5M、9.0M、12.0M）		幹線道路工事	舗装工事	
3	生活道路（4.0M、5.0M、6.0M）		生活道路工事	舗装工事	
4	土木造成　その他		土木造成その他工事		
5	建築関係			100戸分 コンドミニアム、タウンセンター工事 クラブハウス工事　レストハウス工事	
6	スポーツ施設			テニスコート、サッカー場、他工事	
7	公園および造園				公園施設および造園工事
8	防災工及人工池		法留工事、人工池工事		
9	都市設備		水道、下水配管工事		
10	中国縦貫道路	昭和47.4.16着工	中国縦貫道路工事		昭和49.9開通予定

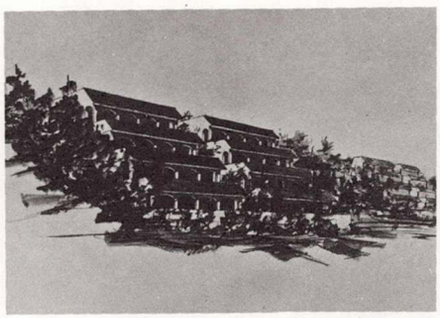
9.各施設の完成予想図

各施設の完成予想図は**下図**参照のこと。

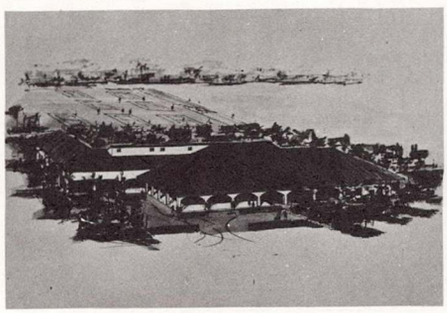
ハリマ湖レストハウス



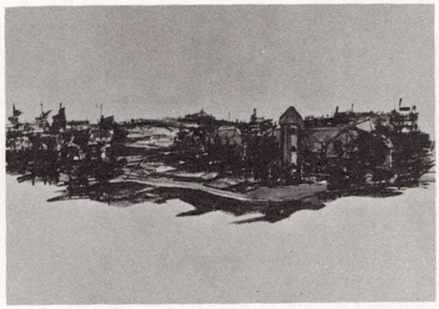
Bコンドミニアム



スポーツ施設クラブハウス



ふるさとの村



（くろす　まさゆき　フジタ工業㈱大阪支店設計部主任）

●海外のレジャー

米国におけるレジャーの動向とデザイン

横内恭介

近来にない充実した文化的内容と経済的発展をとげた米国のレジャー施設の動向はある意味ではわが国レジャーの先行指標とも見られるので、ここに概観してみたい。筆者は最近ホテルとレジャー施設の関連に興味をもって、米国に調査旅行をした直後なので、少々ホテル建築にたちいるかも知れぬが、まず生活意識的な面から、つぎに各地レジャー施設の発展、さらにそのデザイン動向についてふれたい。

元来、米国は専門的職能分化の著しい国ではあるが、最近は、商業的建築におけるJohn Portman のようにDEVELOPER ARCHITECTなる多彩な企画——設計家も出現し、その他MARKET RESEARCHERのMARKET CREATOR化等、境界領域にわたる統合的発展も見られる。とくに建築においては企画的発想動機とその表明である演出的発送動機は融合するほど吸引効果が大きいので、建築家側から企画構想が提案されるのは良い傾向であろう。

レジャー観の相違

日本では「レジャー産業」、「レジャー時代」と例によって一億総ナントカ時代の観があるが、LEISUREそのものの西洋的語感では、「行動的感覚」よりむしろ「時間的観念」が強く、自由裁量のできる時間を意味する。したがって「RECREATION」、「AMUSEMENT」という目的的表現とは異なる総称と考えたい。ゴルフもコーヒーもレジャーである。生活と一体をなす日常レベルのレジャーもあり、非日常レベルの挑戦的レジャーもある。

したがって、日本のように遊びにおける、仕事と対比しての微妙な罪悪感は存在しない。脱日常的なレジャーは未知の分野に向かって、新しい空間体験を求めて、スカイダイブやバルーニング（風船乗り）などのチャレンジに向かい、ますますエスカレートする危険を伴う。

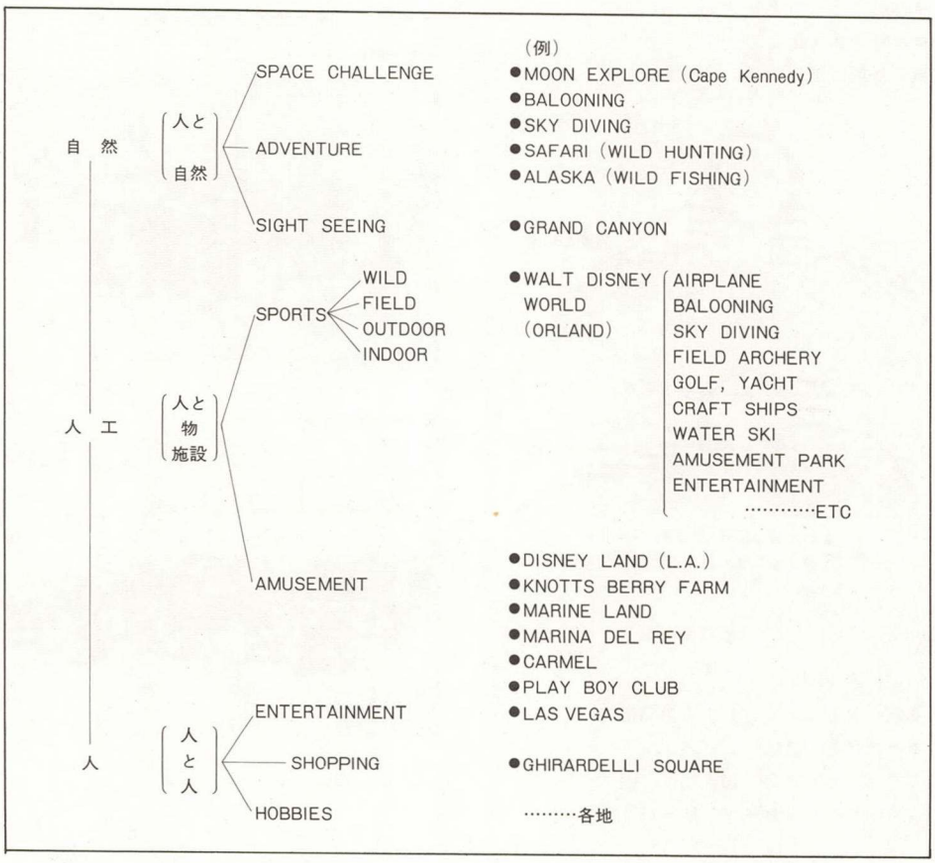
活動単位

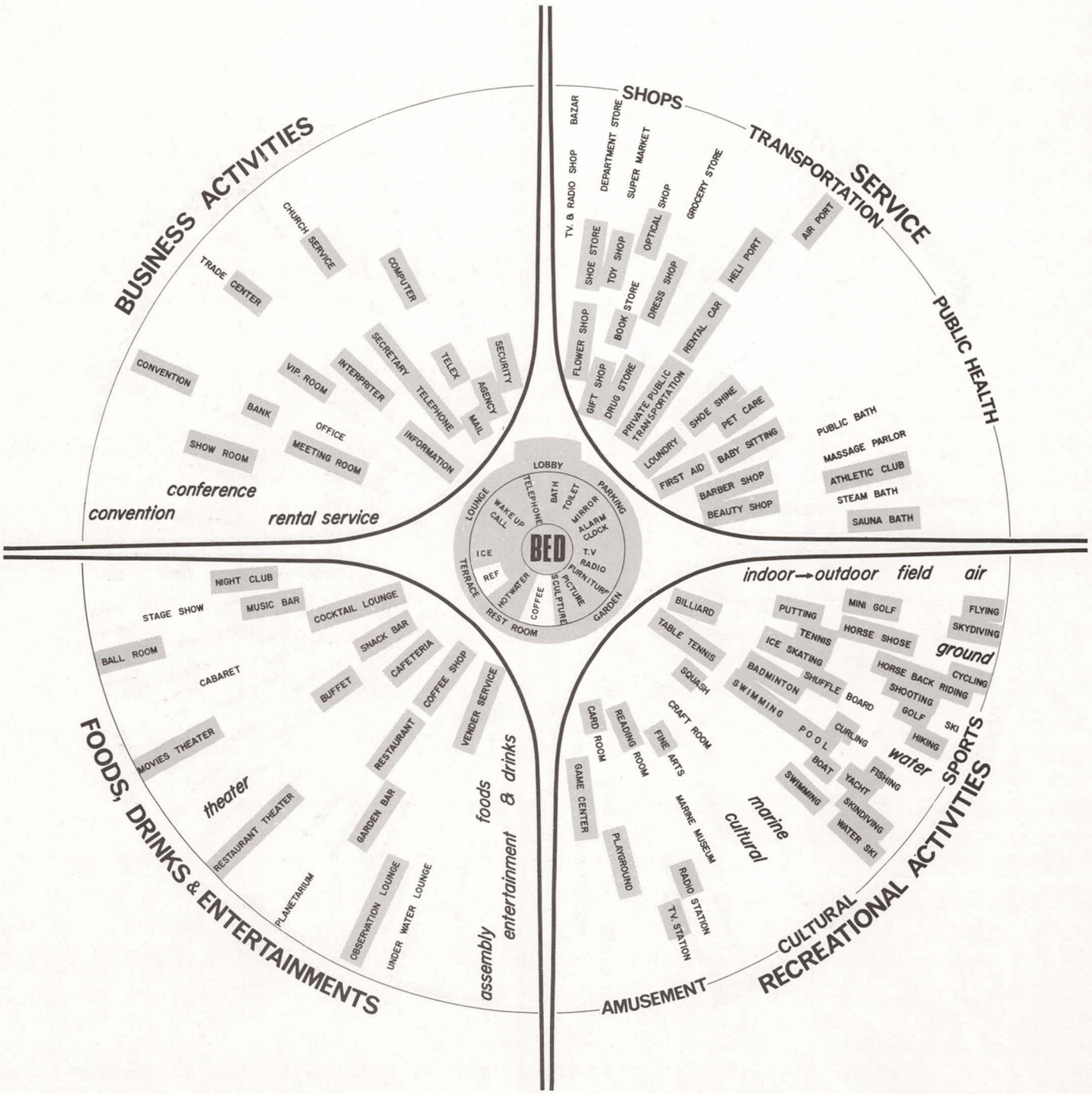
最小生活単位である家族構成のなかで、とくに活動の単位は夫婦であり、子供にはできる限り早く自立を要求する。単位グループとして、職場・家族・夫婦などがあるが、つねに優先するのが夫婦単位であり、日本における職場単位、とくに男同志の飲み仲間、雀友、ゴルキチなどのレジャー単位はほとんど見受けない。ここにENTERTAINMENT BUSINESSの発展する要因があり、各種クラブ組織も夫婦単位を基調とする社交生活を発展せしむる。

レジャー形態と施設

このような意識と生活を背景に諸レジャーは発展・分化し、いくつかの主流をなす。大別して、人間の限界にチャレンジする超自然的レジャーから、自然との融合をはかるレクリエーションさらにTOOLと人の関連レジャー、最後に人と人の接触にいたるまでの自然・物・人という次元によってfig. 1のようなレジャー分類表ができる。

このなかで特筆すべき傾向は、少数ではあるがBALOONINGやSAFARINGのような冒険的レジャーのエスカレーション、CAMPING CARの大衆的流行による家族の観光地周遊、WALT DISNEY WORLDやPLAY BOY CLUB HOTELのような大規模COMPLEXの発達、そして各地に展開する老人向きレジャー団地、さらにLAS VEGASを中心としたENTERTAI





注）当表は、ホテル附帯のレジャー施設を必要度順に求心的に配置し、
レジャー施設のバラエティを示したもの。
アミの部分が所有施設。アミが半分の場合は小規模の所有を示す。

fig. 2　WALT DISNEY WORLD－CONTEMPORARY HOTELのレジャー施設

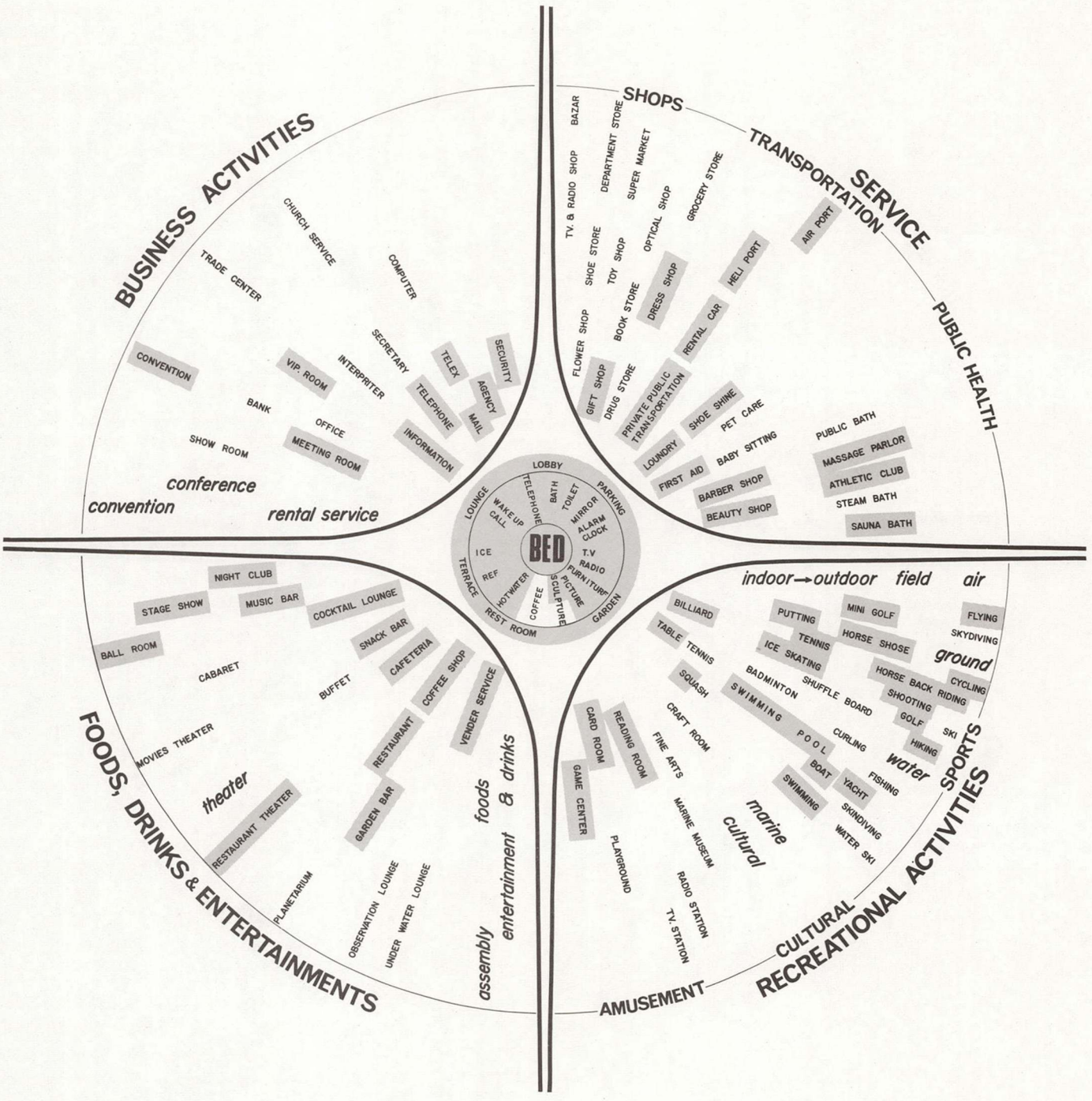


fig. 3 PLAY BOY CLUB (LAKE GENEVA) のレジャー施設

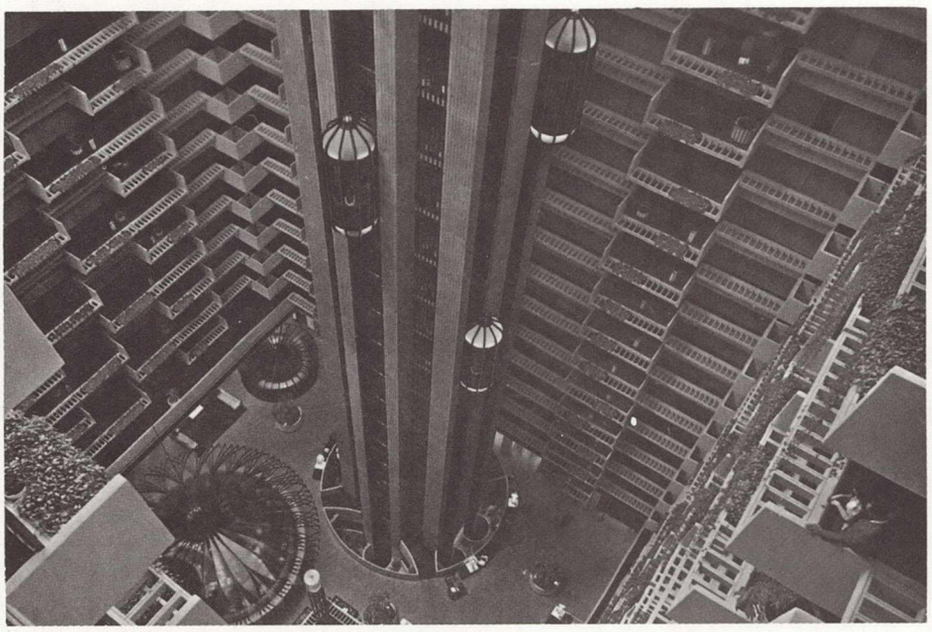
fig. 4 PLAY BOY CLUB-HOTEL at GREAT GORGE, NEW JERSEY



fig. 5 CONTEMPORYAR HOTEL (内部) IN WALT DISNEY WORLD



fig. 6 HYATT REGENCY HOTEL (ATLANTA)



NMENT-BUSINESSであろう。

とくにFLORIDA半島中心のORLAND周辺110 KM²余の巨大な沼沢地を開発して、空前絶後のスケールをもつWALT DISNEY WORLDは大自然からAMUSEMENTまでをカバーした一大レジャーゾーンを展開しつつあり、その第1期が最近完成された(**fig. 2**)。興味深いのは第2期の未来産業的な新しい交通システム、情報システムを含む超近代的都市施設であり、自給的SOCIETYであり、実験的なEPCOT (EXPERIMENTAL PROTOTYPE COMMUNITY OF TOMORROW) の建設であろう。

これは米国内の先端的な全産業分野を総合する技術的開発を必要とし、これによって新材料や各システムの産業発達に及ぼす影響は偉大なものとなるだろう。全投資額は少なくとも 1,200億円と見積られ、さらに今後増加するだろう。

やはりレジャーには夢があり、未来指向的な知識集約的なレジャー開発こそ、一つの有意義な空間体験として、万博以上の好評を呼ぶと思われる。アポロ計画のケープカナベラルに集まった巨万の群集を見ても、この未来指向的な「体験的レジャー」はありきたりのレジャーと次元を異にする意義をもつことと思う。

つぎにPLAY BOY CLUBのようなクラブ組織は、ENTERTAINMENT BUSINESSを中心として栄え、各地にパブリックあるいはプライベットなクラブを発達させた(**fig.3,4**)。特色のあるクラブは社交的優越感をその所属によって満たす一種の虚栄産業ではあるが、その資格を得るのに数年間待たされることもある。たとえばロスのMAGICIANS' CLUBや種々のプレステージクラブがそれである。。

一方、ラスベガスがGAMBLING BUSINESSを厳正かつ安全な管理によって健全産業に発達させ、さらにニューヨークのブロードウェイを上まわる一大ENTERTAINMENTのセンターとなり、室内娯楽の密集地としては世界に他の例を見ない。

デザイン動向

以上、巨大な複合施設を二、三あげたが、いずれもレジャー基地としてのホテル施設を中心としてデザイン展開を見せることが多い。そのデザインも従来は高級なホテルほど伝統的なフレンチスタイルをコピーする傾向があったが、最近は一連の新しいデザインによって、非日常的な空間体験を提供するようになってきた。前述のDISNEY WORLDの中心のCONTEMPORARY HOTEL (**fig. 5**) はモノレールシステムと大吹抜ロビーの結合によって大胆な都心ロビーを実現し、また一連のJOHN PORTMANのデザインするHYATT REGENCY HOTELチェーン (**fig. 6**) は、新しい空間と装置によって大量の客を動員している。

レジャーを日常定型からの脱出と考えれば、その施設デザインは、より高次元での企画と設計を融合せしめ、レジャー内容にふさわしい空間体験が要求されるべきであろう。

(よこうち きょうすけ フジタ工業(株)計設部
チーフアーキテクト、M.S.in ARCH.)

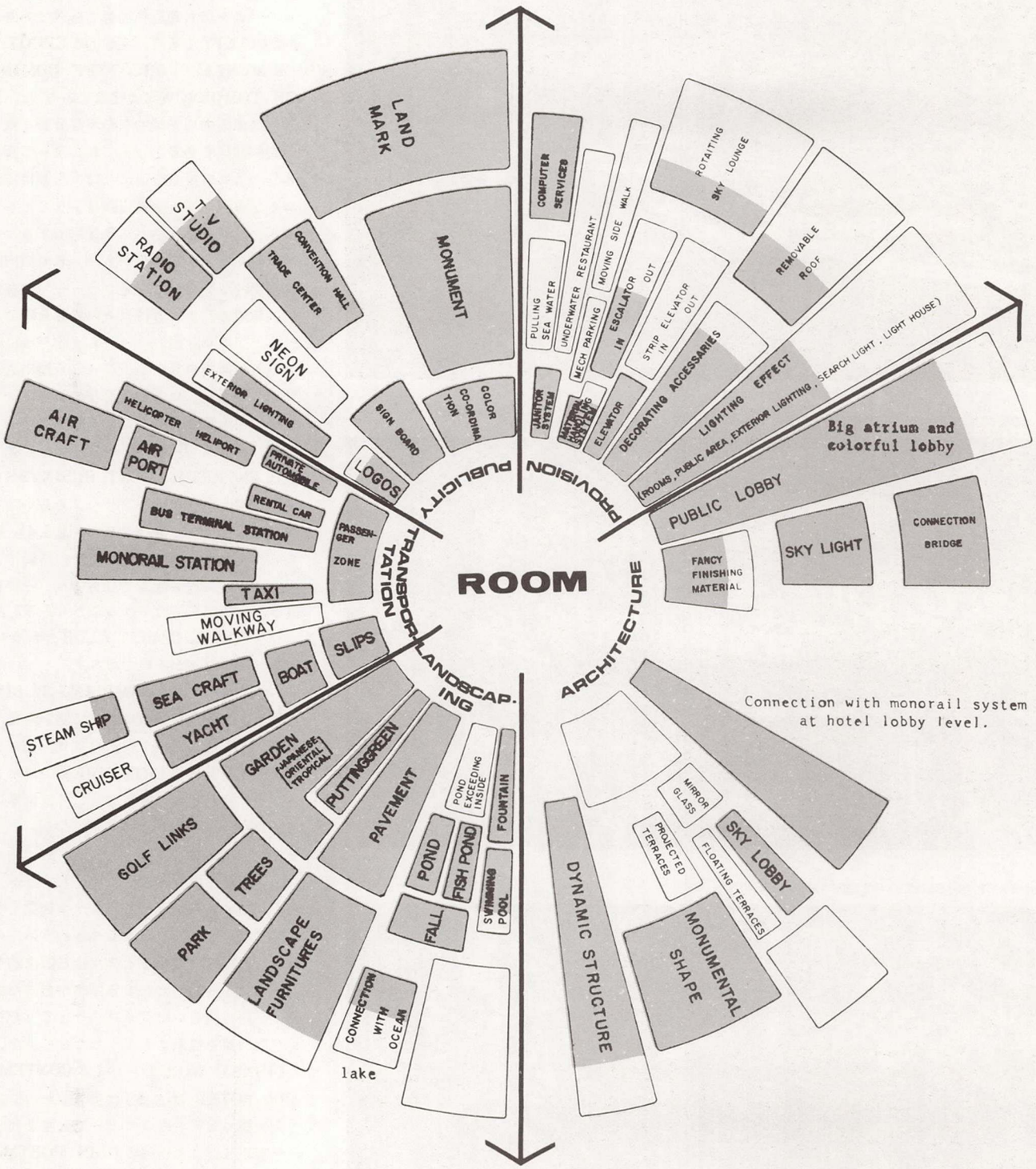


fig.7 WALT DISNEY WORLD-CONTEMPORARY HOTELのデザイン評価分析

住宅産業情報サービス

住宅産業に関する情報を求める声がでてから久しい。それぞれの企業なり研究機関が，何とかして，当局の資料や報告書を入手してかろうじて情報を知る手がかりにしているが，それらは何となしにバラバラの感をまぬがれない。とくに海外の住宅産業についての情報となると，一層それはバラバラである。

そういったとき，住宅産業に関する一切の情報をサービスする機関が生れた。「財団法人住宅産業情報サービス」というのがそれである。

このサービス機関が，「海外住宅産業ニュース」を，海外の諸雑誌リポートから拾って，72年4月の創刊以来，毎月発行している。また海外各国の住宅政策や住宅統計などのリポートをほんやくして，「住宅産業シリーズ1」として逐次発行しているし，日本の建設省・通産省その他権威ある機関の住宅リポートをこれまた「住宅産業シリーズ2」として逐次転載して刊行している。これらの資料は，まとまって手元にあると大層便利である。たとえば，「海外住宅産業ニュース」ではアメリカの工業化住宅ないし，モービルハウスについての情報など，盛んに紹介されているのも，その道の人には興味深い。各国の政策，計画，事業，製品，市場，販売，工業化住宅，建材，設備などのトピックス的なニュースはきわめて豊富である。もちろんこれらはアメリカならびに欧州の比重が大きくて，それに比べて，社会主義国の住宅事情はあまりにも紹介が少ないのはものたりないが，現在日本の住宅産業の方向といったものからは，資本主義国のものに重点がおくのも当然かも知れない。

「住宅産業シリーズ1」の海外住宅政策のほんやくものでは，すでに，「米国の住宅産業」「国連・ECE世界各国の住宅統計」「スエーデンの住宅政策」「西ドイツの住宅政策」「オーストラリアのプレハブ住宅産業」「スエーデンにおける住宅および住宅設備産業」「フランスの住宅政策」「建設および資材の1972年の展望（米国商務省）」「イギリスの住宅政策」「アメリカの住宅政策」などがある。

また，「住宅産業シリーズ2」では，「住宅供給生産システム調査報告書（建設省）」「住宅公団居住者定期報告（抄）」「住宅の基準寸法に関する中間報告書（通産・建設両省の提案・工技院委託研究報告書）」「建設省住宅局工務店実態調査報告」「住宅産業振興対策調査研究会住宅像部会報告書」などが転載刊行されていて，研究者・実務者にとって将来の方向を見きわめる上で便利である。

参考までに以下，海外住宅産業ニュースNo11（73年2月）のトピックスの見出しの紹介をしておこう。

巻頭言として「急がれる住宅建築業の近代化（佐々木宏）」，欧米の住宅政策として「柔軟性を欠く英国の住宅金融（The Economist)」「国税局は間接税の解釈を変更するか（Antomation in Housing)」「家なし家族に必要な適切な対策（英国・The Economist）」があり，各国の住宅産業事情の紹介欄では，「住建用鋼材の使用量は増大か（米国・American Metal Market）」「ハワイで盛んな開発事業（Business Week)」「フランスにおける新しい木材市場の開拓（The Financial Post）」「住宅業界に警告を発するネーダー氏（Building Supply News）」，それに，海外ハウジングトピックスの欄では「誰でも簡単に組立てられるノックダウン住宅」「各種新製品が展示してある全国住宅改善改築博覧会」「高層化と犯罪」などのニュースがある。

この財団法人住宅産業情報サービスの住所は，東京都港区芝西久保桜川町7（第23森ビル8階）にある。電話は03-502-8541で業務部の編集で責任者は三輪恒さんが担当しているので，希望される人は同氏に連絡すればよいと思われる。（M）

大阪府建築士会の建築情報センター発足

創立20周年を迎えた社団法人大阪府建築士会では会員サービス事業強化の一端として，今般，士会内に建築情報センター（委員長：坂内幾男）を発足させた。建築情報センターでは，以下のような計画で情報サービスをすすめている。

1）情報センター室の整備と拡充（情報，資料の収集，整理加工，蓄積，伝達）
2）情報センター室の資料に関する閲覧および相談
3）情報センター室の各種サービス業務

A　当初計画

① コンテンツサービス（目次目録サービス）
対象雑誌20誌　新建築，建築文化，近代建築，建築，SD，a＋U，建築界，商店建築，病院建築，建築雑誌，建築と社会，ひろば，ディテール，建築設備，建築生産，都市住宅，新住宅，住宅，建築技術，施工（順序不同）
a）クイックサービス（新刊号の目次を店頭に並んでいるうちに見ることができる。）
b）バックナンバーサービス（旧刊号の過去5年分の目次を見て資料の所在を知ることができ一次検索を行なえる）

B　逐次計画

① 海外版コンテンツサービス（海外文献，雑誌類の目次）
② コンピュータプログラム登録制
③ カタログ資料サービス
a）カタログ集の発行
b）建材，設備等カタログ収集分類，閲覧
④ 作品情報サービス
a）建築作品の記録の概要と掲載誌名などを問合せに応じてリストとして送付する。（紹介されている誌名，年月号，頁，作品名称，設計者，規模，構造種別，その他の内容と図面，写真がどの位の枚数入っているか，このリストをみれば資料にもられているものの評価ができる）
b）一定の方法（用途別，規模別等）によって分類したリストを発行する。
c）情報カード（小冊子）の発行（カード内容は各誌に紹介されているデータをカード内に収めたもので，図書館の索引カードのようなものを発行）
⑤ 図面交流提携斡旋
⑥ 受託調査サービス（調査，開発の資料収集と報告）
⑦ 各機関および情報機関の窓口業務，JICST資料，学会資料，各協会センターなどの紹介
⑧ 事務所資料の収集，閲覧（会社案内，社内諸規程類，事務用帳票類，社内報など）
⑨ その他ニュースの発刊（建築情報センターだより），出版，セミナーなど

※要望があれば，上記資料のコピーを士会のコピー設備で行なうことができる。

入会その他の詳細については，（社）大阪府建築士会建築情報センター（大阪市東区博労町2—41　中博ビル内　TEL 06-262-1861）へお問合せ下さい。

日本建築総合試験所だより 8

GENERAL BUILDING RESEARCH CORPORATION

本試験所：〒565 吹田市藤白台5丁目125 電話／千里局 (068) 72−0391代表
大淀分室：〒531 大阪市大淀区長柄西通2丁目35 電話／大阪 (06) 351−7217

日本建築総合試験所に望む

原 野 律 郎

財団法人日本建築総合試験所が，通商産業省と建設省の共管団体として新たな発展を期したのは昨年8月のことであったが，その後，1,000屯圧縮曲げ試験機をはじめ，音響および熱関係試験設備，大型壁炉等の試験施設を着々と拡充整備されて来られたことは本当に喜びにたえません。

これで，東京の財団法人建材試験センターと並んで，東西の試験機関がいずれも通産，建設両省の共通の指導のもとに，互いに協力する体制が名実ともに整ったわけで，関係業界の発展にも一層貢献できるものと確信します。

しかも，西の建築総合試験所が構造材の試験を中心とし，東の建材試験センターは建材の試験を中心として，両者がそれぞれ特色をもって活躍していることも十分意義あることといえますが，しかし一方，わが国の住環境の立遅れを量的にも質的にも急速に充実する必要に迫られていることはご承知の通りであり，このためには構造材と建材を問わず，建築用材料全般の品質性能の一層の向上をはかる必要があることも当然です。しかしまた，わが国では製品の種類，製造業者数に対して信頼できる試験機関の数が著しく不足していることもご承知の通りです。

したがって，今後の日本建築総合試験所に望むものがあるとすれば，全国に散在して上記の不便さを最も切実に感じている比較的中小規模の建材業者の要望にも応え，少なくとも，建材に関する基礎的ないし共通的な試験を行なえるよう，設備および人員の整備をはかることにあるといえましょう。

私どもも，資金面その他必要な援助は決して惜しまないことを付言し，本試験所が関係全業界の支持と協力によってますます発展されんことを祈ります。 （通産省化学工業局窯業建材課長）

ニュース

界壁の遮音試験の建設省指定試験機関となる

このたび当試験所は遮音試験施設について昭和48年2月6日付47建設省東住指発第2663号をもって界壁の遮音性能試験の建設省指定試験機関となりました。

今後昭和46年1月29日付建設省告示第108号「長屋又は共同住宅の各戸の界壁の遮音構造の指定の方法を定める件」に基づく界壁の遮音性能試験を行なうことになりましたので，関係方面のご利用をお待ちしております。

試験装置紹介・その8

防火材料試験装置

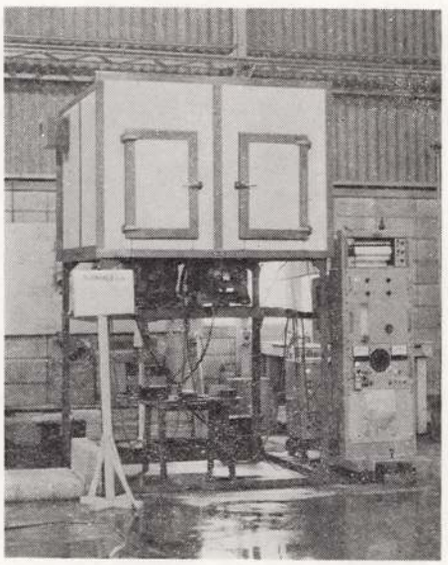
建築基準法令は防火・防煙性能を保持する材料を「防火材料」と総称し，それらを性能上から不燃材料・準不燃材料・難燃材料に区分している。本試験装置は主として法令にもとづく防火材料の認定試験およびＪＩＳ.A.1321「建築物の内装材料の難燃試験」による性能試験に使用される。試験装置は表面試験装置，基材試験炉の2つに分れている。

(1) 表面試験装置

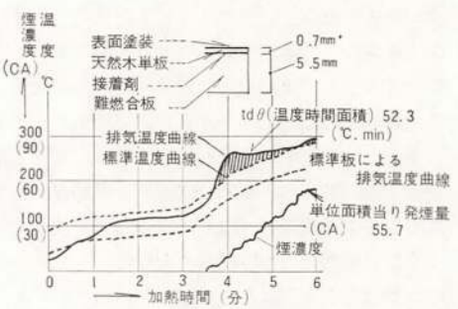
加熱炉（有効加熱面18×18cm）1組2基とその上部に共通に設けられている容積約2㎥の直方体の集煙箱（内法高さ1.0m，他の二辺1.41m攪拌装置付），集煙箱下方に設けられている煙濃度をみる光量測定装置（吸引装置付），オペレーションパネルからなっている。装置の外観を**写真**に示す。加熱炉の主熱源は定電圧装置を備えた電熱（1.5kw/h），副熱源は都市ガスである。試験体は大きさ縦横それぞれ22cm(厚さ，材料構成は実際のものと同一）で加熱炉に垂直に取りつけ片面（化粧面）から加熱する。試験体の取付，加熱は各炉交互に行なう。加熱は最初の3分間は試験面下端の都市ガスバーナー（流量1.5ℓ/min）だけで加熱し，3分目からは1.5kw/hの電熱が加わって加熱する。温度の測定は加熱炉上部にある煙突頂部における排気の温度による。試験中その変化は自記記録計に記録される。加熱温度はあらかじめ標準板（厚さ1.0cmの0.8石綿パーライト板）を加熱してその排気温度が定められた曲線となるよう調節しておく。この標準板を加熱したときの排気温度曲線にそれぞれ50℃をプラスした曲線を標準温度曲線とし，試験体を加熱したときの排気温度曲線が標準温度曲線をこえる部分の面積（tdθ）が求められる。加熱により試験体から出た煙は，煙突から出て集煙箱に入り，攪拌され吸引装置で集煙箱下方の光量測定装置を通過するようになっており，試験体の単位面積当りの発煙量の変化が自記記録計により記録される。また加熱炉の正面中央には観察窓が設けられ，試験中の試験体の燃焼状況が観察できる。表面試験の結果の実例を**図−1**に示す。

(2) 基材試験炉

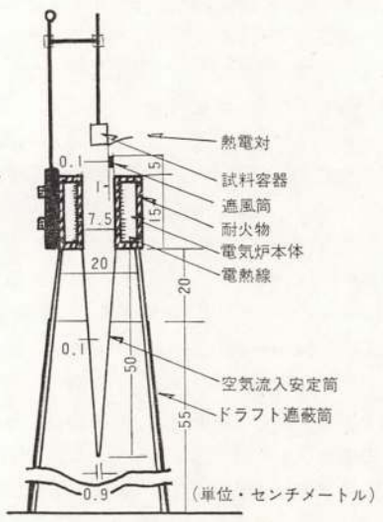
加熱炉の構造は**図−2**に示すような内径75mm，深さ150mmの定電圧装置を備えた円筒形電気炉で，炉上部にはステンレス製の遮風筒，下部には空気流入安定筒，ドラフト遮蔽筒がつけられている。試験体の大きさは高さ5cm，他の二辺がそれぞれ4cmのさいころ形（うすい材料は重ねて鋼線でしばり高さを5cmにする）である。加熱温度は炉内壁内面から1cm離し，炉壁高さの中央で750±10℃の範囲に30分以上安定するように調節されている。試験体は炉の上部から挿入し，さらに20分間加熱する。試験体投入前および試験中の温度変化は自記記録計により記録される。



表面試験装置



図−1 表面試験結果例



図−2 基材試験炉

日本建築協会

月間の動き

昭和48年2月分

通常総会

21日　5時10分～5時半　於会館集会室
出席者　塚本会長ほか12名
議事(1)名誉正会員推挙の件
(2)監事1名選挙の件
(3)本部所属評議員29名選挙の件
(4)役員重任承認の件

評議員懇談会（技術部門）

2日　5時半～7時　於会館集会室
出席者　野中評議員ほか6名
2月開催の総会における技術部門選出評議員候補者の推せんについて懇談協議

理事会

21日　3時半～5時10分　於会館集会室
出席者　塚本会長ほか12理事
議事(1)定時評議員会開催の件
(2)事務局規程一部改正の件
(3)名誉正会員推挙の件
(4)大阪府知事表彰候補者推せんの件
(5)創立記念日の集い行事取止めの件
(6)役員・委員の慰労懇親会開催の件
(7)事務局職員退職承認の件
(8)実務に直結した建築工事別説明会開催の件
(9)「建築基礎工法と実例」講習会開催の件
(10)建築工事実務講習会開催の件
(11)財団法人大阪建築防災協会設立の件
(12)未出版企画図書に対する措置の件
(13)入退会者承認の件
(14)報告事項

編集委員会

大阪大林ビル座談会
1日　4時～5時　於会館集会室
出席者　新開信之氏，藤縄正俊氏，彦谷編集委員長
3月号「大阪大林ビルディング」特集の座談会

委員会
12日　4時～6時　於会館集会室
出席者　彦谷委員長，福田副会長ほか8名
議事(1)3月号「大阪大林ビルディング」特集経過報告
(2)4月号「レジャーと施設」特集報告
(3)5月号「大阪国際ビルディング」特集報告
(4)6月号以降の企画
(5)「建築と社会」誌再編成案
(6)新年度委員交代の件

作品作風小委員会
26日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　岩口主査ほか3名
議事　7月号作品特集の件

事業委員会

広報小委員会
5日　6時～8時　於会館集会室
出席者　三品副委員長，小泉，木地幹事ほか6名
議事(1)第5回展示写真（超高層ビル）の企画について
(2)第6回展示写真の企画について
(3)役員・委員の慰労懇親会開催について
(4)会員の余技作品展実施企画について
(5)そのほか

若い会員の集い小委員会
8日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　岩永，奥尾，西村各幹事ほか10名
議事(1)ヨーロッパの都市と建築調査団参加申込状況について
(2)第5回「建築家に話を聞く会」の企画について
(3)第6回「欧州の再開発事業について」のオリエンテーションの企画について
(4)次年度第1回「高層建築を考える」の企画について
(5)そのほか

展示写真打合会
10日　10時～11時　於会館3階会議室
出席者　三品副委員長，竹中工務店　堤氏
京阪交通社2名
大阪大林ビル・大阪国際ビルの写真展示について打合せ

委員会
15日　6時～8時　於会館集会室
出席者　堤，三品各副委員長，木地，奥尾西村各幹事，日本交通公社，宮後氏，岡本氏
議事(1)ヨーロッパの都市と建築調査団参加申込状況とドル引下げに伴う経費の影響について
(2)各小委員会の事業報告並びに事業企画について
(3)昭和48年度事業委員について
(4)そのほか

「建築家に話を聞く会」分科会
19日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　奥尾，佐々木各幹事ほか7名
議事(1)第5回「建築家に話を聞く会」開催当日の担当委員及び会の進め方について
(2)「建築と社会」誌掲載担当編集委員について
(3)そのほか

建築家に話を聞く会
24日　4時～7時20分　於綿業クラブ
出席者　村野藤吾先生，福田晴虔先生
柳副委員長ほか22名

建築データシート委員会

企画分科会
8日　正午～2時　於会館集会室
出席者　井上委員長，香西・酒井両委員
議事(1)「社名住所欄の変更」の周知方法について
(2)No.41の企画について
(3)その他

Dグループ打合会
14日　6時～10時　於会館3階会議室
出席者　樋口幹事，正法院主査
防火材料の原稿調整

委員会
20日　6時～8時　於会館集会室
出席者　井上委員長，伊藤幹事ほか6名
議事(1)「社名住所欄の変更」の周知方法について
(2)防火材料の分類番号について
(3)廃止シートについて
(4)分類番号の新設について
(5)No.41（7月発行）のシートについて
(6)そのほか

住宅委員会

住宅展小委員会
22日　5時半～8時　於会館3階会議室
出席者　生田副委員長ほか4名
議事　第10回よろず相談住宅展について

建材委員会

見学会と委員会
23日　2時～5時
於大阪ガス技術開発センター
出席者　石浦委員ほか4名
見学　ガス諸器具の各種試験設備
委員会　セントラルヒーティングについて

法規委員会

委員会
26日　3時～5時半　於会館集会室
出席者　福田委員長ほか17名
議事(1)法令建築事務所制度について
講師　竹口信夫氏
(2)次年度法規委員改選について

見学会

大阪ロイヤルホテル新館新築工事の見学会
（本会・大阪府建築士会・日本建築学会近畿支部　共催）
13日　2時～4時半
参加者　65名
設計　吉田五十八研究室，株式会社竹中工務店
施工　株式会社竹中工務店

大阪大林ビルの見学会
（本会・大阪府建築士会，日本建築学会近畿支部　共催）
27日　3時～5時

参加者　92名
設計・施工　株式会社大林組

4会連合工事請負契約々款委員会

9日　2時～4時　於日本建築学会
出席者　堀井委員長ほか8名
議事　工事請負約款改正について

24日　正午～4時　於日本建築学会
議事(1)現行約款見直しについて
(2)そのほか

建築クラブ朝食会

13日　8時半～9時半　於新大阪ホテル
出席者　55名
当日は久田良吉氏より拓本行脚についてのお話を伺った

大阪建築防災協会設立懇談会

7日　2時～5時
於大阪科学技術センター
出席者　大阪府建築部長ほか34名
大阪建築防災協会（仮称）設立について懇談

22日　3時～5時　於建設保証ビル
出席者　大阪府建築指導課長ほか26名
議事(1)各団体出捐金額の件
(2)発起人会構成の件
(3)寄付行為案一部変更案の件
(4)設立当初役員選出案の件
(5)そのほか

2月の入会者（敬称略）

〔団体会員　2社〕
定行精機㈱
ブリヂストンエバーライト大阪サービス㈱

〔個人会員　10名〕

安藤元晴	粕川圭司	手塚尚義
秋岡　稔	木村昭一	永田光弘
東　利雄	城水陽一郎	
牛場栄一郎	杉山武文	

〔准会員　2名〕（氏名省略）

堺市地形図（1/5000）刊行

従来より，建築確認申請書に添える附近見取図は不統一で，見取図の誤りが多々見受けられ確認事務に支障を来たしてきました。

このたび，事務処理の円滑化をはかり，また申請者側の利便を考慮して，堺市建築指導課では，堺市の地形図（縮尺1/5000）を活用しての附近見取図を作成する方法を講じ，確認申請の窓口事務の合理化を図ることとなりました。詳しくは，堺市建築指導課へお問い合せ下さい。

なお，地形図購入の際は，下記へお申込み下さい。

購入先：株式会社植田　青写真部
堺市旭通2―11　電話0722-38-7441
購入価格：1冊　3,500円（送料別）

レーザ光線を垂直測定に応用し、自動化!!

世界で初めての“レーザ自動垂直測定システム”を開発

㈱竹中工務店では，かねてよりレーザ光線を使って自動的に垂直測定をおこなう機器・システムの開発に取り組んでいたが，このほど世界で初めて実用化に成功。これまで，レーザ光線の直進性を応用してトンネル測量，水平測量をおこなう機器は製品化されているが，これを垂直測量に応用し，自動化したのは初めてのことである。これによって超高層ビルの鉄骨組み立て，エレベーターレールの据えつけスライディングフォーム工法，超高層煙突などの建設工事を高い精度でスムーズにおこない，大幅な省力化が見込めることになろう。“レーザ自動垂直測定システム”は，水平レーザ発振器，レーザ垂直器，受光器，指示装置，デジタル表示器から構成される。

測定方法は，リモコンによって360度回転する「レーザ発振器」から投射された水平レーザ光線を「レーザ垂直器」が適確に受けて，上下2方向に分割投射する。垂直に投射されたレーザスポットと測定したい個所に設置された「受光器」の中心とが合致すれば，垂直であることが確認され，狂っていれば「指示装置」が自動的にその数値を算出して「デジタル表示器」に伝えるようになっている。また，測定個所にアクリル板ターゲットを用いるとレーザスポットが肉眼でとらえられるので，作業者全員が垂直精度を確認しながら作業を進めることも可能。当システムの特徴と機器の主な仕様はつぎの通り。

≪特　徴≫

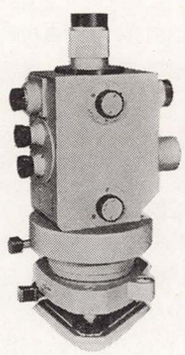
① 垂直精度が5万分の1と非常に高い
② 2メートルから300メートルまでの自動測定，眼視測定ができる
③ レーザ光線が上下2方向に同時投射できる
④ レーザ光線と眼視望遠鏡が切換え可能で，測定のガイドや点検が容易
⑤ 眼視望遠鏡は上下方向とも手元のつまみで合焦でき，レーザに切換えれば自動的に最小スポットとなる
⑥ 一般の垂直器としても使え，180度対向して視準すれば検定も容易に行なえる
⑦ レーザ入射方向は，内蔵された水平方向望遠鏡により容易にガイドすることができる
⑧ レーザ垂直器は，水平面内のシフティング装置とエレベータ三脚によって，レーザ光線に対する位置決めと求心が容易にできる
⑨ 各機器は小形軽量で，持ち運びが容易である

≪レーザ垂直器の仕様≫
（上部望遠鏡）
倍率 20×，対物レンズ有効径25φmm
視界 1°20′，測定範囲　2m～∞
（下部望遠鏡）
倍率 4.5×，対物レンズ有効径14φmm
視界 4°　，測定範囲　0.8m～∞
（ファインダー）
倍率　12×，対物レンズ有効径15φmm
視界　2°　，最短視準距離　1.3m
（レーザスポット直径）
100mで15φmm以下
（重　量）　4.8kg

≪レーザ発振器の仕様≫
（出　力）　3mW
（発　散　角）
0.3mRad ただし5Xコリメータを併用
（方向制御）
ラジコン遠隔操作，粗微動付
（重　量）　5kg



（左）レーザ発振器（右）レーザ垂直器



この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。
㈱竹中工務店　東京支店　03-294-2111
生産本部　村田

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事 専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　電話　大阪 364・代表 0206～9

室谷

内装不燃材

室谷商事株式会社

本社　神戸市生田区北長狭通4－1　（英和ビル）
電話　神戸(331) 0881～3
支店　大阪市北区絹笠町50(堂ビル5階 502号室)
電話　大阪(364) 2031～4
倉庫　神戸市葺合区八幡通1－5（電話221 2923）

OKUYAMA KAKOGYO WATER PROOF OAM

新工法！
プレノテクト吹付工法

陸屋根防水には 奥山式 特許 絶縁工法 を

カッパー防水帯 コーパータイト

8対2の防水(冷工法) デラタイト

特許　奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

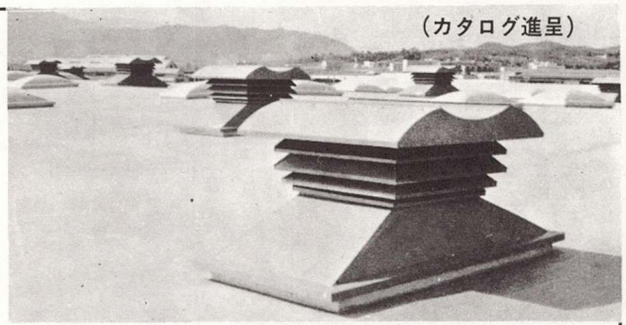
奥山化工業株式會社

本社	東京都中央区銀座8－4－11	電話・03(571)2703～4・2370・4064・0264
大阪出張所	大阪市都島区都島中通り2-3-1	電話 06(921)2497・(922)7280
名古屋出張所	名古屋市南区若草町33	電話 052(811)3660・3104
札幌出張所	札幌市中央区北三条東四丁目	電話 011(231) 7 5 1 1

特許　岩元式ベンチレーター
（電動式並固定型各種）

岩元式ベンチレーター　A型・B型・固定型
岩元式連塔換気装置（コンチニヤス・ベンチレーター）
新型　換気塔 NSライン　（強制換気扇付）
新型　換気塔 SFスーパー　（特殊装置による風量増幅 換気扇の能力を倍増する）
最新型　採光排気塔(風光)スーパーライン特殊増幅装置付
スカイライト工事・通風ルーパー
スチール及アルミサッシュドアー・各種シャッター製作施工
其の他　曲加工一式

（カタログ進呈）



岩元工業株式会社

大阪市東成区大今里2丁目5番22号
電　話　(981)　0615～0618

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区芝浜松町1-2-7　電話(434)6171(大代)
大阪支社　大阪市東淀川区加島町357　電話(302)2271(代)
支　店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

冷暖房　各種サッシ
給排水、衛生水道　環境衛生施設
電気　荷役運搬機械
厨房　化学鉱山機械

三機工業 株式会社 大阪支店

取締役社長　各務　節
取締役支店長　濱川幸十郎
大阪市東区北浜2丁目22番地　電話 大阪(202)代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、富山
出張所　横浜、金沢、静岡、高松

電気・空調・給排水衛生設備
設計施工

大阪電気暖房株式会社

取締役社長　菅谷健児
本社　大阪市西区江戸堀1－60　電話(441)8231代表
支店　東京・名古屋・大阪・福岡
営業所　札幌・新潟・仙台・金沢・岡山・広島・高松・熊本
出張所　盛岡・横浜・富山・豊田・福井・京都・神戸・鹿児島

空気調和設備
衛生設備　設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町65番地　電話(352)1131(代)
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2－22　電話(667)3431(大代)
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平
大阪市北区高垣町一　電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル　電話 京都561局4944(代)
神戸市生田区下山手通六ノ一　電話 神戸341局5892

空気調和・衛生設備

株式会社 三晃空調

本社・本店　大阪市北区富田町16番地　電話 06－363－1371
支　店　東京都千代田区神田小川町2丁目1番地　電話 03－292－7751
名古屋市中村区広小路西通3丁目9番地　電話 052－581－8571
広島市紙屋町1丁目2番22号　電話 0822－47－4535
福岡市大名1丁目8番12号　電話 092－76－3795
出張所　富山・福井・京都・神戸・松江

営業種目 ●空気調和設備 ●給排水衛生設備 ●塗装設備
●蒸気噴射式冷凍機／設計・製作・施工

株式会社 建材社は4月1日を期して

株式会社 大氣社に社名変更いたしました。

本社・東京支店＝東京都中央区銀座6－6－7　㊫(572)7411代
大阪支店＝大阪市北区中之島2－22　㊫(203)3721代
名古屋支店＝名古屋市中区錦2－2－13　㊫(211)1535代
出張所＝札幌・仙台・豊田・金沢・神戸
広島・松山・福岡・バンコック

須賀工業株式会社

空気調和　衛生設備

大阪市西区土佐堀通1丁目14　電話 441－5171
支店－東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
営業所－千葉・横浜・広島　出張所－高松・北九州

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市北区常安町11番地
電話　大阪(443)5041～5番
東京本社　東京都千代田区大手町2の8番地(日本ビル)
電話　東京(270)7411番(代表)

札幌営業所	札幌市南大通西4丁目1札幌道銀ビル	電話 札幌 22)5756
金沢営業所	金沢市高岡町2番16号	電話 金沢 21)2074
福井出張所	福井市御幸2の1	電話 福井 24)2436
高松出張所	高松市2番丁9	電話 高松 ㉑5195
岡山出張所	岡山市大供380の1	電話 岡山 24)5486

空気調和　地盤凍結　冷凍冷蔵

精研冷機株式会社

本　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地
(オートセンタービル2階)　郵便番号542
電話 大阪(06)761(代)1141～8番(直通)
東京営業所　東京都千代田区九段南2丁目2番5号
(九段ビル8階)　郵便番号102
電話　東京(03)262－3241～4番

創　業 暖冷房・換気・温湿度空気調和 設計
大正二年 病院諸設備・給排水衛生・水族館設備 施工

株式会社 斎藤省三商店

本　店　東京都千代田区丸の内2の4の1　丸ビル676号　電話 212代3751
大阪支店　大阪市西区土佐堀通1の1　大同ビル 616号　電話 443代3361
京都支店　京都市南区西九条春日町48　電話 681代1781
支　店　札幌・名古屋・福岡・千葉
営業所　宇都宮・横浜・熊本

温湿度調整装置、暖　房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30　電話(364)6661(代)
本　社　東京都千代田区丸ノ内3-3-1(新東京ビル)
電話(211)8511・8561(代)
仙台支店　仙台市新伝馬町60
電話(21)4491
名古屋支店　名古屋市東区東門前町3－6
電話(971)3621

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

高砂熱学

大阪支店　大阪市北区芝田町55番地(北阪急ビル9階)
電話 大阪(372) 2 5 1 1(代表)
本社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和・恒温恒湿・冷凍・冷蔵
給排水衛生設備　設計施工

不二熱學工業株式會社

本店　大阪市南区順慶町2－50　電話 261－2436㈹
東京支店　東京都大田区西馬込1－2－1　電話 773－1231㈹
営業所　銀座・浜松・京都・神戸・福岡

新日本空調株式会社

大阪支店　大阪市北区堂島浜通1－25(新大ビル)
電話 (06) 344－6031(代)
本社・東京支店　東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第二別館)
電話 (03) 279－5671(大代)
名古屋・九州・広島・札幌
東海村・北陸・大分・岡山

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工

山田工業株式会社

本社　大阪市西区京町堀1丁目62　電話(443) 8161(大代表)
支店　名古屋市中村区水主町1の12　電話(541)0966(551)1655
出張所　東京都港区赤坂2丁目3～12
赤坂ビークビル5階　電話 (583) 1467
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1　電話 (341) 1778・4386

MODAIR
空気調和設備
換気・除塵設備 設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区京町堀4丁目　TEL(443) 8071
本社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562) 1351
支店　名古屋・福岡

Carrier
冷暖房は CARRIER キャリア
東洋キャリア工業(株)製品販売店・特約工事店

日本冷熱工産株式会社

本社及大阪営業所　大阪市西区土佐堀通1－16(石川ビル)
電話大阪 (443) 3661～5

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

代表取締役 市川繁雄

本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪支店　大阪市北区天満橋筋1－37(天満橋北詰)
電話 (352) 3501～3
四日市支店　四日市市浜田西末広町　電話㊿7431～3
大津営業所　大津市打出浜13－15　電話 0775 ㉒9738
津営業所　津市栄町2－111　電話⑧3610

冷煖房・衛生・機器配管
設計施工

株式会社 清水工業所

本社　〒531 大阪市大淀区南浜町3丁目14番地
電話 大阪 (06) 372－2851(代表)～7番
東京支店　〒104 電話東京(03) 551－8041番(代表)
群馬出張所　〒370-05電話大泉(0276)62-3394(代表)～6番
宇都宮出張所　〒620　電話宇都宮(0286)61－0930番
君津出張所　〒299-17電話君津(04785) 2－2375番
鳥取出張所　〒680　電話鳥取(0857)23－5051～2番
出雲出張所　〒693　電話出雲 (0853) 21－1285番

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通4丁目11　電話大阪(458)3531番
出張所＝京都・福岡

空気調和設備
給排水衛生設備　設計施工
各種プラント設備

各種送風機・風力輸送装置
空調機器類・公害防止装置　設計製作

株式会社 カンダン

旧社名　関西煖房工業株式会社

本社　大阪市住吉区万代東6丁目3　TEL (672)1281(大代)
営業所　東京・名古屋・広島・福岡　工場　和泉・名古屋
テレックス：本社 No. 562－7688　和泉工場 No. 538－5898

平山工業株式会社

衛生・空気調和設備・設計・施工

TEL (441)㈹ 1994.(443) ㈹0331　大阪市西区江戸堀通2の2

電気設備工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長　浅海正雄

本　社　大阪市北区老松町1丁目22
電話大阪(362)8701

支社・支店　東京・札幌・名古屋・福岡
営業所　旭川・神戸・姫路・高松・広島
出張所　苫小牧・浜松・光・沖縄

電気設備 ε 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役　山本博三

本　社　大阪市北区中之島3の3　朝日ビルディング
TEL　代表　(385) 1361

本社営業所　吹田市垂水町3－34－6
TEL　代表　(385) 1361

京都営業所　京都市右京区西京極郡葛野町21番地
TEL　代表　(311) 1185

電気工事・計装工事
設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長　栗原信英

大阪市北区高垣町16番地（東阪急ビル）
電話　大阪　(313) 1101　(大代)
支店　東京・名古屋・舞鶴・大阪南・神戸・広島・九州

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
大阪支社

支社長　姉川正男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地　電話大阪(202)0325～9番
本　社　東京都千代田区西神田1丁目4番地5号
支　社　札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
出張所　旭川・白河・横浜・静岡・富山

電気工事設計施工

株式会社　三興社

代表取締役　林　敏夫

本　社　大阪市北区絹笠町50（堂ビル7階）
電話㊙3671（代）
支　店　東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話㊙1478（代）
出張所　川崎・相模原・堺・福山

電気工事 中 設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長　中本正明

本　社　大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話大阪(931)代表7341～5
0388・2193
資材倉庫　大阪市城東区野江東之町三丁目一一　電話大阪(931)7004
奈良営業所　奈良県御所市御国通り360　電話御所 2・2607・4259

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長　嘉納伝三

本　社　大阪市北区絹笠町五〇（堂ビル三階）
電話　(364)1471(代)
支　店　東京都港区新橋二一一六(ニュー新橋ビル七階)
電話　(504)0231
支　店　名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話　(991)　5131(代)
営業所　神戸・堺・千葉・宇都宮・熊本

各種電気工事設計施工・制御盤製作

野里電気工業株式会社

取締役社長　池内文夫

本　社　大阪市西淀川区柏里町1丁目110番地
電話大阪(472)代表1101～7
支　店　東京都品川区西五反田6丁目25番11号(福島ビル)
電話東京(491)1746(492)0182・0350
営業所　北九州市小倉区鋳物師町23番地
電話小倉(56)5665・5818
出張所　群馬・千葉・和歌山・名古屋

電気工事・計装工事・設計施工

中央電気工業株式会社

取締役会長　今村　騰
取締役社長　立石行男

本　社　大阪市北区梅ケ枝町56番地
電話　大阪　大代表(312)　8881
支　店　東京・名古屋・四日市・神戸・和歌山
営業所　松山・京都・草津・静岡・水島・福岡

電気工事設計施工

富士電業株式会社

取締役社長　田中　実

本　社　大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪(541) 0564～7・7148～9
営業所　東京・名古屋・広島・福岡

電気工事設計施工

太陽工藤工事株式会社

取締役社長　小林四郎

本　社　大阪市福島区上福島北1－2
TEL(06) 452－1151(代)
電力工事本部　大阪市此花区恩貴南之町73
TEL(06) 462－1301(代)

各種電気工事設計施工

株式会社　ヤマト電気商会

取締役社長　山本永造

本　社　大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(364)代3056
東京支店　東京都港区新橋5－34－6　相馬ビル5階
電話　東京(434) 3848・(431) 8435
出張所　大阪南・札幌・名古屋・四日市・松山・徳山

奉仕感謝の店

タイル工事施工

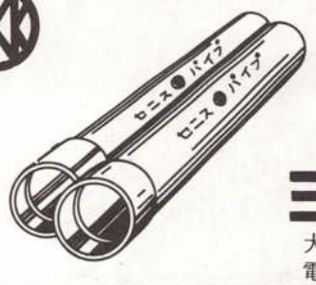
特許申請中・完全滑止タイル

SSS（サンエス） タイル 新発売

（カタログ進呈）

株式会社 川岸窯業商店

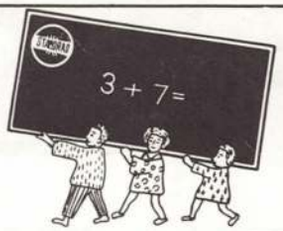
本　　社　大阪市西区靱本町２丁目98番地（靱本町バス停前）
電話　大阪 06（532）代０４６１
姫路営業所　姫路市北条口126番地（住友生命保険ビル３階）
電話　姫路0972（82）０９９９



トラフ・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール

株式会社
三幸商會

大阪市北区与力町一ノ一〇
電話　大阪(358)　４０３１



Standard Board&Slate

フタバ黒板

大阪市東住吉区加美末次町８－92　TEL 大阪06（792）代5858

窓掛、緞帳、日際、壁紙 室内装飾 絨毯、舗床材一般
東洋リノリュームの 東リカーペット 発売元

亀井株式會社

大阪市東区南久宝寺町四丁目（心斎橋筋）
電話　大阪（251）1353（代）～６・9996
営業所　名古屋・福岡

営業品目　建設省認定の防火材料

セメント系吹付材	ソリジットスタイン	基材同等	０００３号
特殊リシン吹付材	エバウォール	基材同等	０００３号
アクリル系吹付材	エバーサンド	基材同等	０００４号
ヒル石吹付材	エバテックス	基材同等	０００４号

合同特許建材工業株式会社

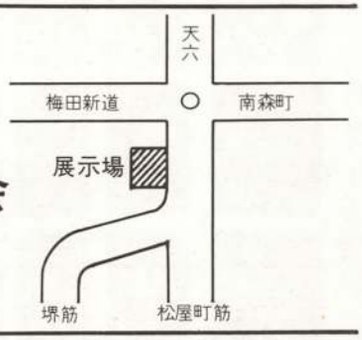
本　社　大阪市東住吉区駒川町３－54　電話（06）702－7814～７
東京事業所・名古屋出張所・高松出張所・福岡出張所

年中見ていただける　皆様の見本室

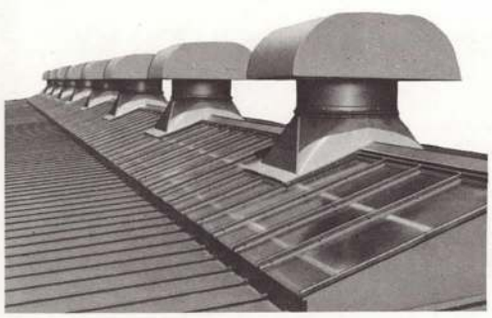
タイル 常設展示場

AM. 10.00～P.M. 5.00
日曜・祝日は休館

全国タイル展示協会
大阪市北区南森町46番地
八千代ビル南館２Ｆ
TEL（06）364－2059



特許　内外式電動ベンチレーター　特許　内外式コンチニアスベンチレーター
（大量自然換気方式）





内外建材株式会社

本　社　大阪市西区江戸堀北通１－25（相生ビル）
TEL（441）3983～５・4396
大阪工場　大阪市城東区天王田町１－１４１
TEL（962）１１４９
京都工場　京都市東山区山科東野井上町
TEL075（581）０１２６

内外

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト（樹脂）
モルタル工事

N.G.C.式

米国パブコ・アスファルトコンパウンド
米国バイヤーライト・アスファルトコンパウンド
} 販売

各種シート防工事　責任施工
新防水材リベットルーフ　責任施工

内外工業株式会社

本社　大阪市阿陪野区旭町1丁目1番地30号　電話(641)3434～6
(631)0810(夜間)
工場　大阪市東住吉区桑津町3丁目16番地

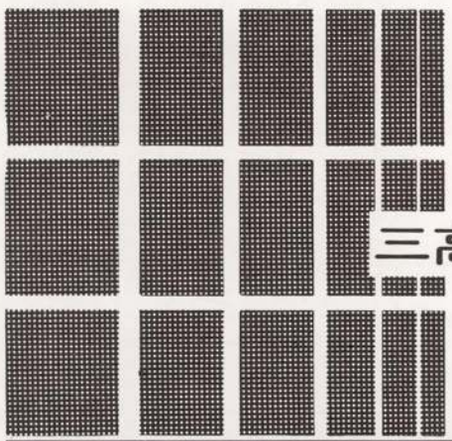
近代建築の要求する

＊特許 小俣式 ステンレス・アルミニウム 防火シャッター

設計
製作
施工

小俣シャッター工業株式会社大阪支店

大阪支店　大阪市北区此花町2－51(第5新興ビル)　電話大阪(353)7377代
本社工場　東京都北区田端町1138　電話東京(893)5211～5



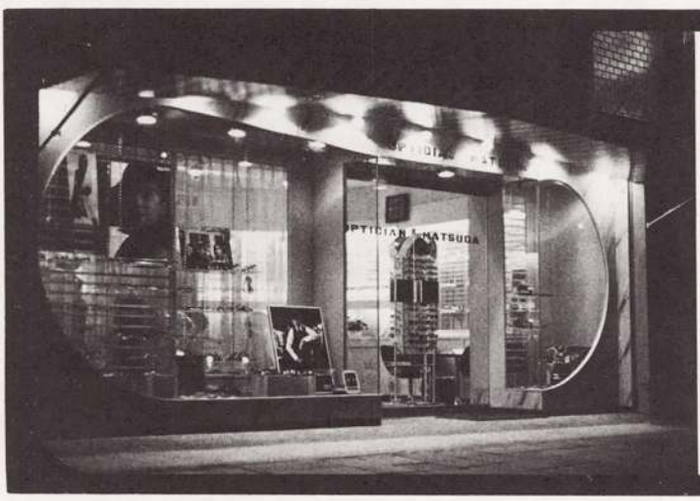
スチール
アルミ
ステンレス

サッシ・ドアー
カーテンウオール
シヤッター
三高式オペレーター・ドアーハンガー

TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所

本社・工場　尼崎市神崎五反田280番地
電話大阪(499)8151代表



'70年代をリードする
店舗づくりのパイオニア

店舗各種 | 陳列ケース | 冷凍ケース | 電飾看板

製造直売・すべて工場渡しで奉仕する

スーパーマーケット ・ 各種専門店

店舗綜合企画・指導・設計・施工
大阪サツマ店装製作所

〒516　大阪市城東区茨田安田町100番地
☎ 911－9144代



コーキングパテ

ウヅラ印



柏原瀝青株式会社

本社工場　大阪市西淀川区御幣島東２ノ５　電話大阪(471)1493～4・8267
第二工場　大阪市西淀川区御幣島西３ノ99　電話大阪(471)　０４２６

パテタイル

全国で好評の……新興の内外装壁材を！

インテリヤ…カラーストーン…研出し仕上！
（旭化成ミュールコート・セット品）

シンコーストーン

いつも美しい　ワンタッチ…洗出し仕上…

ミュールストーン

（旭化成ミュールコート・セット品）

純日本壁の最高峰

ヤマト緊楽

吹付…に
塗付…に
完全耐火
} 主材 石綿





●全国有名建材店へ御問合せ下さい　●カタログお送りします

(株)新興建材工業所
大阪市西区南堀江通６丁目39番地　TEL大阪(538)2951～5・(541)5757～9
営業所　東京・高槻・明石・姫路・四国・中国

発売元

新興壁材工業(株)
大阪市住吉区粉浜本町４丁目２６番地　TEL 大阪 (672) １６６１～３

(株)九州新興建材工業所
福岡市博多区上牟田八田町２６の１　TEL 福岡 (41) ５２２５～６

モルタル・コンクリート用

マノール 防水剤



＊マノール防水剤はセメントの加水分解生成物である水酸化石灰と化学的に結合し、硬化機構を妨げることなくセメント粒子に撥水性を与えて毛細管の表面張力を低下させ、吸水性を減少させます。

＊ＡＥ効果により適量の空気を連行し、気孔を閉塞することなくセメント・プラスター及び砂の粒子に対し分散性を与えワーカビリティーを向上させます。また特有な粘着性によって材料分離、レイタンスの発生を防止します。

＊セメントと結合した生成物は永久不変質の物質で、水や空気中の塩類、酸類も作用せず、セメントの中性化を防ぎ、鋼材、木材等の腐蝕・腐朽を防止して構造物の耐久性を高め、その防水・防湿効力は恒久的です。

ご一報次第
カタログ進呈します

その他マノール製品

急結剤・接着剤・剥離剤・早強剤・防凍剤

エスコート（セメント起泡剤）・**エアコール**（場所打ち杭工法添加剤）

セメント混和剤・助材綜合メーカー

株式会社 **油脂化工社**

東京都品川区大井１－15－１　☎ 東京 (774) 4111代表

関東営業所　茨城県土浦市大町１２１３　☎ 土浦 (21) ５１８９
東北営業所　福島県福島市下野寺字遠原　☎ 福島 (34) ７１１１
盛岡営業所　岩手県盛岡市南大通３－12－50　☎ 盛岡 (24) ０２１３
大阪営業所　大阪市東成区東中本２－17－26　☎ 大阪 (971) ４７６５

特許 セメント分散剤 コンクリート減水剤

リグナール

GSR（標準型）（早強型）（遅延型）

自然石状積ブロック

クリプトン

型枠剥離剤

セパール

リグコン

三段ブロック

其の他コンクリート二次製品　建設材料全般

リグナール製造発売元

神戸枝料株式会社

本　社　神戸市葺合区熊内町２丁目８８番地
電話０７８代表（２３１）１４２１・６９５６
東京営業所　東京都千代田区内神田１－12－12 美土代ビル
電話０３（２９４）６１６７・６１７７
福山出張所　福山市曙町３－７８－２
電話０８４９（５３）２０２７



全く新しい床タイルです

三星ピサロンは、従来のビニールタイルとは製法原料配合が全く違います。塩ビの他に最近開発された新しい共重合体の特殊樹脂を用いた画期的な新製品です。軟質プレスタイプの床タイルに比べ仕上り安定性がよく、カレンダー方式の流れ模様とは対照的な静止した現代模様。ピサロンの持つエラスチックで高級な質感、すぐれた歩行感は、床タイルの新しい世界を開きました。

協同組合員が責任をもって施工いたします

三星ピサロンは、材料だけの販売はいたしません。責任施工の出来る協組員が入念な仕上げをします。

これからはピサロンの時代です

三星ピサロンの新しい色調、パターンは、現代のインテリアデザインに要求される個性的な床造りには欠かせません。東京浜松町の超高層世界貿易センタービルの４F以上の各階通路、エレベーターホールにも、使用されております。〝三星ピサロン〟はその模様がフランスの画家ピサロのタッチに似ていることから、名付けられたものです。

東日本床工事事業協同組合
西日本床工事事業協同組合
〈専用品〉

三星タイル
ピサロン

製造元＝田島応用化工株式会社

東京／東京都千代田区岩本町３の１１
電話　(866) ６１０１

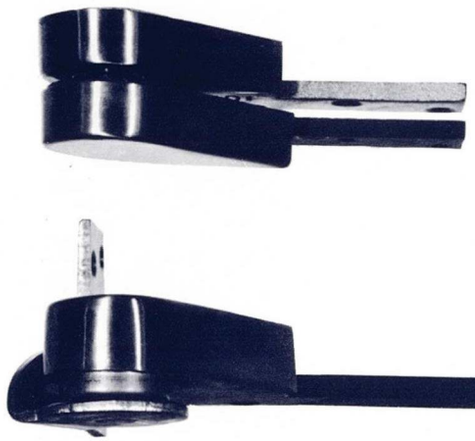
大阪／大阪市西区京町堀１の７４
電話　(441) ５９５１

★規格＝333.3　×333.3　×２㎜　９枚／m²
　　333.3　×333.3　×３㎜　９枚／m²
★色数＝22色
★価格＝２㎜厚品　1,200円／m²(300m²以上)
　　３㎜厚品　1,800円／m²(300m²以上)
　　小部屋割増・階段40％高

建築と社会 “ARCHITECTURE AND SOCIETY” 第54輯第 4 号
■昭和48年 4 月25日発行（毎月 1 回25日発行）・昭和24年 3 月19日第 3 種郵便物認可

●回転軸部にナイロンベアリングを採用した耐久品

サンエイ
立枠付 ピボットヒンジ



■本品は特に各部品の材料を吟味し、表面が錆びないようボンデライジング加工を施した上に**防錆塗装**をしております。
■焼付塗装仕上製品の他に、他の持出し吊の腕部（吊込後扉から露出する部分）にＳＵＳ27(18.8)**ステンレス製ヘアーライン仕上**の化粧カバーを付けてあります。
■回転部分にナイロンベアリング及びスラストベアリングを嵌入してあります。
■別製の設計製作をも歓迎致します。

■弊社製立枠付ピボットヒンジは……
実用新案登録第517316号の立枠には何んら低触致しておりません。

三榮建材工業株式会社 555

本社　大阪市生野区巽北４－５－11☎(06)751－3653～5／東京出張所　東京都墨田区本所2－11－11　☎(03)623－7677

いかなる苛酷な条件にも耐えて
このすばらしい特性が
建築を守ります

特許
強力ギルソイド・アスタイト防水

アスファルト防水層



折曲げ試験に耐えきれず
に破断した一般防水層

ギル・アス防水層



折曲げ試験ですばらしい
柔軟性を示すギル・アス防水層

西日本アスファルト事業協同組合
大阪市西区京町堀１の７４　電 441－5951
東日本アスファルト事業協同組合
東京都千代田区岩本町３の11の13　電 866－6101

■ご入会のお申込は・社団法人　日本建築協会　〒541　大阪市東区北浜3－37　電話大阪(06)231-9648・9649・9640　振替口座大阪39975番

定価 400 円（送料共）